

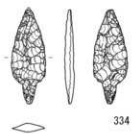
第 198 号土坑

图 241 土坑出土遺物

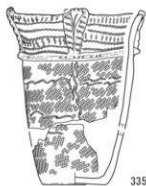


333

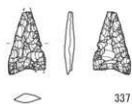
第201号土坑



334

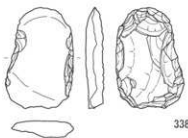


335



337

第208号土坑



338

第204号土坑



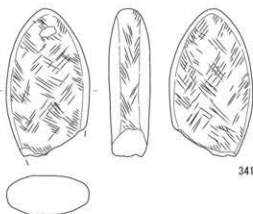
336



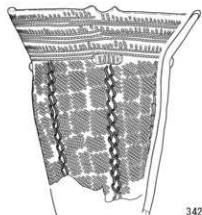
339

340

第210号土坑

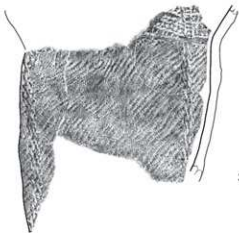


341



342

第214号土坑



343



图242 土坑出土遺物

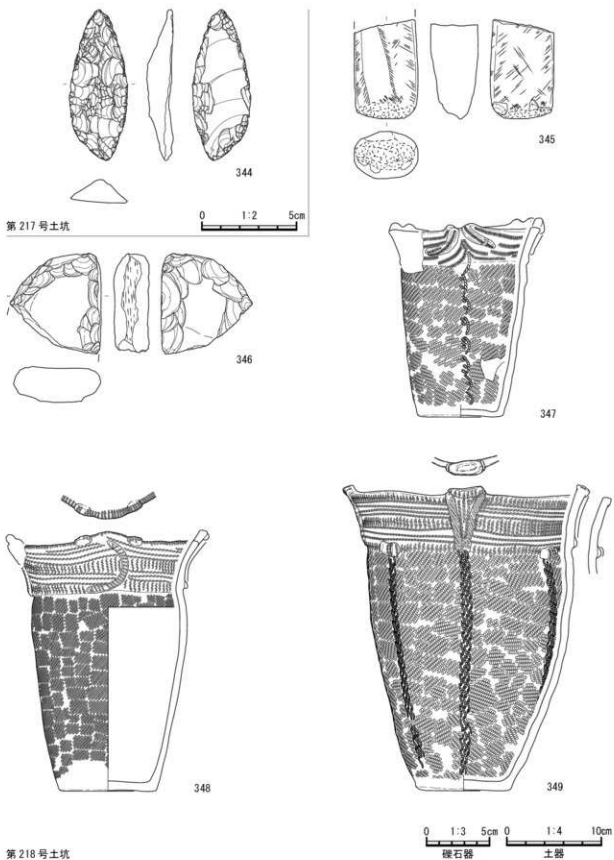
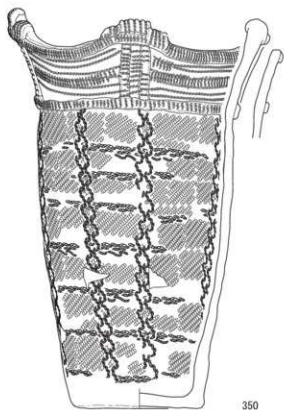
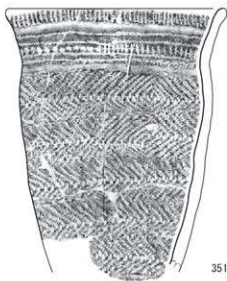


图 243 土坑出土遺物

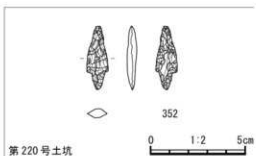


第 219 号土坑

350



351



第 220 号土坑

0 1:2 5cm



第 221 号土坑

353

0 1:4 10cm
土器

图 244 土坑出土遺物

(3) 埋設土器

第1号埋設土器 (図245・247、写真125・199)

〔位置・確認〕 南側調査区、VIM-207グリッドに位置しており、V層で土器を含む褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕 掘方の平面形状は楕円形と推定され、断面は平坦な底面から壁が外傾する形状である。土器は横位の状態出土し、上部は欠損する(1・2)。検出面における掘方の長軸は100cm残存しており、短軸は86cmである。深さは14cmであった。

〔堆積土〕 土器内は暗褐色土、掘方は褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 1・2は同一個体であり、円筒下層d～上層a式と考えられる。

〔時期〕 埋設土器から、縄文時代前期末～中期前葉と考えられる。

第2号埋設土器 (図245・247、写真125・199)

〔位置・確認〕 南側調査区、VI T-209グリッドに位置しており、IV層で土器を含む褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕 掘方の平面形状は円形と推定され、断面は平坦な底面から壁が外傾する形状である。土器は正立した状態で埋設され、上部は欠損する(3)。検出面における掘方の長軸は50cm、短軸は41cm残存している。深さは29cmであった。

〔堆積土〕 土器内は褐色土や暗褐色土を主体に、焼土や炭化物が混入する。掘方は褐色土やローム土を主体とする。

〔出土遺物〕 3は円筒下層d式である。

〔時期〕 埋設土器から、縄文時代前期末と考えられる。

第3号埋設土器 (図245・247、写真125・199)

〔位置・確認〕 南側調査区、VI T-209グリッドに位置しており、IV層で土器を含む褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕 掘方の平面形状は円形と推定され、断面は平坦な底面から壁がほぼ垂直に立ち上がる形状である。口縁部の破片が部分的に正立した状態で埋設される(4)。その内側から、破片が重なった状態で出土した(5・6)。また、破片の上から、礫器が出土した(7)。検出面における掘方の長軸は36cm残存しており、短軸は35cm残存している。深さは17cmであった。

〔堆積土〕 土器内はにぶい黄褐色土を主体とする。掘方は褐色土を主体に、検出面に焼土を確認した。検出面に焼土を確認したことから、炉の可能性も考えられる。

〔出土遺物〕 4は円筒下層d2～上層a1式と考えられる。5・6についても同型式と思われ、同一個体の可能性が考えられる。

〔時期〕 埋設土器から、縄文時代前期末から中期初頭と考えられる。

第4号埋設土器 (図245・247、写真125・199)

〔位置・確認〕 南側調査区、VI H-216グリッドに位置する。IV層で埋設された土器と暗褐色土の掘方を確認した。

〔構造〕 土器は倒立状態で埋設され、口縁部のみが残存する。掘方は円形を呈すると考えられ、確認時における残存部分の長軸は39cm、短軸は20cm残存し、深さは8cmである。掘方の断面形状は底面か

らやや外傾して立ち上がる、逆台形を呈する。

〔堆積土〕土器内には褐色土、掘方には暗褐色土が堆積する。

〔出土遺物〕埋設された土器は円筒下層d2式（8）である。

〔時期〕埋設土器から、縄文時代前期末（円筒下層d2式期）と考えられる。

第5号埋設土器（図245・247、写真126・199）

〔位置・確認〕南側調査区、VI I-215グリッドに位置する。第26号竪穴建物跡精査中に埋設された土器と暗褐色土の掘方を確認した。

〔重複〕第26号竪穴建物跡と重複し、本遺構が新しい。

〔構造〕土器は倒立状態で埋設され、胴部下半が欠損する。掘方は円形を呈すると考えられ、確認時における残存部分の長軸は34cm、短軸は18cm残存し、深さは23cmである。掘方は土器の外形に沿うように掘り込まれ、断面形状はやや内傾して立ち上がる、台形を呈する。

〔堆積土〕土器内には褐色土と暗褐色土、掘方には暗褐色土が堆積する。

〔出土遺物〕埋設された土器は円筒下層d2～上層a1式（9）である。

〔時期〕埋設土器から、縄文時代前期末から中期初頭（円筒下層d2から上層a1式期）と考えられる。

第6号埋設土器（図245・248、写真126・199）

〔位置・確認〕南側調査区、VI U-208グリッドに位置しており、V層で土器を含む黒褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕ピットと重複しており、本埋設土器が新しい。

〔構造〕掘方の平面形状は、円形と推定されるが、詳細は不明である。断面は平坦な底面から壁が外傾する形状である。土器は口縁を下に、斜位の状態で出土し、底部は欠損する（10）。土器内から、磨石が出土した（11）。

〔堆積土〕土器内は暗褐色土や褐色土、掘方は黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕10は円筒上層a2式である。

〔時期〕埋設土器から、縄文時代中期前葉と考えられる。

第7号埋設土器（図245・248、写真126・199）

〔位置・確認〕南側調査区、VI S-213グリッドに位置しており、IV層で土器を含む褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕掘方の平面形状は円形、断面は平坦な底面から壁が外傾する形状である。土器は正立した状態で埋設され、上部は欠損する（12）。検出面における掘方の長軸は43cm残存しており、短軸は42cmである。深さは13cmであった。

〔堆積土〕土器内は暗褐色土、掘方は褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕12は円筒下層d式である。

〔時期〕埋設土器から、縄文時代前期末と考えられる。

第8号埋設土器（図246・248、写真127・199）

〔位置・確認〕南側調査区、VI J-218グリッドに位置しており、第21号竪穴住居跡の堆積土から土器を含む黒褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第21号竪穴住居と重複しており、本埋設土器が新しい。

〔構造〕掘方の平面形状は楕円形、断面は平坦な底面から壁が外傾する形状である。土器は正立した状態で埋設され、口縁部は欠損する(13)。検出面における掘方の長軸は33cm、短軸は26cmである。

〔堆積土〕土器内は暗褐色土、掘方は黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕13は円筒下層d2式と考えられる。

〔時期〕埋設土器から、縄文時代前期末と考えられる。

第9号埋設土器(図246・248、写真127・199)

〔位置・確認〕南側調査区、VI J-218グリッドに位置しており、第21号竪穴住居跡の堆積土から土器を含む黒褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第21号竪穴住居跡と重複しており、本埋設土器が新しい。

〔構造〕掘方の平面形状は円形、断面は平坦な底面から壁がやや外傾する形状である。土器は正立した状態で埋設される(14)。検出面における掘方の長軸は27cm、短軸は25cmである。深さは29cmであった。

〔堆積土〕黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕14は円筒下層d2式である。

〔時期〕埋設土器から、縄文時代前期末と考えられる。

第10号埋設土器(図246・248、写真127・200)

〔位置・確認〕南側調査区、VI K-219グリッドに位置しており、第21号竪穴住居跡の堆積土から土器を含む暗褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第21号竪穴住居跡と重複しており、本埋設土器が新しい。

〔構造〕掘方の平面形状は円形、断面は平坦な底面から壁がやや外傾する形状である。土器は底部を下に、斜位の状態出土し、上部は欠損する(15)。検出面における掘方の長軸は23cm、短軸は20cmである。深さは11cmであった。

〔堆積土〕暗褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕15は円筒下層d式と考えられる。

〔時期〕埋設土器から、縄文時代前期末と考えられる。

第11号埋設土器(図246・249、写真127・200)

〔位置・確認〕南側調査区、VI J-218グリッドに位置しており、第21号竪穴住居跡の堆積土から土器を含む暗褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第21号竪穴住居跡と重複しており、本埋設土器が新しい。

〔構造〕掘方の平面形状は楕円形、断面は平坦な底面から壁が外傾する形状である。南側に胴部の破片が巡り、内部には同一個体の破片が重なった状態であった(16)。検出面における掘方の長軸は30cm、短軸は21cmである。深さは14cmであった。

〔堆積土〕暗褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕16は円筒上層a1式である。

〔時期〕埋設土器から、縄文時代中期初頭と考えられる。

第12号埋設土器(図246・249、写真128・200)

〔位置・確認〕南側調査区、VI O-216グリッドに位置しており、漸移層のIV層中で黒色土の落ち込み

と、それに伴う土器を確認した。

〔構造〕南西側を失っており不明であるが、検出面での掘方長軸30.3cm、短軸21.6cm、深さ20.7cmで、円形の平面と推定される。断面形状は南東方向に傾く逆台形である。土器は正立状態で出土し、底部及び上部は欠損する。

〔堆積土〕土器内は黒色土、掘方は暗褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕埋設された土器は、円筒下層d1式又はd2式と考えられる(17)。

〔時期〕埋設土器から、縄文時代前期末と考えられる。

第13号埋設土器 (図246・249、写真128・200)

〔位置・確認〕南側調査区、VI J-216グリッドに位置しており、ローム層のV層上面において黒褐色土の落ち込みと、それに伴う土器を確認した。

〔構造〕南西側を失っており不明であるが、検出面での掘方長軸36.6cm、短軸27.6cm、深さ11.2cmで、平面形は円形と推測される。断面形状は逆台形である。土器は底部及び上部を欠損し正立状態で埋設されている。草木痕の影響か、北西側の土器片配置には乱れが生じている。

〔堆積土〕土器内は黒褐色土、掘方は暗褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕埋設された土器は型式不明であるが、縄文時代前期後葉から中期前葉の何れかに属すると考えられる(18)。

〔時期〕埋設土器から、縄文時代前期後葉～中期前葉の範疇と考えられる。

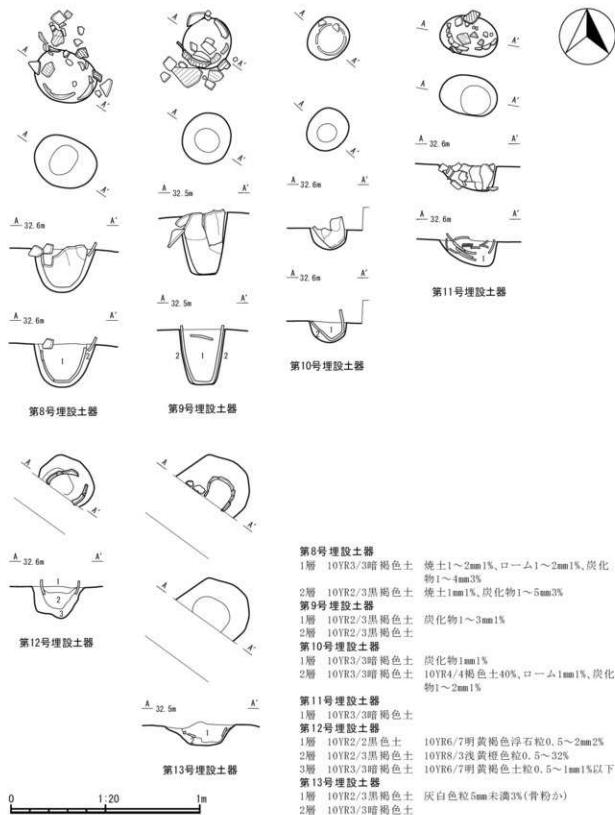


図 246 埋設土器

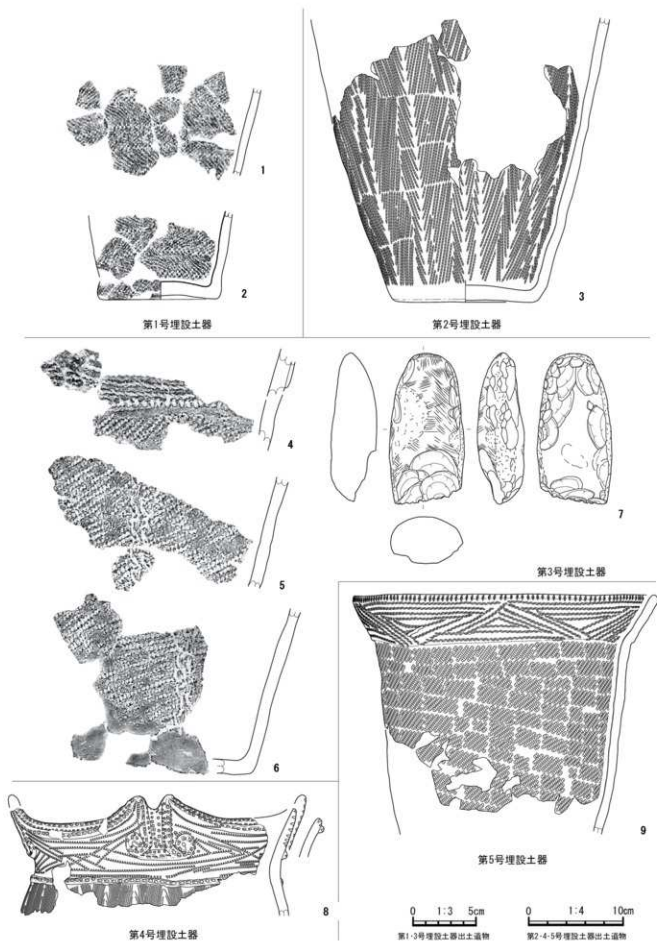
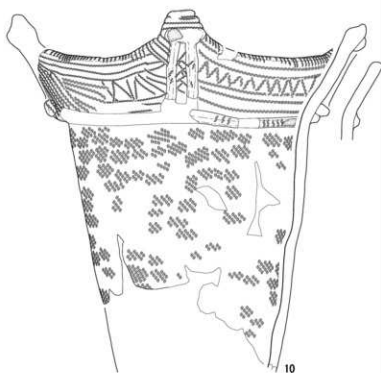


図247 埋設土器出土遺物

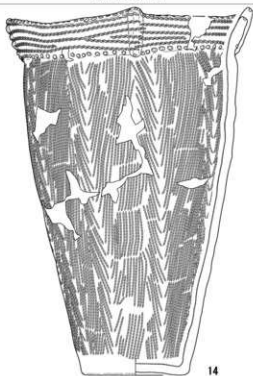


10



11

第6号埋設土器



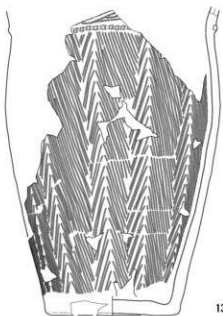
14

第9号埋設土器



12

第7号埋設土器



13

第8号埋設土器



15

第10号埋設土器



石器



第6~9号埋設土器出土遺物

図248 埋設土器出土遺物

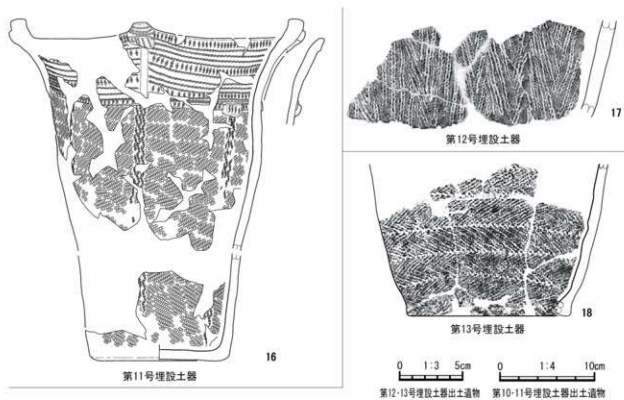


圖249 埋設土器出土遺物

(4) 焼土遺構

第1号焼土遺構 (図250、写真128)

〔位置・確認〕南側調査区、VIS-206グリッドに位置しており、IV層で焼土の広がりとして確認した。

〔構造〕暗褐色土が橙色に焼けている。平面形状は円形である。検出面の長軸は50cm、短軸は44cmである。

〔出土遺物〕縄文土器の破片が出土した。

〔時期〕出土遺物や検出層位から、縄文時代と考えられるが、詳細は不明である。

第2号焼土遺構 (図250、写真128)

〔位置・確認〕南側調査区、VIS-207グリッドに位置しており、IV層で焼土の広がりとして確認した。

〔重複〕第8号土坑と重複しており、本焼土遺構が新しい。

〔構造〕暗褐色土が橙色に焼けている。平面形状は楕円形である。検出面の長軸は56cm、短軸は38cmである。

〔出土遺物〕出土していない。

〔時期〕重複関係から、縄文時代中期初頭以降と考えられる。

第3号焼土遺構 (図250、写真128)

〔位置・確認〕南側調査区、VIO-209グリッドに位置しており、IV層で焼土の広がりとして確認した。

〔構造〕暗褐色土が橙色に焼けている。平面形状は楕円形である。検出面の長軸は32cm残存しており、短軸は32cmである。

〔出土遺物〕出土していない。

〔時期〕検出層位から、縄文時代と考えられるが、詳細は不明である。

第4号焼土遺構 (図250、写真128)

〔位置・確認〕南側調査区、VIO-208グリッドに位置しており、IV層で焼土の広がりとして確認した。

〔構造〕暗褐色土が橙色に焼けている。平面形状は円形である。検出面の長軸は50cm、短軸は48cmである。

〔出土遺物〕出土していない。

〔時期〕検出層位から、縄文時代と考えられるが、詳細は不明である。

第5号焼土遺構 (図250、写真129)

〔位置・確認〕南側調査区、VIO-209グリッドに位置しており、IV層で焼土の広がりとして確認した。

〔構造〕暗褐色土がにぶい橙色に焼けている。平面形状は円形が楕円形と推定される。検出面の長軸は46cm、短軸は22cm残存している。

〔出土遺物〕出土していない。

〔時期〕検出層位から、縄文時代と考えられるが、詳細は不明である。

第6号焼土遺構 (図250、写真129)

- [位置・確認] 南側調査区、VIQ-206グリッドに位置しており、IV層で焼土の広がりとして確認した。
- [重複] ビットと重複しており、本焼土遺構が古い。
- [構造] 暗褐色土が橙色に焼けている。平面形状は不整形である。検出面の長軸は82cm、短軸は70cm残存している。
- [出土遺物] 出土していない。
- [時期] 検出層位から、縄文時代と考えられるが、詳細は不明である。

第7号焼土遺構 (図250)

- [位置・確認] 南側調査区、VIN-205グリッドに位置しており、V層で焼土の広がりとして確認した。
- [重複] 第160号土坑と重複しており、本焼土遺構が古いと考えられる。
- [構造] 検出面の長軸は58cm残存しており、短軸は40cm残存している。
- [出土遺物] 出土していない。
- [時期] 検出層位から、縄文時代と考えられるが、詳細は不明である。

第8号焼土遺構 (図250、写真129)

- [位置・確認] 南側調査区、VIK-211グリッドに位置する。IV層で焼土の広がりとして確認した。
- [構造] 東側と西側の2ヶ所に分かれる。東側は不整形を呈し、残存部分の長軸は126cm、短軸は58cmである。西側は楕円形を呈すると考えられ、残存部分の長軸は28cm、短軸は20cm残存する。それぞれ橙色の焼土が形成されている。
- [出土遺物] 出土していない。
- [時期] 確認された層位から、縄文時代と考えられるが、詳細は不明である。

第9号焼土遺構 (図250、写真129)

- [位置・確認] 南側調査区、VIN-214グリッドに位置する。IV層で焼土の広がりとして確認した。
- [重複] 第45号堅穴建物跡と重複し、本遺構が新しい。
- [構造] 楕円形を呈する。確認時における長軸は60cm、短軸は48cmである。中央やや南側が凹み橙色の焼土が形成されている。
- [出土遺物] 縄文土器片が出土している。
- [時期] 遺構の重複関係から、縄文時代前期末以降と考えられる。

第10号焼土遺構 (図250、写真129)

- [位置・確認] 南側調査区、VIP-208グリッドに位置しており、IV層で焼土の広がりとして確認した。
- [構造] 暗褐色土が橙色に焼けている。平面形状は不整形である。検出面の長軸は54cm、短軸は42cmである。
- [出土遺物] 出土していない。
- [時期] 検出層位から、縄文時代と考えられるが、詳細は不明である。

第11号焼土遺構 (図250、写真129)

〔位置・確認〕南側調査区、VIP-208グリッドに位置しており、IV層で焼土の広がりとして確認した。

〔構造〕暗褐色土が橙色に焼けている。平面形状は不整形である。検出面の長軸は30cm、短軸は26cmである。

〔出土遺物〕出土していない。

〔時期〕検出層位から、縄文時代と考えられるが、詳細は不明である。

第12号焼土遺構 (図250、写真129)

〔位置・確認〕南側調査区、VIR-209グリッドに位置しており、IV層で焼土の広がりとして確認した。

〔構造〕暗褐色土が橙色に焼けている。平面形状は北側が円形、南側が楕円形である。北側は検出面の長軸が28cm、短軸が24cmである。南側は検出面の長軸が34cm、短軸が16cmである。

〔出土遺物〕縄文土器の破片が出土した。

〔時期〕出土遺物や検出層位から、縄文時代と考えられるが、詳細は不明である。

第13号焼土遺構 (図250、写真129)

〔位置・確認〕南側調査区、VIO-214グリッドに位置する。IV層で焼土の広がりとして確認した。

〔構造〕円形を呈し、確認時における長軸は30cm、短軸は28cmである。内側が楕円形に浅く凹み、橙色の焼土が形成されている。

〔出土遺物〕出土していない。

〔時期〕確認された層位から、縄文時代と考えられるが、詳細は不明である。

(5) ピット

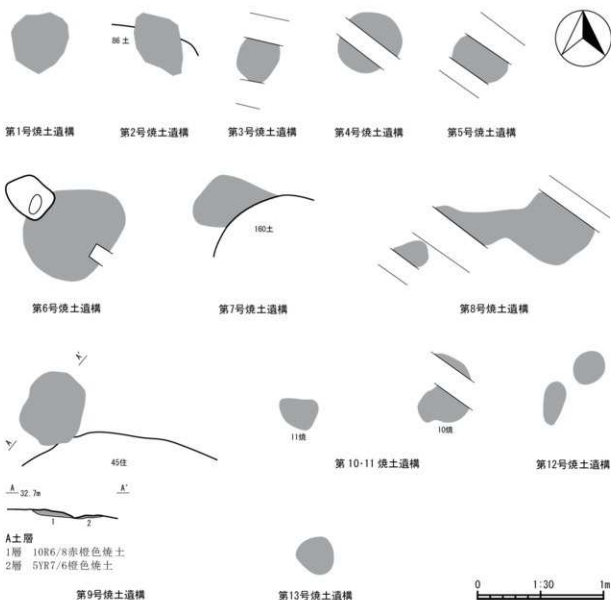
本遺跡では約175基のピットが確認・精査されている。紙幅の都合上全てを掲載することはできないため、本項で概略を記載する。

〔位置・確認〕調査区全体に明確な粗密なく分布する。一部には密集する区域も見られるが、掘立柱建物を構成するかどうかについては、不明である。

〔構造〕中には柱痕を有するものもあるが、大半の構造は不明である。

〔出土遺物〕円筒下層d～上層a式の土器が堆積土中から出土したピットもあるが、特徴的な出土状況を示すものはない。石器は、石鏃2点、スクレイパー類、U・F、磨製石斧2点、敲石、凹石、半円状扁平打製石器、磨石2点が出土した(図251-1～5)。

〔小結〕検出層位と出土遺物から、大半が縄文時代に構築されたと考えられるが、詳細は不明である。



- 第1号焼土遺構**
 2. 5YR7/8橙色焼土 炭化物2~5mm1%
- 第2号焼土遺構**
 2. 5YR7/6橙色焼土 炭化物2~5mm1%
- 第3号焼土遺構**
 2. 5YR7/6橙色焼土 炭化物2~5mm1%
- 第4号焼土遺構**
 2. 5YR7/6橙色焼土 炭化物2~5mm1%
- 第5号焼土遺構**
 7. 5YR6/4にぶい橙色土 2. 5YR7/6橙色焼土ブロック状30%,炭化物2~10mm1%
- 第6号焼土遺構**
 2. 5YR7/6橙色焼土 焼土5~20mm2%,炭化物2~5mm1%
- 第8号焼土遺構**
 2. 5YR6/8橙色焼土
- 第10号焼土遺構**
 2. 5YR7/8橙色焼土 焼土2~5mm1%,炭化物2mm1%
- 第11号焼土遺構**
 2. 5YR7/6橙色焼土 焼土2~5mm1%,炭化物2~5mm1%
- 第12号焼土遺構**
 2. 5YR7/6橙色焼土 炭化物2~10mm1%
- 第13号焼土遺構**
 2. 5YR6/8橙色焼土

図 250 焼土遺構

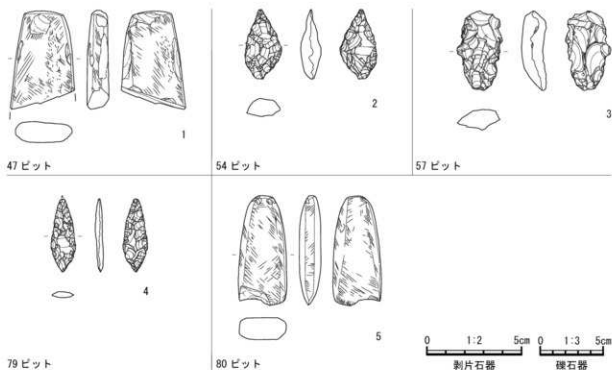


図251 ピット出土遺物

(6) 捨て場

第1号捨て場 (図252～264、写真130～133・201～206)

〔位置・確認〕南側調査区、VIU-206～VIX-206・VIU-207～VIX-207・VIU-208グリッドに位置しており、Ⅲ層で個体土器が廃棄された範囲として確認した。

〔構造〕東西が調査区外に及び、全容は不明であるが、南北の範囲は15m程である。Ⅲ層中に土器を主体とした遺物が、重層的に廃棄されている。総重量は土器が約347kg、剥片石器が約0.5kg、礫石器が約4kgであった。

〔出土遺物〕土器は主に円筒下層d式が出土した(1～49)。それらは、個体土器が横位で潰れた状態や、破片が散在した状態であった。石器は石鏃7点、石槍2点、石鏃、石匙7点、石錐、楔形石器、スクレイパー類20点、R・F4点、U・F2点、磨製石斧2点、凹石、敲石、磨石、半円状扁平打製石器16点、擦切具、砥石2点、礫器が出土した(55～102)。また、砥石は第152号土坑から出土した破片と接合している(図229-251)。土製品は土器片利用円盤が5点出土した(50～54)。石製品は石棒が出土した。

〔時期〕縄文時代前期末を主体とする。

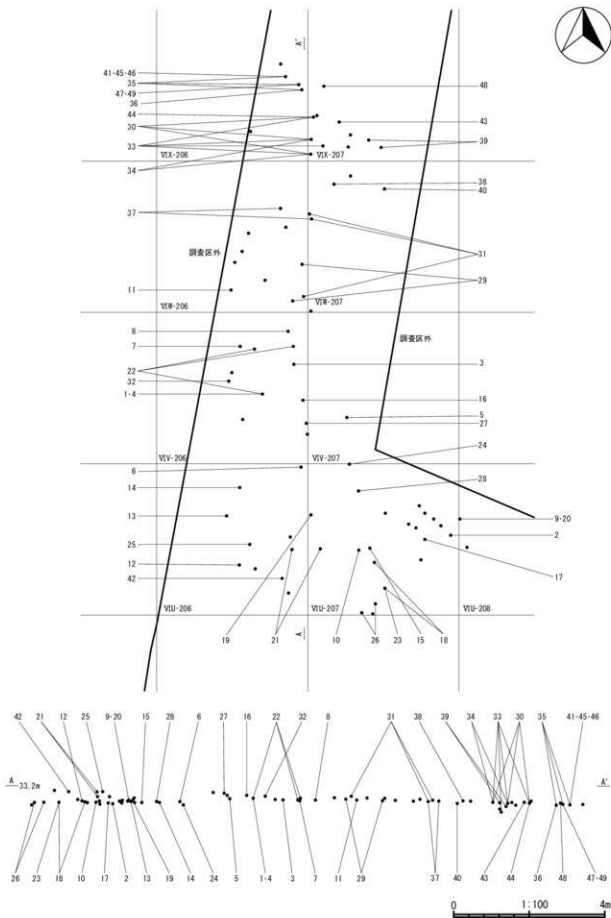


図252 第1号捨て場土器出土状況

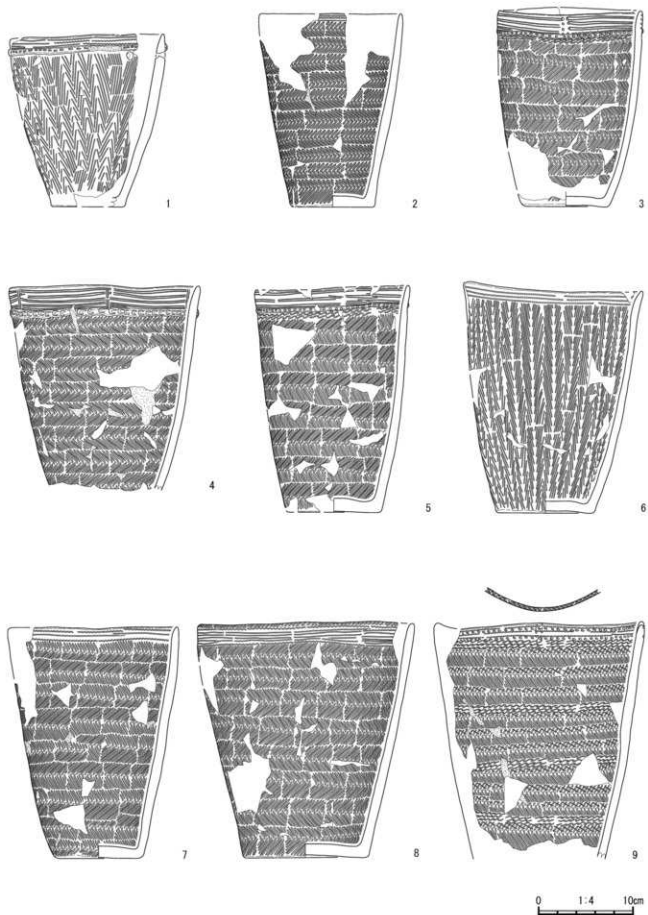


図 253 第 1 号捨て場出土遺物

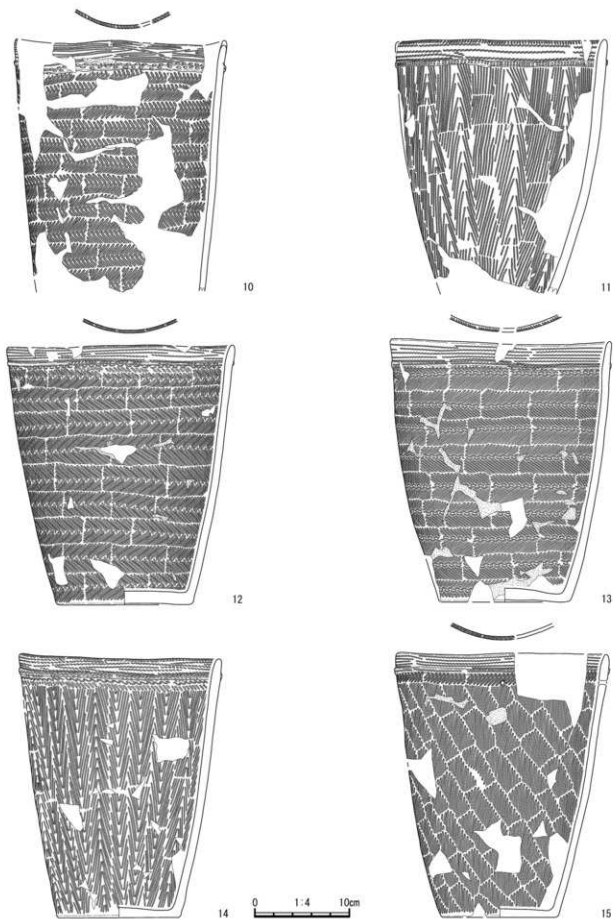
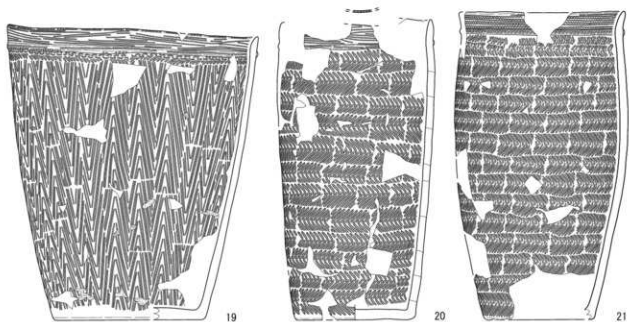
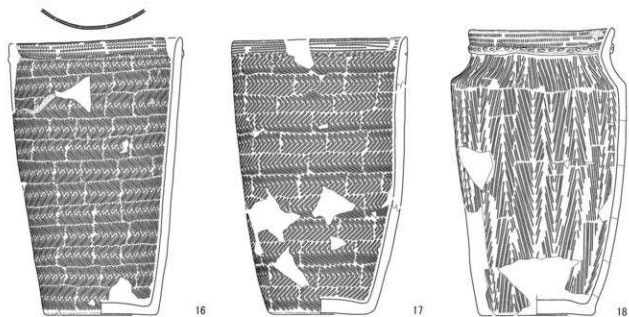


図 254 第 1 号捨て場出土遺物

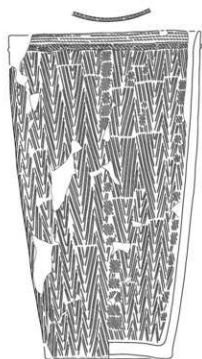


0 1:4 10cm

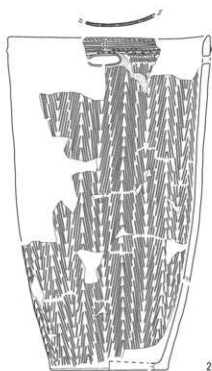
図 255 第 1 号捨て場出土遺物



22



23



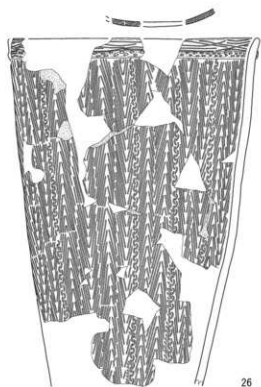
24



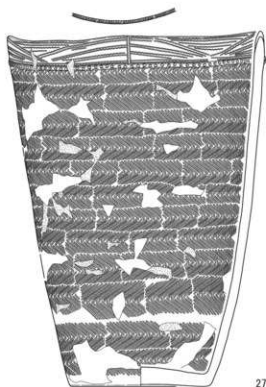
25



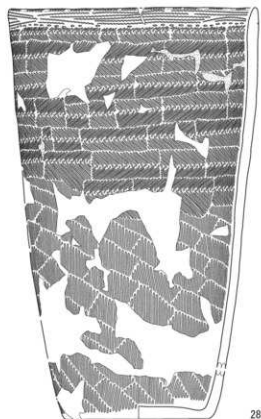
図 256 第 1 号捨て場出土遺物



26



27



28



29



図 257 第 1 号捨て場出土遺物

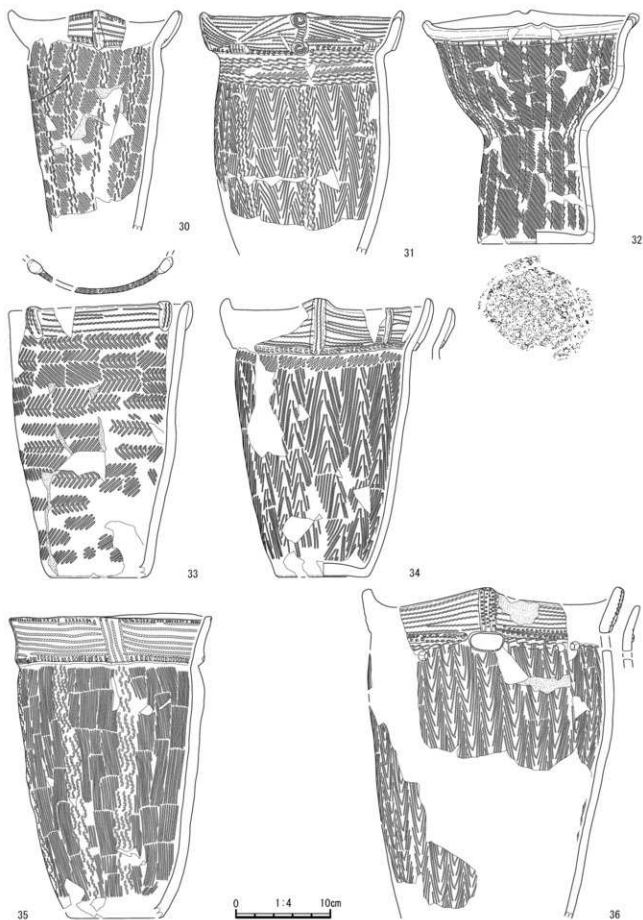


図 258 第 1 号捨て場出土遺物

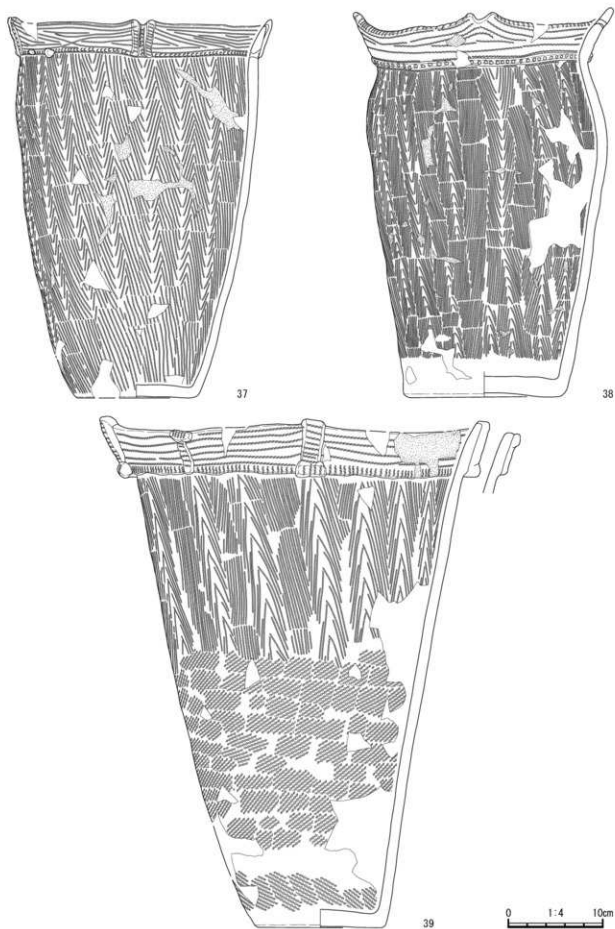


図 259 第1号捨て場出土遺物

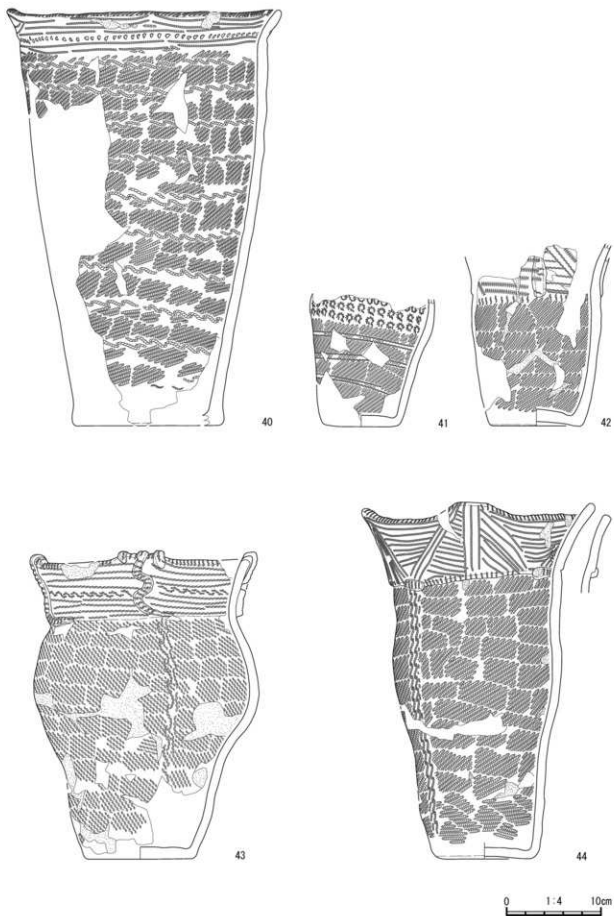


図 260 第 1 号捨て場出土遺物

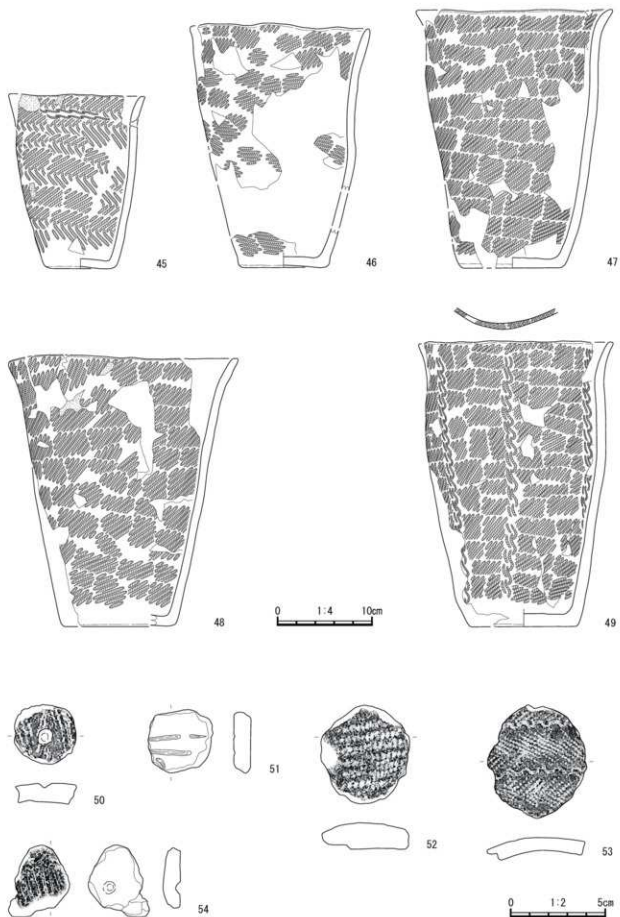


図 261 第 1 号捨て場出土遺物

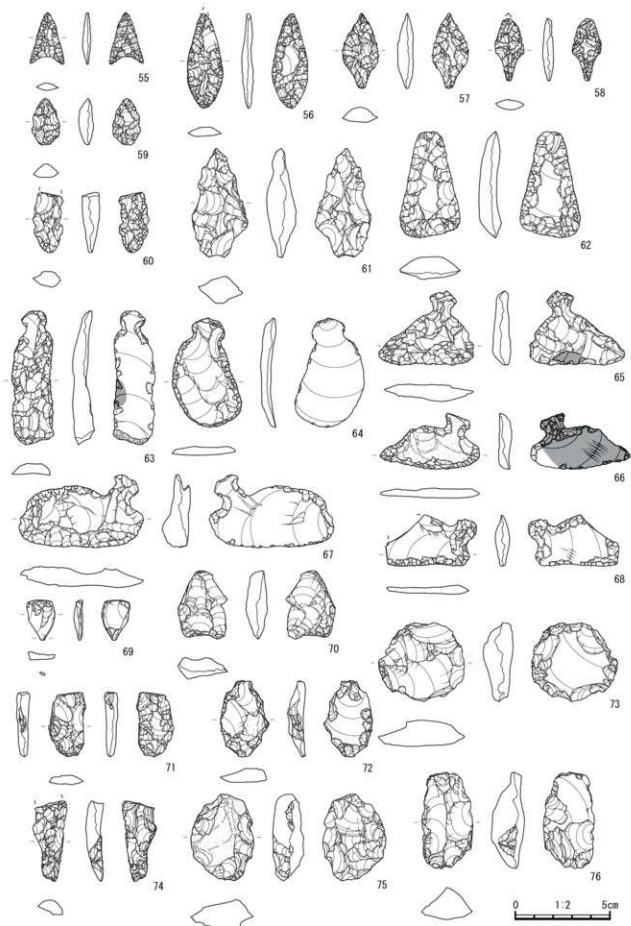


図 262 第 1 号捨て場出土遺物



図 263 第 1 号捨て場出土遺物

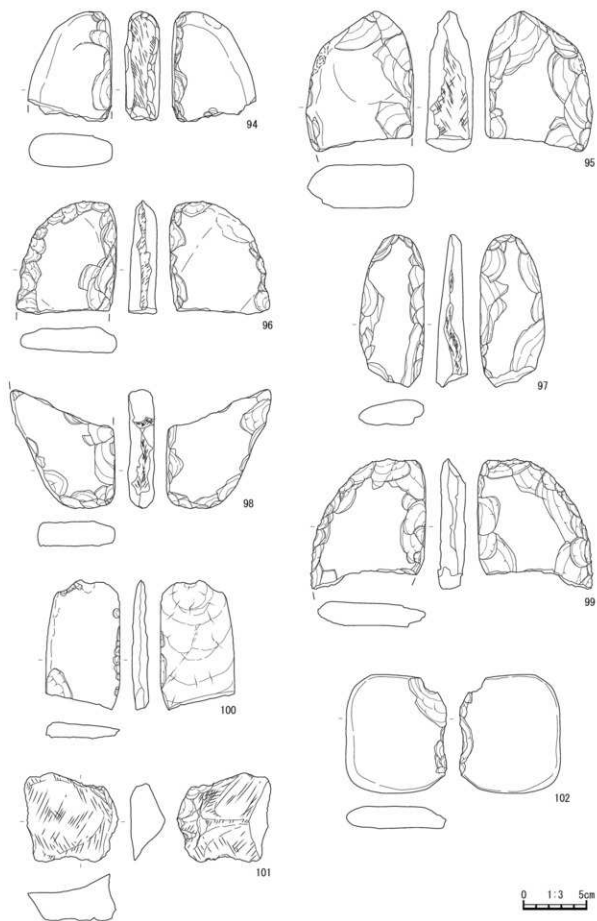


図 264 第 1 号捨て場出土遺物

(7) 溝状土坑

第1号溝状土坑 (図265、写真134)

〔位置・確認〕北側調査区、VII T-203グリッドに位置しており、IV層で黒色土の広がりとして確認した。

〔構造〕平面形状は細長い楕円形、断面は狭小な底面から壁が外傾する形状である。主軸方位は、N-25° -Eである。検出面の長軸は340cm、短軸は56cmである。底面の長軸は306cm、短軸は20cmである。深さは158cmであった。

〔堆積土〕黒色土や黒褐色土を主体に、ローム土が堆積する。堆積状況から、自然堆積と考えられる。

〔出土遺物〕出土していない。

〔小結〕形状などから、縄文時代の落とし穴と考えられる。

第2号溝状土坑 (図265、写真134)

〔位置・確認〕北側調査区、VII Q-201グリッドに位置しており、V層で暗褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕南西側が調査区外に及び、全容は不明である。平面形状は細長い楕円形、断面は狭小な底面から壁が外傾する形状である。主軸方位は、N-56° -Eである。検出面の長軸は338cm残存しており、短軸は40cm残存している。底面の長軸は330cm残存しており、短軸は16cm残存している。深さは140cmであった。

〔堆積土〕暗褐色土や黒褐色土を主体に、ローム土が堆積する。堆積状況から、自然堆積と考えられる。

〔出土遺物〕出土していない。

〔小結〕形状などから、縄文時代の落とし穴と考えられる。

第3号溝状土坑 (図265、写真134)

〔位置・確認〕北側調査区、VII N-202グリッドに位置しており、IV層で黒褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕平面形状は細長い楕円形、断面は狭小な底面から壁が外傾する形状である。主軸方位は、N-94° -Eである。検出面の長軸は380cm、短軸は62cmである。底面の長軸は360cm、短軸は20cmである。深さは138cmであった。

〔堆積土〕暗褐色土やローム土を主体とする。堆積状況から、自然堆積と考えられる。

〔出土遺物〕縄文土器の破片が出土した。

〔小結〕出土遺物や形状から、縄文時代の落とし穴と考えられる。

第4号溝状土坑 (図265、写真135)

〔位置・確認〕南側調査区、VIM-223グリッドに位置し、IV層で黒色土の広がりとして確認した。

〔構造〕平面形は長楕円形を呈する。主軸方位はN-100° -Eである。検出面の長軸は397cm、短軸は47cm、底面の長軸は388cm、短軸は14cmで、深さは120cmである。断面形状は、底面からほぼ垂直に立ち上がり、開口部が広がる「Y」字状を呈する。

〔堆積土〕黒褐色土や壁面崩落土と考えられる明黄褐色土を主体とする。自然堆積と考えられる。

〔出土遺物〕出土していない。

〔小結〕形状などから、縄文時代の落とし穴と考えられる。

第5号溝状土坑 (図266、写真135・200)

〔位置・確認〕北側調査区、ⅧD-208グリッドに位置しており、Ⅲ層で黒色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第5号壑穴住居跡と重複しており、本溝状土坑が新しい。

〔構造〕平面形状は細長い楕円形、断面は狭小な底面から壁が外傾する形状である。主軸方位は、 $N-125^{\circ}-E$ である。検出面の長軸は350cm、短軸は80cmである。底面の長軸は340cm、短軸は24cmである。深さは112cmであった。

〔堆積土〕黒色土や黒褐色土を主体に、ローム土が堆積する。堆積状況から、自然堆積と考えられる。

〔出土遺物〕土器は円筒下層d～上層a式の破片が出土した。石器は石錐が出土した(1)。

〔小結〕重複関係や形状から、縄文時代前期末以降に構築された落とし穴と考えられる。

第6号溝状土坑 (図266、写真135)

〔位置・確認〕南側調査区、ⅥJ-229グリッドに位置し、Ⅳ層で黒色土の広がりとして確認した。

〔構造〕平面形は長楕円形を呈する。主軸方位は $N-45^{\circ}-E$ である。検出面の長軸は、残存部分で294cm、短軸が43cm、底面の長軸は286cm、短軸が6cmで、深さは98cmである。断面形状は、底面からほぼ垂直に立ち上がり、開口部が広がる「Y」字状を呈する。

〔堆積土〕壁面崩落土と考えられるにぶい黄褐色土や褐色土を主体とする。自然堆積と考えられる。

〔出土遺物〕出土していない。

〔小結〕形状などから、縄文時代の落とし穴と考えられる。

第7号溝状土坑 (図266、写真136)

〔位置・確認〕南側調査区、ⅥP-214グリッドに位置しており、Ⅴ層で黒褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕上部が試掘トレンチに削平されており、全容は不明である。平面形状は細長い楕円形、断面は狭小な底面から壁が外傾する形状である。主軸方位は、 $N-91^{\circ}-E$ である。検出面の長軸は350cm残存しており、短軸は38cmである。底面の長軸は346cm、短軸は10cmである。深さは70cmであった。

〔堆積土〕黒褐色土やローム土を主体とする。堆積状況から、自然堆積と考えられる。

〔出土遺物〕出土していない。

〔小結〕形状などから、縄文時代の落とし穴と考えられる。

第8号溝状土坑 (図266、写真136)

〔位置・確認〕南側調査区、ⅥI-212グリッドに位置し、Ⅳ層で黒色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第123号土坑と重複し、本遺構が新しい。

〔構造〕平面形は長楕円形を呈する。主軸方位は $N-120^{\circ}-E$ である。検出面の長軸は368cm、短軸の残存部分は39cm、底面の長軸は366cm、短軸は7cmで、深さは100cmである。断面形状は、底面からほぼ垂直に立ち上がり、開口部が広がる「Y」字状を呈する。

〔堆積土〕黒褐色土や暗褐色土を主体とし、壁面崩落土と考えられる褐色土を含む。自然堆積と考えられる。

〔出土遺物〕堆積土中から円筒下層式土器が出土している。

〔小結〕遺構の重複関係や形状から、縄文時代前期末以降の落とし穴と考えられる。

第9号溝状土坑 (図267、写真137)

〔位置・確認〕 南側調査区、VIN-220グリッドに位置し、IV層で黒褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕 平面形は長楕円形を呈する。主軸方位はN-21°-Eである。検出面の長軸は344cm、短軸は49cm、底面の長軸は339cm、短軸は7cmで、深さは118cmである。底面はほぼ垂直に立ち上がり、中央やや下部から幅が広がる「Y」字状を呈する。

〔堆積土〕 黒褐色土や壁面崩落土と考えられる明黄褐色土を主体とする。自然堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 堆積土中から縄文土器が出土している。

〔小結〕 形状などから、縄文時代の落とし穴と考えられる。

第10号溝状土坑 (図267、写真137)

〔位置・確認〕 南側調査区、VIN-222グリッドに位置し、IV層で黒褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕 平面形は長楕円形を呈する。主軸方位はN-90°-Eである。検出面の長軸は398cm、短軸は27cm、底面の長軸は384cm、短軸は16cm、深さ98cmである。断面形状は、底面からほぼ垂直に立ち上がり、開口部が広がる「Y」字状を呈する。

〔堆積土〕 黒褐色土や暗褐色土を主体とした、自然堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 出土していない。

〔小結〕 形状などから、縄文時代の落とし穴と考えられる。

第11号溝状土坑 (図267、写真137)

〔位置・確認〕 南側調査区、VIH-211グリッドに位置し、V層で暗褐色土の広がりとして確認した。

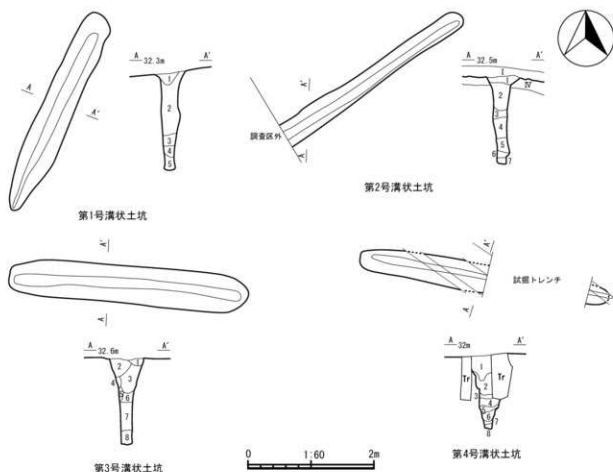
〔重複〕 第63号土坑と重複し、本遺構が新しい。

〔構造〕 平面形は長楕円形を呈し、南東側でやや北側に屈曲する。主軸方位はN-116°-Eである。検出面の長軸は370cm、短軸は36cm、底面の長軸は354cm、短軸は12cm、深さ88cmである。断面形状は、底面からほぼ垂直に立ち上がり、開口部が広がる「Y」字状を呈する。

〔堆積土〕 未実測だが、暗褐色土や黒褐色土を主体とする、自然堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 出土していない。

〔小結〕 遺構の重複関係や形状から、縄文時代前期末以降の落とし穴と考えられる。



第1号溝状土坑

- 1層 10YR2/1黒色土
- 2層 10YR2/2黒褐色土
- 3層 10YR2/1黒色土
- 4層 10YR5/8黄褐色土
- 5層 10YR2/3黒褐色土

- 千曳軽石5~10mm1%, 中掬軽石1~2mm1%
- 10YR4/4褐色土30%, 千曳軽石3~12mm1%, 中掬軽石1%
- 10YR5/6黄褐色土25%, 千曳軽石5mm1%, 中掬軽石1~3mm1%
- 10YR3/2黒褐色土5%, 千曳軽石3~5mm1%
- 10YR5/8黄褐色土5%, 千曳軽石10mm1%

第2号溝状土坑

- 1層 10YR2/1黒色土
- 2層 10YR3/3暗褐色土
- 3層 10YR4/4褐色土
- 4層 10YR3/2黒褐色土
- 5層 10YR2/3黒褐色土
- 6層 10YR4/6褐色土
- 7層 10YR2/3黒褐色土

- 中掬軽石1%
- 10YR3/3暗褐色土7%, 10YR4/6褐色土5%, 千曳軽石2~3mm2%, 中掬軽石1%
- 10YR2/3黒褐色土10%
- 10YR4/4褐色土10%, 千曳軽石15mm1%
- 10YR4/4褐色土3%, 中掬軽石1%
- 10YR2/2黒褐色土2%

第3号溝状土坑

- 1層 10YR2/1黒色土
- 2層 10YR2/2黒褐色土
- 3層 10YR3/4暗褐色土
- 4層 10YR6/8明黄褐色土
- 5層 10YR5/6黄褐色土
- 6層 10YR4/6褐色土
- 7層 10YR5/8黄褐色土
- 8層 10YR3/4暗褐色土

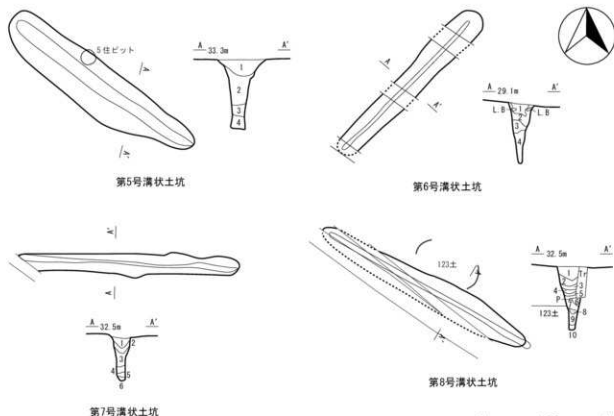
- 千曳軽石1mm1%, 中掬軽石1%
- 千曳軽石1mm1%, 中掬軽石1%
- 10YR4/6褐色土40%, 千曳軽石1mm1%, 中掬軽石1%
- 10YR3/4暗褐色土10%
- 10YR2/3黒褐色土20%
- 10YR3/4暗褐色土1%
- 10YR3/4暗褐色土1%
- 10YR5/8黄褐色土30%

第4号溝状土坑

- 1層 10YR2/1黒色土
- 2層 10YR2/3黒褐色土
- 3層 10YR6/6明黄褐色土
- 4層 10YR2/3黒褐色土
- 5層 10YR7/6明黄褐色土
- 6層 10YR2/3黒褐色土
- 7層 10YR7/6明黄褐色土
- 8層 10YR5/8黄褐色土

- ローム粒微量
- ローム粒中量
- ローム粒中量
- ローム粒多量
- ローム粒中量
- ローム粒多量

図 265 溝状土坑



第5号溝状土坑

- 1層 10YR1.7/1黒色土 千曳軽石1~2mm1%, 中強軽石1%
 2層 10YR1.7/1黒色土 10YR2/2黒褐色土10%, 千曳軽石1~2mm1%, 中強軽石1%
 3層 10YR4/6褐色土 10YR2/3黒褐色土5%, 千曳軽石1~2mm1%
 4層 10YR2/3黒褐色土 千曳軽石1~2mm1%

第6号溝状土坑

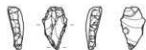
- 1層 10YR2/1黒色土 ローム粒微量
 2層 10YR3/4暗褐色土 ローム粒少量
 3層 10YR4/4褐色土
 4層 10YR5/4にぶい黄褐色土

第7号溝状土坑

- 1層 10YR2/2黒褐色土 10YR2/1黒色土30%
 2層 10YR3/4暗褐色土 10YR4/6褐色土20%
 3層 10YR4/6褐色土 10YR3/4暗褐色土1%
 4層 10YR2/1黒褐色土 10YR4/6褐色土1%
 5層 10YR4/6褐色土 10YR3/4暗褐色土10%
 6層 10YR3/4暗褐色土 10YR4/6褐色土30%

第8号溝状土坑

- 1層 10YR2/1黒色土
 2層 10YR2/3黒褐色土
 3層 10YR3/4暗褐色土
 4層 10YR2/2黒褐色土
 5層 10YR4/6褐色土
 6層 10YR4/6褐色土
 7層 10YR3/3暗褐色土
 8層 10YR4/6褐色土
 9層 10YR3/3暗褐色土
 10層 10YR2/1黒褐色土



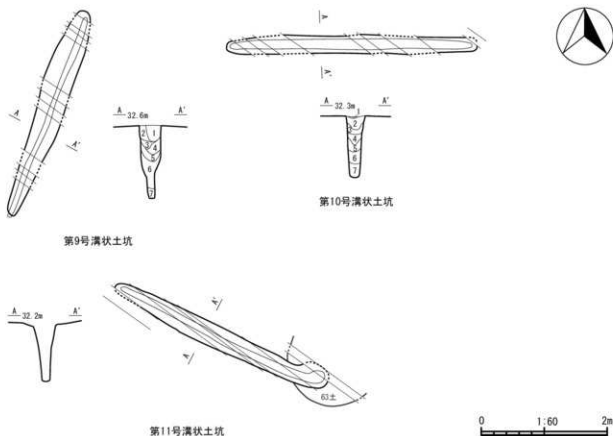
1

o



第5号溝状土坑出土遺物

図 266 溝状土坑



第9号溝状土坑

第10号溝状土坑

第11号溝状土坑

第9号溝状土坑

- 1層 10YR2/1黒色土
- 2層 10YR2/2黒褐色土
- 3層 10YR2/2黒褐色土
- 4層 10YR2/2黒褐色土
- 5層 10YR2/3黒褐色土
- 6層 7.5YR5/8明褐色土
- 7層 10YR2/1黒色土

- 10YR2/2黒褐色土20%、千曳軽石1mm1%、中掬軽石1%
中掬軽石1%
- 10YR2/3暗褐色土10%、千曳軽石1~10mm1%、中掬軽石1%
- 10YR3/3暗褐色土7%、千曳軽石1~20mm2%、中掬軽石1%
- 10YR4/4褐色土7%、千曳軽石1~10mm2%、中掬軽石1%
- 中掬軽石1~5mm1%
- 10YR2/3黒褐色土30%

第10号溝状土坑

- 1層 10YR3/3暗褐色土
- 2層 10YR3/1黒褐色土
- 3層 10YR3/3暗褐色土
- 4層 10YR2/1黒色土
- 5層 10YR3/3暗褐色土
- 6層 10YR5/6黄褐色土
- 7層 10YR2/1黒色土

- 10YR2/2黒褐色土20%、口一ム粒15%
- 10YR3/3暗褐色土20%
- 10YR2/2黒褐色土10%、10YR5/8黄褐色土7%
- 10YR3/3暗褐色土15%
- 10YR2/1黒色土5%
- 10YR3/3暗褐色土7%
- 10YR5/6黄褐色土7%

図 267 溝状土坑

第3節 遺構外出土遺物

1 土器 (図268～270、写真207)

本遺跡遺構外からは、縄文時代早期後葉～後期前葉および古代の土器が、総重量で約725kg出土している。縄文時代前期後葉～中期前葉を主体とするが、平成16年度の調査において検出された「斜面捨て場」の形成時期である縄文時代前期中葉のほか、縄文時代前期前葉、縄文時代中期後葉～後期前葉の破片も一定量含まれる。

1・2は、胎土に多量の繊維を含み、施文原体に太い縄を使用している。早稲田5類に比定される。

3・4は半裁竹管状工具による連続刺突を施す。表館式に比定される。5～7は、口縁部の文様帯に押しき文を施す。8～11は、口縁部まで全体に縄文が施文され、胎土に繊維を含む。これらは、早稲田6類に比定される。

12～23は、縄文時代前期中葉の円筒下層a～b式に比定される。22・23は口縁部の施文にそれぞれ単軸絡条体第6類・第6A類を用いることから、円筒下層b式と考えられる。その他は、破片資料のため、型式単位の細別は行っていない。

24は、口唇部に刺突、口縁部に山形の縄文押圧が施される、円筒下層c式に比定される。

25～32は円筒下層d式に比定される。ほとんどが破片資料のため、型式単位の細別は行っていない。26・27は縦位に条痕文を施す。

33・34は円筒下層式のいずれかの時期と考えられるが、詳細は不明である。

35～44は、円筒下層d2～円筒上層a式に比定される。波状口縁の頂部から刺突による縦位区画を有するもの(36・39・40)、横位に平行に2～3本1単位の縄文を押圧し、その区画内に縦位に側面圧痕や爪形刺突を施すもの(41～44)などが確認されている。

45～51はいわゆる異系統土器である。45・47は、横位の沈線による文様区画帯の中に縦位の沈線を充填する。48は、隆沈線により幾何学的な文様を施文し、横位に三角形の刺突を施文する。これらは北陸地方の朝日下層式の影響を受けたものと考えられる。49・50は口縁部との文様区画に横位の刺突を施す。大木6式系と考えられる。

52・53は榎林式、54～57は最花式に比定される。

58～79は十腰内1式に比定される。単軸絡条体第5類を器面全体に施文するもの(58)や沈線により渦巻き状文を描出するもの(59～61)、横位に平行な沈線を施すもの(62～68)などが確認されている。また、67は、鉢である。

71～75は、胎土や焼成等の特徴から縄文時代に比定されるが、詳細は不明である。

76は土師器甕であり、底面に木炭痕が確認される。2は須恵器甕、3は須恵器短頸壺である。78の内面には自然釉が付着する。

2 土製品 (図270、写真207)

79は、土偶である。細沈線および沈線により文様が施文される。80はミニチュア土器の脚付き、81～88は土器片利用円盤である。穿孔が施されるもの、盲孔を有するものがそれぞれ確認されている。

また、本報告では紙稿の都合上掲載していないが、粘土が不整形に焼成された、いわゆる焼成粘土塊が遺構内から252.7g、遺構外から153.2g出土している。

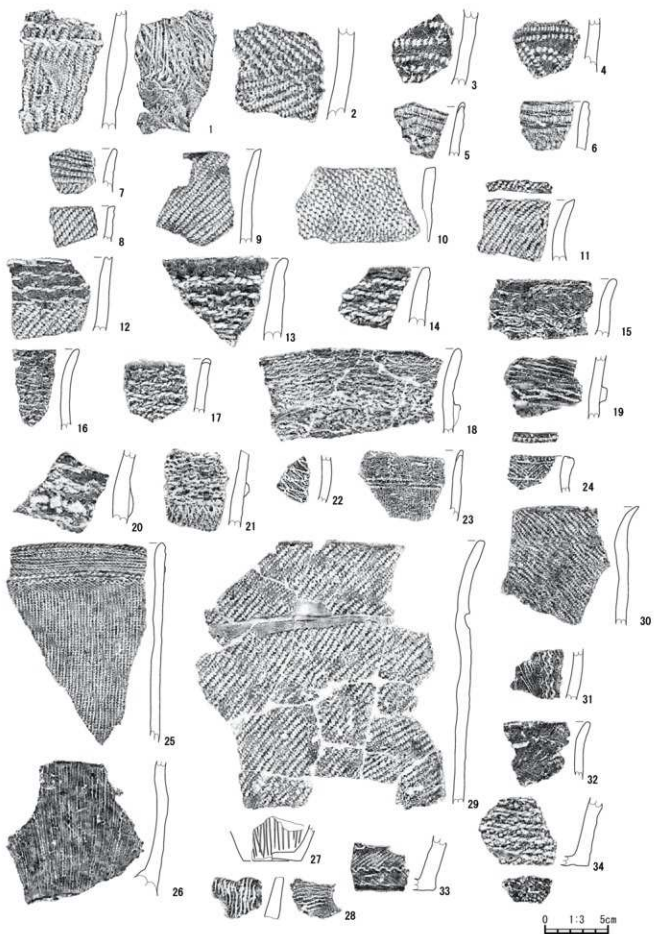


図268 遺構外出土遺物

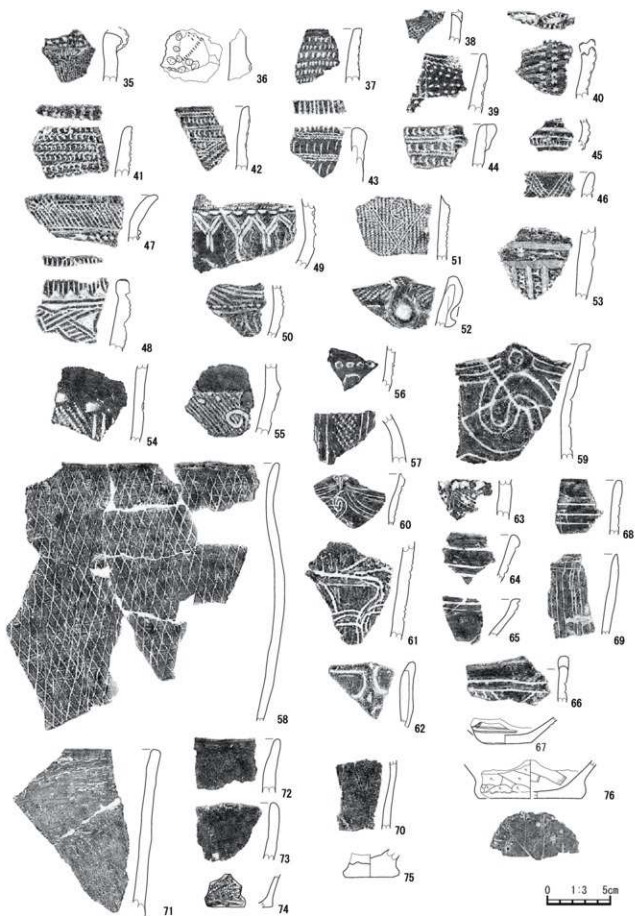
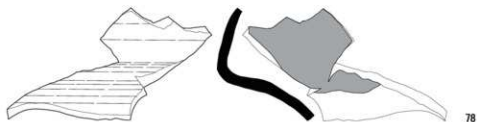


図269 遺構外出土遺物



77



78

※アミカケ部分は自然袖付着範囲

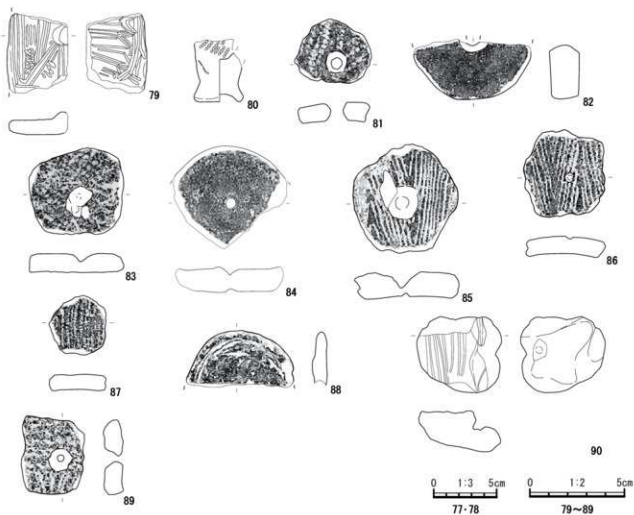


図270 遺構外出土遺物

3 石器 (図271～図281)

本調査で出土した石器類は、剥片石器、礫石器、石製品あわせて1,306点である。これらの石器は、各遺構および調査区内から満遍なく出土しており、遺構外のもは出土土器と層位を同じくする。各石器の帰属時期は詳細にできないが、出土土器の主体が、縄文時代前期後葉～中期前葉であることから、大多数の石器がその時期に帰属するものと考えられる。また、上記の時期以外に、縄文時代早期末葉、前期前葉～中葉、および中期後葉～後期前葉の土器も出土していることから、それらの時期に帰属するものも包括されている。

以下に遺構外出土石器、石製品について記述する。出土位置や石材等は観察表に記載した。

1 石器 (図271～281、写真208～210)

剥片石器は、石鏃32点、石槍6点、石筥1点、石匙12点、石錐4点、楔形石器3点、スクレイパー類54点、石核3点、R・F 17点、U・F 3点、剥片と破片が11842.9g出土している。

礫石器は、打製石斧1点、磨製石斧10点、扁平打製石器45点、扁平磨製石器1点、磨石19点、敲石11点、凹石15点、砥石6点、擦切具2点、礫器5点、台石5点、柱状節理礫4点が出土している。

石鏃(91～120) 91～105は無茎鏃、106～120は有茎鏃である。91・92は凹基、93～98は平基。93と94は凹基との境が難しいが、五角形状の器体から平基とした。加えて形状の類似性から、縄文時代早期に帰属する可能性がある。99～105は尖基無茎鏃。器体は細長く流線形を基調とする。形状の類似性から、器体断面の厚さが薄いものは円筒下層期に、厚さのある104と105は円筒上層期に帰属する可能性がある。106～120は有茎鏃。112・115、116は平基有茎、118～120は凹基有茎鏃で量的には少なく、それ以外のもので肩状の凸基有茎が多数を占める。

石槍(121～125) すべて破片である。121は基部破片で、122～125は小型石槍の部類である。

石筥(126) 短冊形で刃部を欠失する。石槍の可能性もあるが断面形状から区別した。

石匙(127～134) 127～132は縦型。133と134は横型。127～130は背面全面の調整剥離と、腹面一側縁調整の特徴から早期の松原型石匙に比定される。131と132は背面両側縁と握み部だけの簡易な剥離である。133と134は握み部と対する一側縁を両面調整し刃部としている。

石錐(135・136) ともに素材剥片の端部を両面調整して錐部を作り出したもので、対する端部は無加工のままで保持する握み部になっている。

楔形石器(137～139) 四辺形状で、上下二ヶ一對の刃部には細かな階段状剥離が認められる。

スクレイパー類(140～178) 大きくは①両面調整剥離、②背面調整剥離、③腹面調整剥離が施されるものに分けられる。各々で更に、周縁、両側縁、一側縁、調整剥離が施されるものがある。両面調整剥離のものには、両側縁を片面調整した錯向剥離のもの(148・153・156・171・174)などがある。素材剥片は不定形で、二次加工の調整剥離も多様である。

石核(179・180) 179は原礫面が残る石核で、大きく分割した面を打面として周縁から剥離している。180は多方向から剥離作業が行われ立方形状の残骸である。

打製石斧(181) 片面原礫面の打製石斧で、早期末～前期初頭に特徴的な石器である。

磨製石斧(182～186) 遺構内も含め、擦切、乳棒状、定格式の各磨製石斧が出土している。182は定格式で両端部の敲打痕は研磨成形後のものである。183～185は擦切磨製石斧である。186は所謂石鑿と呼ばれる小型磨製石斧の刃部破片である。

敲石 (187～191) 能動的敲打痕のあるもので使用部位により、礫の端部および両端が使用されるもの(187・191)、側縁や周縁が使用されるもの(189・190)、多面的に使われるものがあるほか、遺構内からは石核が転用されているものも出土している。

回石 (192～199) 扁平礫の器面に受動的敲打痕があるもので、片面使用のもの(199)、両面使用のもの(196～198)、表裏及び側面の多面を使用するもの(192～195)があるが、多面を使用するものには、敲石と複合して機能するものが多い。

磨石 (200～209) 球状礫の器面全体が使われるもの(200・201)、礫の器面が使われるもの(202)、側縁が使われるもの(203～207)に分けられる。204～206のように端部に敲打痕を有し、敲石として複合的に使われるものもある。203は器面の敲打痕から所謂北海道式石冠といわれるものである。

半円状扁平打製石器 (210～220) 礫石器の中で出土数が一番多い。楕円状の扁平礫を素材とし、側縁と端部に剥離調整が施されるものが多い。直線的な側縁には、擦り面(磨り面)を有するものと無いものがあり、前者が多い。216は板状節理礫が素材で擦切具かも知れない。

抉入磨製石器 (221) 抉入加工部と先端部を欠失する破片である。

擦切具 (222・223) 222は薄い板状礫の側縁を刃部とし、刃部の擦痕が顕著である。223は側縁を両面調整している。扁平打製石器とも見られるが、薄さから本類に含めた。

礫器 (224・225) 224は側縁の両面剥離で石錘の可能性もある。225は周縁加工の半円状扁平打製石器とすることもできるが、全体形状から本類に含めた。

砥石 (226～228) 遺構内出土も含め、すべて砂岩を素材とし破片が多い。多面を使用し、顕著な使用部位はV字またはU字状を成している。

柱状節理礫 (229) 多角形の礫面と端部に、擦痕や敲打痕がみられるものである。が、前述した、敲石や磨石ほど使用の痕跡は顕著ではなく、遺構内出土も含め使用痕跡は不明瞭である。

台石 (230・231) 厚い板状礫の平坦な一面がそのまま機能面として使用されている。

4 石製品 (図281、写真210)

石棒3点、抉状耳飾り2点、有孔石製品1点、研磨製品1点、軽石製品1点が出土している。

232～234は石棒破片で、いずれも器面を敲打後研磨されている。232は基部で浅いグリップ状に作られている。233は片側の破損面が敲きに使用されている。234は楕円状の器体である。

238・239は抉状耳飾りで、いずれも片側を欠失している。238は短冊状、239は三角形を基調としており、入念に研磨されている。235の有孔石製品は、円礫を研磨後に器体の中央を両面から穿孔している。穿孔部を中心に器面に十字に薄く擦れた痕がみられる。

237は細長い板状礫の全面が研磨されている。小型磨製石斧の未製品の可能性もある。

236は巾着袋形状の軽石製品である。上端部に全周する抉り加工が施されている。対する端部は擦りにより平滑に仕上げられている。

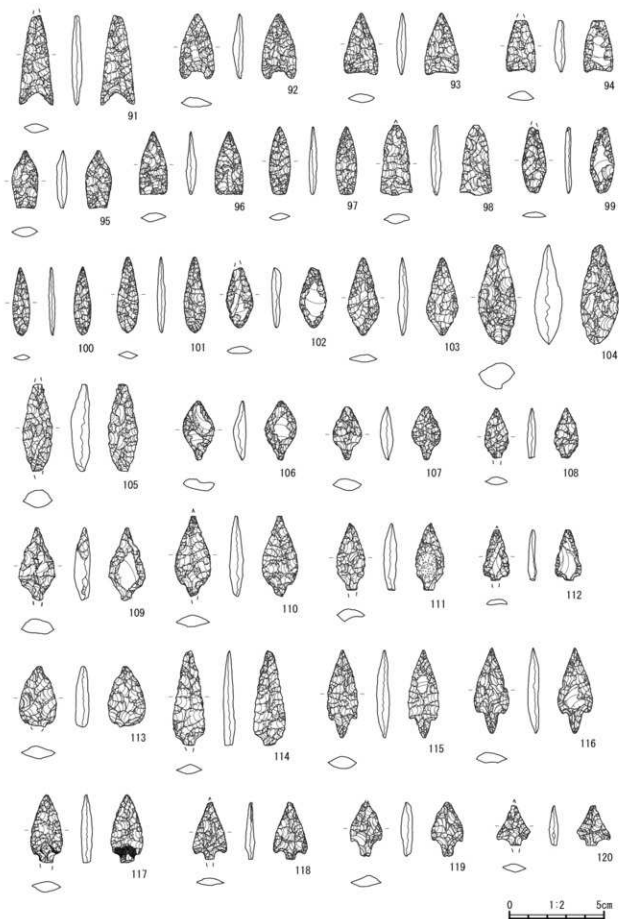


图 271 遺構外出土遺物

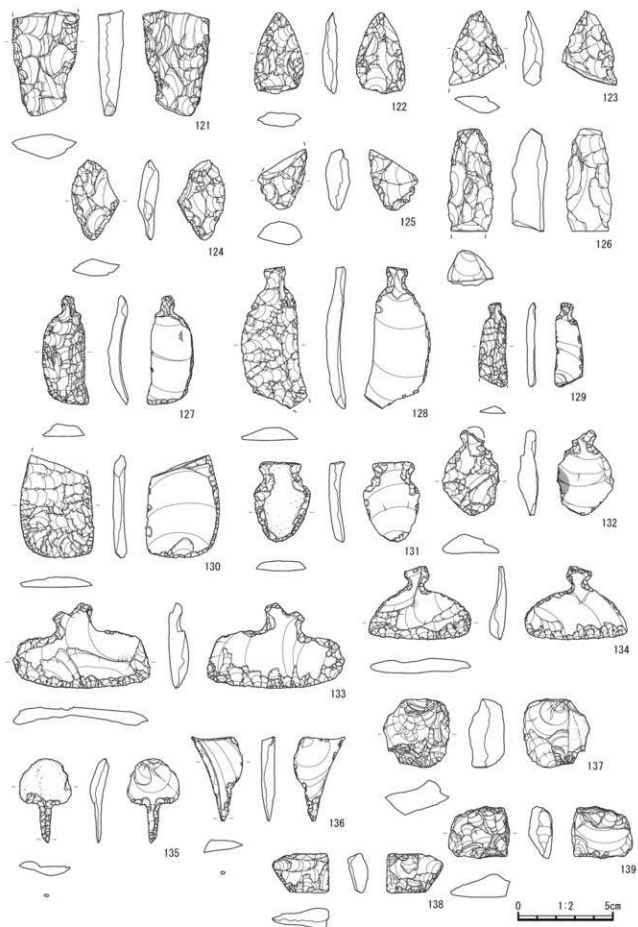


図 272 遺構外出土遺物

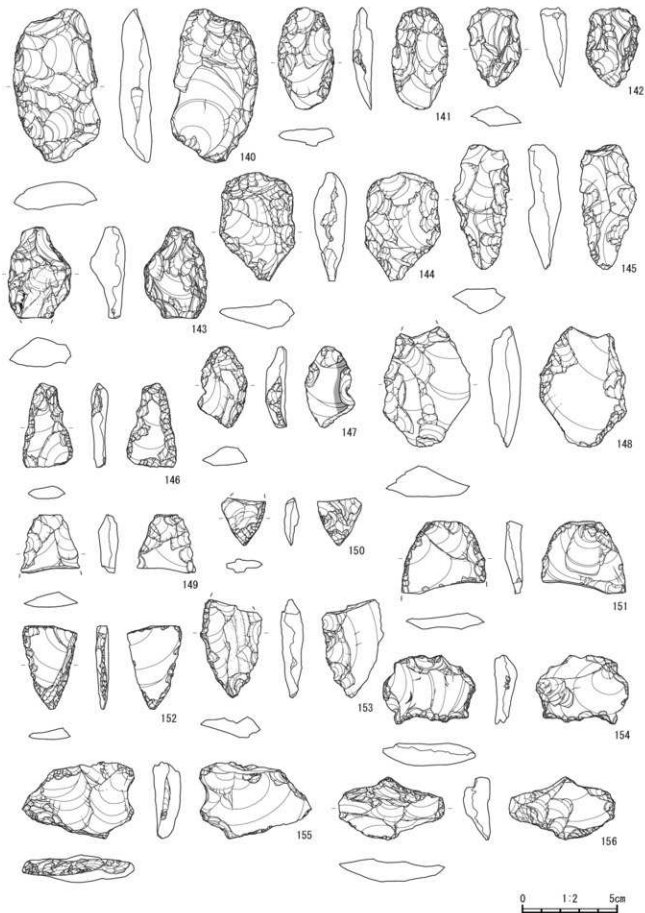


図 273 遺構外出土遺物

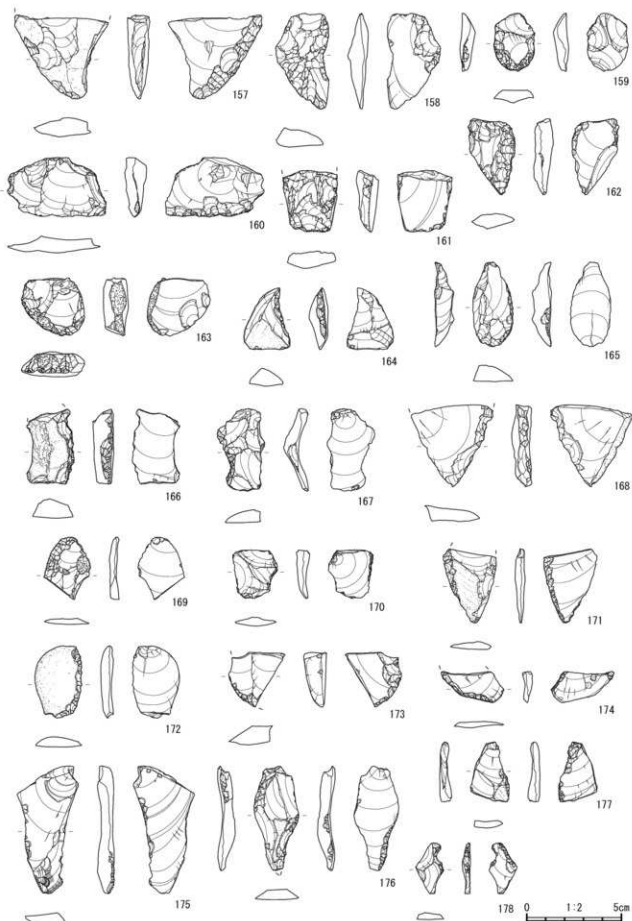


图 274 遺構外出土遺物

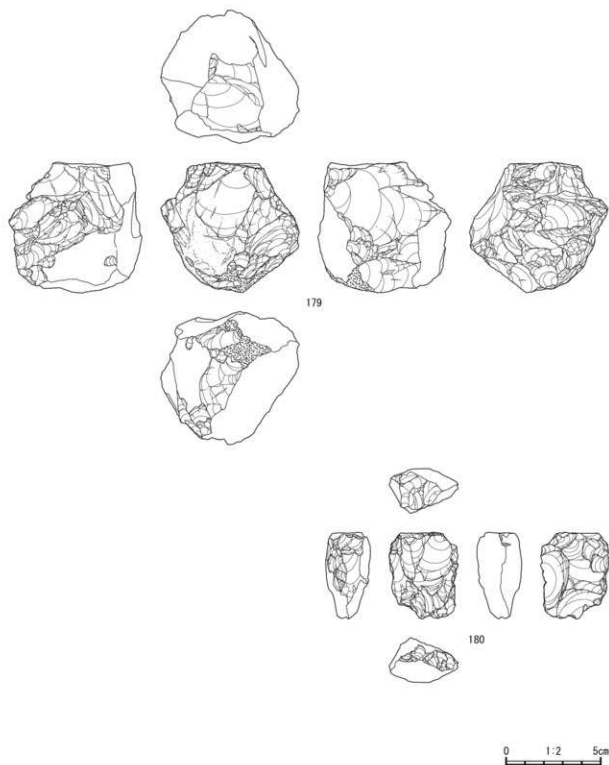


図 275 遺構外出土遺物



図 276 遺構外出土遺物

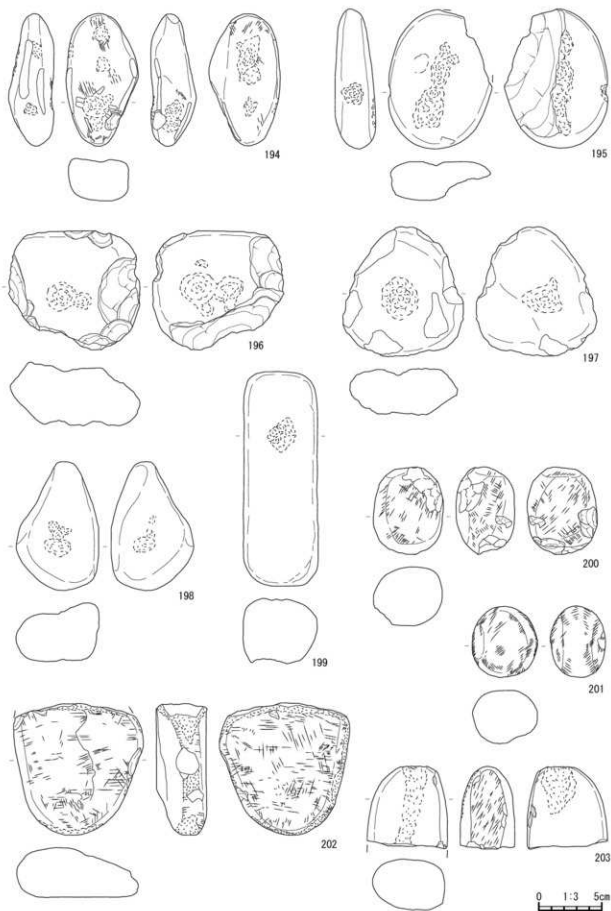


图 277 遺構外出土遺物

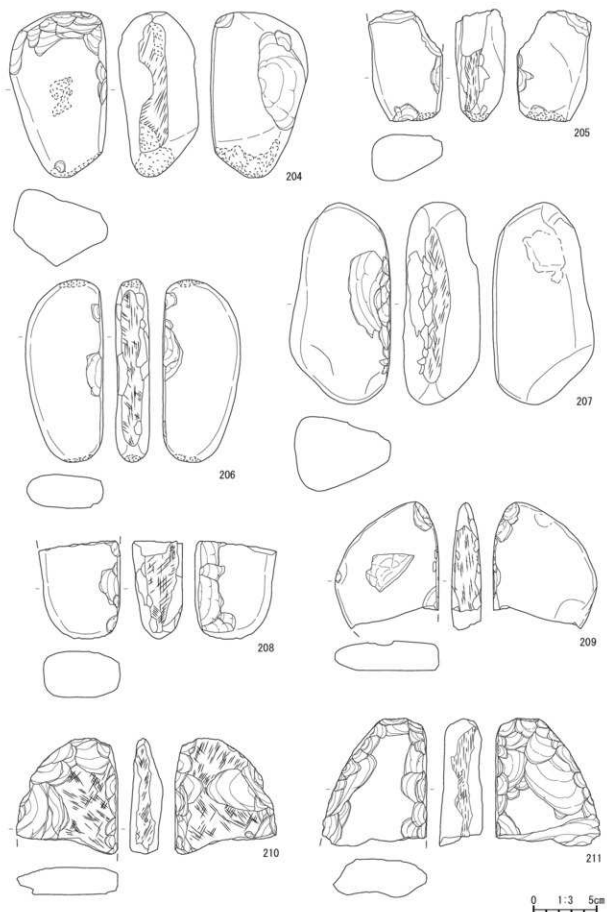


図 278 遺構外出土遺物

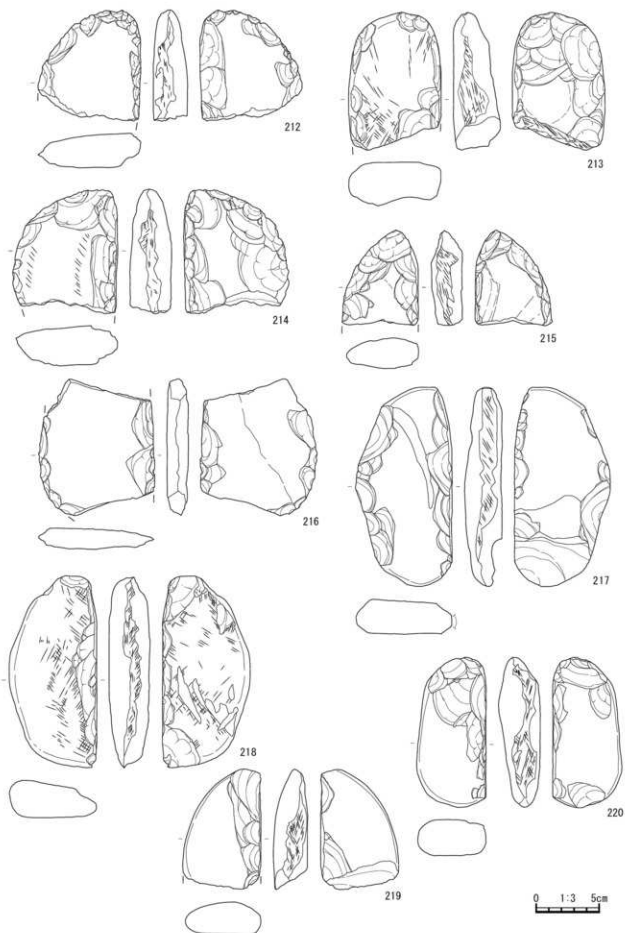


図 279 遺構外出土遺物

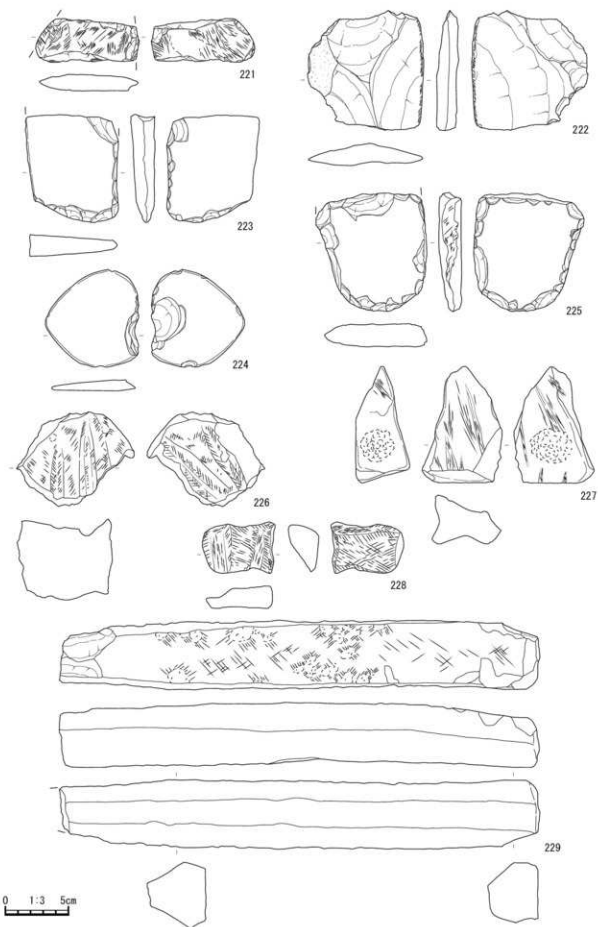


図 280 遺構外出土遺物

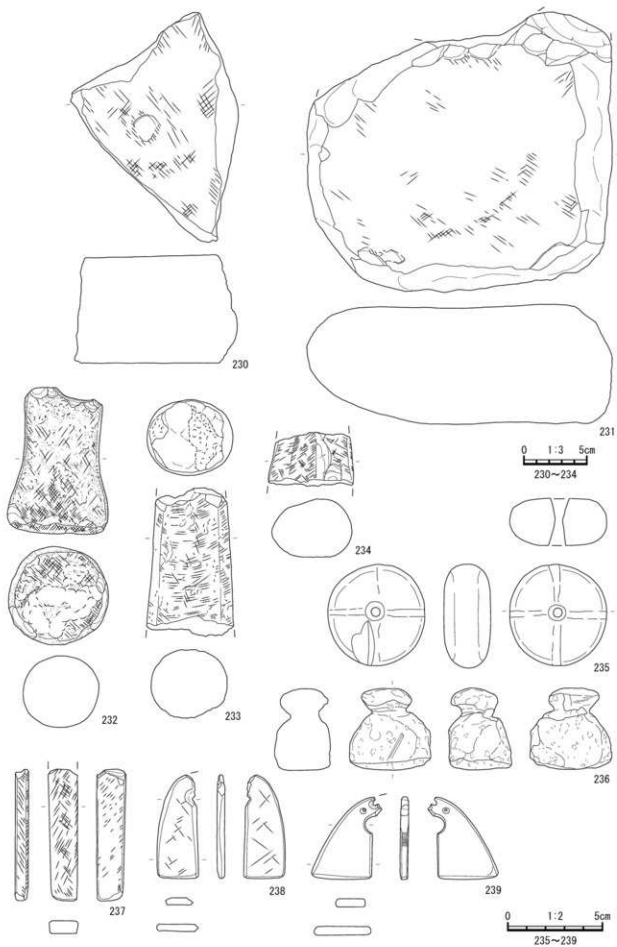


図 281 遺構外出土遺物

第4章 自然科学分析

第1節 東道ノ上(3)遺跡出土炭化材の樹種同定

株式会社 バレオ・ラボ

1. はじめに

東北町に所在する東道ノ上(3)遺跡から出土した縄文時代中期初頭の炭化材について樹種同定を行った。

2. 試料と方法

試料は第2号竪穴住居跡から出土した炭化材7点である。焼失家屋の建築材の可能性あり、時期は縄文時代中期初頭(円筒上層a式期)と推測されている。

樹種同定に先立ち、肉眼観察と実体顕微鏡観察による形状の確認と、残存年輪数および残存径の計測を行った。その後、カミソリまたは手で3断面(横断面・接線断面・放射断面)を割り出し、直径1cmの真鍮製試料台に試料を両面テープで固定した。その後、イオンスパッタで金コーティングを施し、走査型電子顕微鏡(KEVENCE社製 VE-9800)を用いて樹種の同定と写真撮影を行った。残りの試料は、青森県埋蔵文化財調査センターに保管されている。

3. 結果

樹種同定の結果、広葉樹のハンノキ属ハンノキ亜属(以下、ハンノキ亜属)とクリの2分類群が確認された。

結果の一覧を表1に示す。角状と棒状の試料は、6点ともハンノキ亜属であった。角状の試料は2~4cm角で、残存年輪数は15~28年であった。棒状の試料は、半径3cmのみかん割り状で、残存年輪数は25年であった。また、1点のみ確認されたクリは、取上げ時は丸太および角状であったが、乾燥によって割れ、2cm角の破片になっていた。

表1 第2号竪穴住居跡出土炭化材の樹種同定結果

試料番号	層位	取上げ時の状態	採取日	樹種	サイズ	残存年輪数
1	床面直上	角状	150421	ハンノキ属ハンノキ亜属	3~4cm角	<28
2	床面直上	棒状(みかん割り状)	150421	ハンノキ属ハンノキ亜属	半径3cm	25
3	床面直上	角状	150421	ハンノキ属ハンノキ亜属	2.5cm角	<15
4	床面直上	角状	150421	ハンノキ属ハンノキ亜属	3.5cm角	<15
5	床面直上	角状	150421	ハンノキ属ハンノキ亜属	2cm角	<22
6	床面直上	角状	150421	ハンノキ属ハンノキ亜属	2cm角	<27
7	床面直上	丸太・角状	150415	クリ	2cm角	<10

以下に、同定根拠となった木材組織の特徴を記載し、走査型電子顕微鏡写真を図版に示す。

(1) ハンノキ属ハンノキ亜属 *Alnus* subgen. *Alnus* カバノキ科 図版1 1a-1c (No.1)、2a-2c (No.2)

小型の道管が放射方向に数個複合して分布する散孔材である。軸方向柔組織は短接線状もしくは散在状となる。道管の穿孔は10～20段程度の階段状である。放射組織は単列同性で、集合放射組織が存在する。

ハンノキ亜属は主に温帯に分布する落葉高木または低木で、ハンノキやヤマハンノキなど7種がある。材は全般に硬さおよび重さが中庸で、加工は容易である。

(2) クリ *Castanea crenata* Siebold et Zucc. ブナ科 図版1 3a-3c (No.7)

大型の道管が年輪のはじめに数列並び、晩材部では薄壁で角張った小道管が火炎状に配列する環孔材である。軸方向柔組織はいびつな線状となる。道管の穿孔は単一である。放射組織は同性で主に単列である。

クリは温帯下部から暖帯に分布する落葉高木である。材は重硬で、耐朽性および耐湿性に優れ、保存性が高い。

4. 考察

縄文時代中期初頭（円筒上層a式期）の第2号竪穴住居跡から出土した炭化材7点はハンノキ亜属が6点、クリが1点であった。青森県を含む東北地方では縄文時代の建築材にクリを多用する傾向があり、柱材ではクリの利用は8割以上である（伊東・山田編, 2012）。青森県内の遺跡で縄文時代の建築部材にハンノキ亜属が使用されている例は少なく、八戸市の丹後谷地遺跡から縄文時代後・晩期の建築部材で2点、青森市の近野遺跡から縄文時代中期の建築部材で1点確認されているのみである（伊東・山田編, 2012）。したがって今回の分析結果は、周辺地域の木材利用傾向とはやや異なっていた。

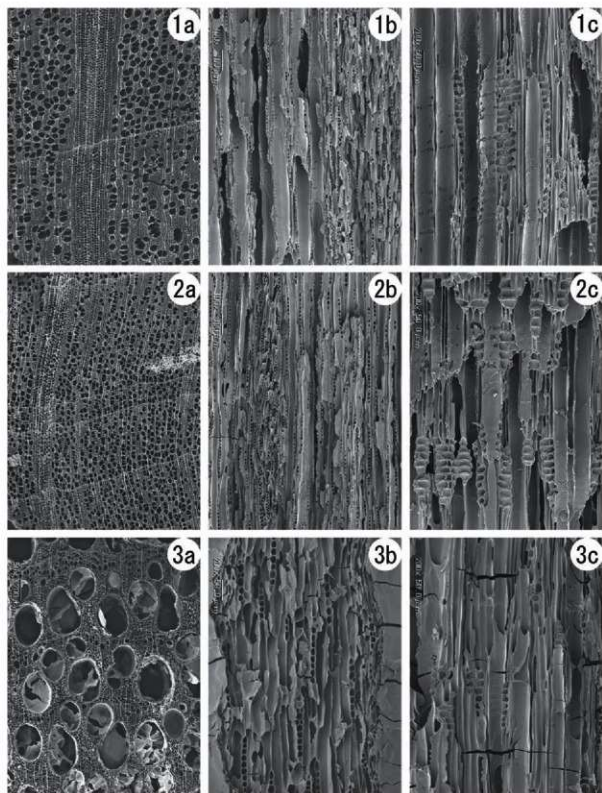
ハンノキ亜属は川岸や湿地など湿潤な土地に多く生育する。東道ノ上(3)遺跡は砂土路川右岸の標高20mほどの河岸段丘上に立地しており、遺跡周辺にもハンノキ亜属の樹木が多く生育していたと考えられる。また、今回の試料では角状や棒状の試料はハンノキ亜属、丸木の試料はクリで木取りによって樹種が異なっていたため、建築材の部位によって異なる樹種が用いられていた可能性がある。

黒沼保子

参考・引用文献

平井信二(1996)木の大自然。394p, 朝倉書店。

伊東隆夫・山田昌久編(2012)木の考古学—出土木製品用材データベース—, 449p, 海青社。



図版1 東道ノ上(3)遺跡出土炭化材の走査型電子顕微鏡写真

1a-1c. ハンノキ属ハンノキ亜属 (No. 1)、2a-2c. ハンノキ属ハンノキ亜属 (No. 2)、3a-3c. クリ (No. 7)

a: 横断面、b: 接線断面、c: 放射断面

第2節 東道ノ上(3) 遺跡第21号竪穴住居跡から出土した骨片

株式会社 バレオ・ラボ

1. はじめに

第21号竪穴住居跡では、細かい骨片が出土した。ここでは、骨片が、人骨か獣骨か、および被熱の有無を確認するために、骨片を観察し、特徴の記載と同定を行った。

2. 試料と方法

試料は、第21号竪穴住居跡から出土した骨片である。第21号竪穴住居跡の時期は、縄文時代前期末(円筒下層d式期)である。試料番号1は、2層のVIJ-220から出土した骨片2片である。試料番号2は1層のVIK-219から出土した骨片10片である。

試料の観察は、肉眼および実体顕微鏡で行った。同定は、試料とヒトや獣骨(シカ、イノシシ、イヌ、タヌキなど)標本との比較および文献との照合により行った。

3. 結果

同定した結果を表1に、写真を図版1に示す。骨片は、12片とも破砕しており、20mmに満たなかった。12片とも白色であり、焼けていると判断された。一部の試料には、収縮による亀裂が見られた。

試料番号1の2片(図版1-1a, 1b)は、哺乳綱の部位不明破片であった。つまり、ヒトか獣骨かの識別はできなかった。

試料番号2のうち、2片(図版1-2a, 2b)はヒトの四肢骨片であった。哺乳綱の四肢骨の緻密質の中には、骨の長軸に平行して走る管腔があり、ハバース管と呼ばれる。ハバース管の周囲には同心円状の構造が見られ、オステオンと呼ばれる。ヒト四肢骨の特徴として、ハバース管とオステオンのサイズが大きく、かつオステオンの面積に対するハバース管の面積が大きい点が知られている(澤田, 2013)。焼けによる変形があり、厳密な計測はしていないものの、図版1に示した2a, 2bのハバース管は、肉眼でも存在が確認できるほどにサイズが大きく、ヒト四肢骨の特徴と一致したため、ヒトと同定した。

試料番号2のうち、残りの8片(図版1-2c~j)はヒトの特徴が確認できず、哺乳綱の同定に留めた。つまり、ヒトか獣骨かの識別はできなかった。

表1 第21号竪穴住居跡出土骨片

試料番号	出土地点	層位	時期	分類群	部位	部分・状態	数量	備考
1	VIJ-220	2層	縄文時代前期末 (円筒下層d式期)	哺乳綱	不明	破片	2	焼, 白色
2	VIK-219	1層		ヒト	四肢骨	破片	2	焼, 白色
				哺乳綱	不明	破片	8	焼, 白色

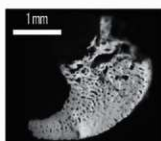
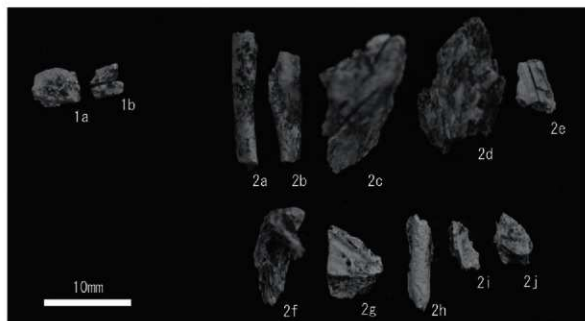
4. おわりに

縄文時代前期末の第21号竪穴住居跡から出土した骨片を同定した結果、1層から焼けたヒト四肢骨片が確認された。どのような経緯でヒトの骨片が焼け、第21号竪穴住居跡の1層に堆積したかについては、骨片の特徴からは考察できなかった。同層から出土する他の遺物と合わせた考察が望まれる。

中村賢太郎

引用文献

澤田純明(2013) 微小骨片がヒトか動物かを識別する一骨のマイクロ形態学的研究一, 考古学ジャーナル, 645, 25-29, ニューサイエンス社。



2a表面と断面の
実体顕微鏡写真

図版1 第21号整穴住居跡出土骨片

1a・b. 哺乳綱部位不明 2a・b. ヒト四肢骨 2c-j. 哺乳綱部位不明

第5章 総括

1 概要

東道ノ上(3)遺跡は、砂土路川右岸に発達した標高20～40mの河岸段丘上に立地している。平成26・27年度の調査区は、東西が急峻な段丘崖となる台地上に位置しており、縄文時代前期後葉から中期前葉を主体とした集落跡を確認した。検出された縄文時代の遺構は、堅穴住居跡48軒、土坑217基、埋設土器13基、焼土遺構13基、捨て場1箇所、溝状土坑11基などである。これらの遺構は重複し、複雑な様相であった。出土遺物は、後期旧石器時代、縄文時代早期から後期、古代の遺物が出土している。

2 後期旧石器時代

遺構は検出されなかったが、細石刃石核とそれに接合するスキヤ状削片、剥片が出土した。これらは加工や接合状況から、湧別技法による細石刃関連資料と考えられる。

3 縄文時代前期後葉

第35・37号堅穴住居跡、第26・91・95号土坑などである。堅穴住居は廃絶後、捨て場として使用されており、土器などの遺物が廃棄されていた。土坑は断面がフラスコ状であり、底面や底面付近から個体土器が出土している。

4 縄文時代前期末～中期前葉

台地平坦部から南東側の緩斜面にかけて、堅穴住居跡や土坑などが重複し、密に分布している。堅穴住居は主に南東側の台地縁辺から緩斜面に分布しており、土坑などは北西側の台地平坦部に分布している。堅穴住居には、10mを超える大型住居も確認された。また、廃絶後には、捨て場として使用されたものがあり、土器など多量の遺物が廃棄されていた。土坑は断面がフラスコ状となるものが大半であり、底面や底面付近、中位、上位から、個体土器が出土するものが多く確認されている。台地平坦部では、複数の土坑を掘り込んで堅穴住居が構築されており、居住域が南東から北西に変遷したことが考えられる。遺物は円筒下層d2～上層a1式と考えられる変遷期の土器が多数出土した。また、北陸系土器や大木系土器、軟玉製の珧状耳飾りなど、遠隔地との交流を示唆する遺物が出土している。

5 まとめ

本遺跡は、後期旧石器時代から古代の遺跡であり、今回の調査では縄文時代前期後葉から中期前葉の集落跡が確認された。特に前期末から中期前葉には、多数の遺構が重複した状況であった。また、多量の遺物とともに、大木系土器など、遠隔地との交流を示唆する遺物が出土している。これらのことから、本遺跡は上北地域における該期の拠点的な集落であったと考えられる。

引用・参考文献

- 青森県 2017 『青森県史 資料編 考古1－旧石器・縄文草創期～中期』
- 青森県教育委員会 2003 『楡館遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第342集
- 青森県教育委員会 2006 『潟野遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第412集
- 青森県教育委員会 2006 『東道ノ上(3)遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第424集
- 青森県教育委員会 2010 『明戸遺跡・高屋遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第488集
- 青森県教育委員会 2011 『山田(2)遺跡Ⅲ』青森県埋蔵文化財調査報告書第508集
- 青森県教育委員会 2013 『三内丸山遺跡40』青森県埋蔵文化財調査報告書第533集
- 青森県教育委員会 2016 『東道ノ上(3)遺跡Ⅱ』青森県埋蔵文化財調査報告書第562集
- 岩田安之 2012 「三内丸山遺跡のミニチュア土器に関する予察」『特別史跡三内丸山遺跡年報』15
青森県教育委員会
- 小笠原雅之 2017 「円筒上層式土器」『三内丸山遺跡44 総括報告書第1分冊』青森県埋蔵文化財調査報告書第588集 青森県教育委員会
- 小笠原雅之 2017 「土偶」『三内丸山遺跡44 総括報告書第1分冊』青森県埋蔵文化財調査報告書第588集 青森県教育委員会
- 茅野嘉雄 2017 「円筒下層式土器」『三内丸山遺跡44 総括報告書第1分冊』青森県埋蔵文化財調査報告書第588集 青森県教育委員会
- 小林達雄編 2008 『総覧縄文土器』『総覧縄文土器』刊行委員会

壱穴住居跡観察表

遺構名	旧遺構名 (グリッド)	位置	重複	平面形状	主軸方位	検出面	床面	高さ (cm)	床面積 (㎡)	時期	備考	
第1号壱穴住居跡	S11	VIV-225外	無し	円形か楕円形	[N-17°-E]	長編 (cm) — (309)	短編 (cm) — (293)	23	3.55	前期末～ 中期初頃		
第2号壱穴住居跡	S12	VIR-211外	無し	隅丸方形	N-42°-E	(677)	(820)	57	[41.69]	中期初頃～前葉		
第3号壱穴住居跡	S13	VIM-207外	3f1→4f積	[円形]	N-118°-E	(288)	(264)	14	[5.7]	中期後葉か 前期末以降		
第4号壱穴住居跡	S14	VII-206外	4f1→5f積	不明	[N-118°-E]	(418)	(514)	44	—	前期末		
第5号壱穴住居跡	S15	VII-206外	5f1→3f積土	不明	[N-35°-E]	(579)	(570)	53	(5.906)	前期末		
第6号壱穴住居跡	S16	VII-206外	無し	[楕円形]	N-75°-E	(1068)	[772]	—	[65]	前期末		
第7号壱穴住居跡	S17	VIF-221外	3f上→7f住→3f土	[楕円形]	[N-105°-E]	(438)	(654)	84	—	前期末～ 中期前葉		
第8号壱穴住居跡	S18	VIP-206外	3f上→33土→4f住、 18・19・20→213土→8f住	[楕円形]	[N-105°-E]	(438)	(654)	84	—	前期末～ 中期前葉		
第9号壱穴住居跡	S19	VIM-211外	3f上→32土→9f住、 41土→49土→9f住、 21・28・30・47→48・78・81 土→9f住	隅丸長方形	N-35°-E	1464	892	1404	800	72	96.02	中期前葉以前
第10号壱穴住居跡	S110	VII-224外	無し	楕円形	古: N-48.6°-E 新: N-35.3°-E	古: 576 新: 868	古: 460 新: 766	古: 560 新: 817	古: 446 新: 701	古: 20.15 新: 45.73	前期末～ 中期前葉	
第11号壱穴住居跡	S111	VIQ-209外	11f住→46土	楕円形	N-74°-E	740	506	656	416	108	22.172	前期末～ 中期初頃
第12号壱穴住居跡	S112	VII-222外	無し	円形	N-126°-E	323	290	308	274	38	6.955	前期末
第13号壱穴住居跡	S113	VII-222外	17土→13f住、13・16土 不明	[円形か楕円形]	[N-126°-E]	—	—	—	—	36	—	前期末以降
第14号壱穴住居跡	S114	VIR-208外	14住→24土、35土不 明	[楕円形]	N-52°-E	(512)	366	(454)	308	60	[13.22]	中期前葉以前
第15号壱穴住居跡	S115	VIC-219外	56土→15f住→42・43土	[楕円形]	N-34°-E	(556)	(668)	(536)	(657)	51	(25.39)	前期末
第16号壱穴住居跡	S116	VII-217外	18・19住→16住	[楕円形]	N-37°-E	(842)	(701)	(820)	(646)	121.6	(55.32)	前期末
第17号壱穴住居跡	S117	VIG-213外	36土不明	不明	—	—	—	—	—	(24)	—	前期末
第18号壱穴住居跡	S118	VIF-218外	18住→10f住→16f住、 39土不明	[楕円形]	N-40°-E	(416)	(340)	—	—	64	—	前期末以前
第19号壱穴住居跡	S119	VIE-216外	16住→19f住→16f住 38土	不明	—	—	—	—	—	(15)	—	前期末以前
第20号壱穴住居跡	S120	VII-214外	21住→9・10・12理	[円形か楕円形]	[N-31°-E]	—	—	—	—	(29.6)	—	前期末～ 中期初頃
第21号壱穴住居跡	S121	VII-219外	21住→9・10・12理	楕円形	N-62°-E	1420	(1072)	1385	(1027)	132	(120.472)	前期末
第22号壱穴住居跡	S122	VIN-217外	23住→22住	[隅丸長方形 か楕円形]	—	900	600	—	—	72	63.2	前期末～ 中期初頃
第23号壱穴住居跡	S123	VIN-216外	23住→22住	長楕円形	N-31°-E	1100	750	—	—	72	63.1	前期末
第24号壱穴住居跡	S124	VIG-217外	無し	楕円形	N-4°-E	432	354	427	328	49	11.28	前期末～ 中期初頃
第25号壱穴住居跡	S125	VII-217外	60土→25住	[円形]	N-126°-E	(385)	428	(362)	300	57	(12.417)	前期後葉～末

遺構名	旧遺構名	位置 (グリッド)	重複	平面形状	主軸方位	検出面				深さ (cm)	床面積 (㎡)	時期	備考
						長軸 (cm)	短軸 (cm)	長軸 (cm)	短軸 (cm)				
第26号壱穴住居跡	SI26	VII-214外	61土→26住→5埋	楕円形	N-16°-E	(995)	(646)	962	614	33	[51,547]	前期末～ 中期初頭	
第27号壱穴住居跡	SI27	VIG-216外	無し	不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—
第28号壱穴住居跡	SI28	VII-214外	29住→6住→83土→28住 →88土→217不明	[楕円形]	N-7°-E	—	531	—	492	13.4	—	—	—
第29号壱穴住居跡	SI29	VIN-214外	45住→29住→28住→88土 →82土→217不明	不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—
第30号壱穴住居跡	SI30	VII-214外	30住→20住→57・58土 不明	[円形か楕円形]	[N-35°-E]	—	(226)	—	(185)	16	—	—	—
第31号壱穴住居跡	SI31	VII-211外	33住→117土不明	[楕円形か楕 丸長方形]	N-69°-E	—	—	(290)	(216)	14	—	—	—
第32号壱穴住居跡	SK144	VII-208外	無し	[楕円形]	[N-19°-E]	(132)	(206)	(146)	(196)	20	—	—	—
第33号壱穴住居跡	SI33	VII-211外	31住→111・117土不明	不明	—	—	—	—	—	14	—	—	—
第34号壱穴住居跡	SI34	VIT-206外	無し	[楕円形]	[N-95°-E]	(228)	(328)	(294)	(274)	23	—	—	—
第35号壱穴住居跡	SI35	VJ-214外	35住→138土→137土 不明	円形	N-146°-E	664	612	644	592	44	29.78	—	—
第36号壱穴住居跡	SI36	VII-213外	36住→8溝土→123・ 128・130・134土不明	不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—
第37号壱穴住居跡	SI37	VII-213外	37住→181土	楕丸長方形	N-66°-E	498	322	474	304	42	[13.1]	—	—
第38号壱穴住居跡	SI38	VIN-239外	無し	円形	N-143°-E	(332)	328	(310)	308	17	[3,941]	—	—
第39号壱穴住居跡	SI39	VIP-219外	48住→30住	[楕円形]	N-25°-E	(509)	439	(492)	415	14	[6,962]	—	—
第40号壱穴住居跡	SI40	VIO-216外	205土→40住→46 住→185土→23住 →217・215土不明	[楕円形]	N-8°-E	(903)	575	(739)	558	38	[34,044]	—	—
第41号壱穴住居跡	SI41	VIP-216外	144土→41住	楕円形	N-120°-E	793	657	737	650	49.5	48.96	—	—
第42号壱穴住居跡	SI42	VIQ-211外	無し	不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—
第43号壱穴住居跡	SI43	VIR-209外	206土→01土→43E→188 土→11E→110土不明	不明	—	—	—	—	—	66	—	—	—
第44号壱穴住居跡	SI44	VIT-207外	44住→141土→74土不 明	不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—
第45号壱穴住居跡	SI45	VIM-214外	45住→28・29住→9溝・ 182・217土不明	楕円形	N-120°-E	—	—	—	—	—	—	—	—
第46号壱穴住居跡	SI46	VIN-217外	40住→46住→23住不 明	不明	—	(364)	(37)	(347)	(31)	24	(1,210)	—	—
第47号壱穴住居跡	SI47	VIT-210	219土→47住	[楕丸長方形]	[N-21.5°-E]	(88)	—	(80)	(180)	62	—	—	—
第48号壱穴住居跡	SK205	VIP-229外	48住→30住	[楕円形]	N-33°-E	(381)	353	(371)	274	71	(5,240)	—	—

東面壁の計測値は最大値

土坑観察表

遺構名	位置 (グリッド)	重複	平面形状	断面形状	検出面	底面	断面形状	長軸	短軸	長軸	短軸	高さ	底面積	時期	備考	
第1号土坑	SK1	1上→1上	楕円形	箱形	楕円形	楕円形	箱形	(86)	(90)	78	56	52	0.363	縄文時代か・ 前期後葉以降		
第2号土坑	SK2	無し	円形	フラスコ	円形	円形	フラスコ	(76)	(156)	(70)	(136)	62	—	前期後葉以降		
第3号土坑	SK3	無し	不整形	フラスコ	不整形	不整形	フラスコ	172	160	214	200	152	3.147	前期末以降	底面にピット基	
第4号土坑	SK4	無し	不整形	フラスコ	不整形	不整形	フラスコ	104	100	146	140	64	1.675	前期末以降		
第5号土坑	SK5	120土→116土→8土、2 住→5土	不整形	フラスコ	不整形	不整形	フラスコ	319	294	286	255	150	6.020	中期前以降		
第10号土坑	SK10	無し	円形	逆台形	円形	円形	逆台形	120	110	90	86	20	0.607	縄文時代か・ 前期末以降		
第11号土坑	SK11	無し	楕円形	逆台形	楕円形	楕円形	逆台形	136	114	120	98	20	0.993	縄文時代か・ 縄文		
第12号土坑	SK12	無し	円形	逆台形	円形	円形	逆台形	106	96	80	72	44	0.47	縄文		
第13号土坑	SK13	19住不明	円形	フラスコ	円形	円形	フラスコ	102	96	88	84	78	0.613	前期後葉→中期前葉		
第14号土坑	SK14	無し	不整形	フラスコ	不整形	不整形	フラスコ	136	122	154	142	80	1.74	前期後葉以降		
第15号土坑	SK15	15土→16土	円形	フラスコ	円形	円形	フラスコ	(20)	(17)	216	190	116	3.151	前期末		
第16号土坑	SK16	15土→16土、13住不明	円形	フラスコ	円形	円形	フラスコ	(204)	(174)	200	190	116	3.128	前期末以降		
第17号土坑	SK17	11土→13住	楕円形	逆台形	楕円形	楕円形	逆台形	118	70	(78)	50	(32)	(0.12)	中期前葉以前		
第18号土坑	SK18	18土→8土	円形	フラスコ	円形	円形	フラスコ	174	174	170	158	(18)	2.153	前期末以降		
第19号土坑	SK19	19土→8土、213土不明	不整形	不整形	不整形	不整形	不整形	128	116	206	182	166	2.877	前期末		
第20号土坑	SK20	20土→8住、186土	不整形	不整形	不整形	不整形	不整形	116	108	170	156	(54)	2.073	前期末		
第21号土坑	SK21	21土→45土	円形	フラスコ	円形	円形	フラスコ	56	56	140	146	104	2.074	中期前葉以降		
第22号土坑	SK22	22土→45土	不整形	不整形	不整形	不整形	不整形	(56)	(60)	192	174	130	2.462	前期末以降		
第23号土坑	SK23	23土→209外	楕円形	箱形	楕円形	楕円形	箱形	(142)	(142)	126	268	234	40	5.996	中期初葉以降	
第24号土坑	SK24	14住→24土	楕円形	フラスコ	楕円形	楕円形	フラスコ	(100)	80	(242)	212	154	3.856	前期末		
第25号土坑	SK25	54土→25土	楕円形	フラスコ	楕円形	楕円形	フラスコ	(134)	(40)	210	202	154	3.463	前期後葉		
第26号土坑	SK26	26土→51土	楕円形	フラスコ	楕円形	楕円形	フラスコ	(134)	(40)	210	202	154	3.463	前期後葉		
第27号土坑	SK27	無し	不整形	不整形	不整形	不整形	不整形	188	182	234	216	(52)	4.107	前期末		
第28号土坑	SK28	28土→9住	不整形	不整形	不整形	不整形	不整形	198	182	246	216	132	4.246	前期末以降		
第29号土坑	SK29	無し	不整形	不整形	不整形	不整形	不整形	170	156	232	226	(76)	4.208	中期前葉以前		
第30号土坑	SK30	30土→9住、31土不明	楕円形	不整形	楕円形	楕円形	不整形	(188)	166	190	174	(48)	(2.854)	前期末		
第31号土坑	SK31	31土→32土→9住、30土不明	楕円形	不整形	楕円形	楕円形	不整形	(162)	178	216	212	(52)	3.853	前期末→中期初葉		
第32号土坑	SK32	31土→32土→9住	楕円形	不整形	楕円形	楕円形	不整形	(90)	(96)	(160)	(56)	(64)	—	—		
第33号土坑	SK33	34土→33土→8住	楕円形	不整形	楕円形	楕円形	不整形	118	(96)	154	138	(68)	1.684	中期前葉以前		
第34号土坑	SK34	34土→33土→8住	楕円形	不整形	楕円形	楕円形	不整形	176	146	228	222	(236)	3.968	中期前葉		
第35号土坑	SK35	34土→33土→8住	楕円形	不整形	楕円形	楕円形	不整形	150	150	144	(32)	1.608	前期後葉→中期前葉			
第36号土坑	SK36	7住→37土	円形	フラスコ	円形	円形	フラスコ	(12)	100	128	110	(74)	1.111	前期末以前		
第37号土坑	SK37	7住→37土	円形	フラスコ	円形	円形	フラスコ	72	60	132	110	(74)	1.111	前期末以前		
第38号土坑	SK38	38土→7住	楕円形	不整形	楕円形	楕円形	不整形	126	122	200	168	(50)	2.659	前期末		
第39号土坑	SK39	38土→7住	楕円形	不整形	楕円形	楕円形	不整形	168	172	226	190	126	3.379	前期末→中期初葉		
第40号土坑	SK40	41土→40土	楕円形	フラスコ	楕円形	楕円形	フラスコ	168	164	172	160	(44)	2.262	前期末→中期初葉		
第41号土坑	SK41	77土→49土→9住	楕円形	フラスコ	楕円形	楕円形	フラスコ	96	68	(170)	(134)	(166)	(1.388)	前期末以降		
第42号土坑	SK42	15住→42土	楕円形	不整形	楕円形	楕円形	不整形	(68)	74	182	(120)	(172)	(1.838)	前期末以降		
第43号土坑	SK43	15住→43土	楕円形	不整形	楕円形	楕円形	不整形	204	182	218	204	146	2.379	中期初葉→前期		
第44号土坑	SK44	無し	楕円形	不整形	楕円形	楕円形	不整形	212	210	224	216	(20)	3.823	中期初葉以前		
第45号土坑	SK45	45土→11住	楕円形	不整形	楕円形	楕円形	不整形	230	150	220	142	(26)	2.475	前期末以降		
第46号土坑	SK46	11住→46土	楕円形	不整形	楕円形	楕円形	不整形	230	150	220	142	(26)	2.475	前期末以降		

選納名	旧選納名	位置 (グリッド)	重埋	平面形状	断面形状	橋出形状	橋出面積	延長	短縮	深さ	底面積	時期	備考		
第47号土坑	SK47	VIN-212	47土-99住	凹形	不整凹形	フラスコ	70 (66)	72 (70)	70 (40)	0.235	中期前葉以前				
第48号土坑	SK48	VIN-212	48土-99住	—	槽凹形	箱形	(90)	(22)	58 (50)	0.331	中期前葉以前				
第49号土坑	SK49	VIL-211外	41土-49土-99住	不整凹形	凹形	フラスコ	(188)	(184)	256 (242)	5.159	前期末~中期初頃				
第50号土坑	SK50	VIN-207外	142土-不明	槽凹形	凹形	フラスコ	222	(132)	238	234 (180)	4.385	中期初頃~前葉			
第51号土坑	SK51	VIN-208外	26-95土-61土	不整凹形	凹形	フラスコ	182	174	242	238 (170)	4.264	中期前葉			
第52号土坑	SK52	VIL-207外	53土-82土	—	不整凹形	フラスコ	(108)	(20)	96	88 (80)	0.678	前期末以前			
第53号土坑	SK53	VIL-206外	53土-82土	隅欠方形	凹形	フラスコ	84	76	188	180 (104)	2.7	前期末以前			
第54号土坑	SK54	VIN-208外	54土-25土	不整凹形	凹形	フラスコ	(144)	(98)	180 (170)	4.0	2.539	前期末			
第55号土坑	SK55	VIG-219外	—	槽凹形	凹形	皿	(208)	(184)	(188)	160	36	1.131	前期末		
第56号土坑	SK56	VIC-219	56土-15住	凹形	凹形	フラスコ	80	74	164	164 (38)	2.474	前期末以前			
第57号土坑	SK57	VIB-213外	57土-20住-30住-不明	凹形	凹形	フラスコ	172	164	204	194 (44)	3.144	前期末~中期初頃			
第58号土坑	SK58	VIG-214外	20住-88土-30住-不明	槽凹形	凹形	フラスコ	(104)	70	220	190 (90)	3.854	中期初頃~前葉			
第59号土坑	SK59	VIB-218	18住-不明	槽凹形	凹形	遊歩形か	(156)	(172)	(134)	(144)	(46)	(0.147)	溝文		
第60号土坑	SK60	VIB-218	60土-25住	凹形	凹形	フラスコ	126	126	100	90 (58)	0.717	前期末以前			
第61号土坑	SK61	VJ-215	61土-26住	凹形	凹形	フラスコ	88	(33)	136	127 (55)	1.354	前期末~中期初頃			
第62号土坑	SK62	VIB-211外	62土-63土	凹形	凹形	皿	82	(30)	72	(28)	(22)	(0.053)	前期末~中期前葉		
第63号土坑	SK63	VIB-211外	62土-63土-1日積土	凹形	凹形	フラスコ	146	(140)	202	192 (78)	3.022	前期末~中期前葉			
第64号土坑	SK64	VJ-210外	—	凹形	凹形	フラスコ	(120)	(36)	(190)	(80)	86	(1.128)	前期末~中期初頃		
第65号土坑	SK65	VJ-208	65土-65土	凹形	凹形	フラスコ	(102)	(56)	(144)	(40)	130	—	前期末以前		
第66号土坑	SK66	VIN-207	66土-68土	—	凹形	フラスコ	(88)	96	160	142	120	—	前期末		
第67号土坑	SK67	VQ-210外	115土-67土-11住、114土-不明	凹形	[不整凹形]	フラスコ	(94)	(60)	196	(132)	90	—	前期末~中期初頃		
第68号土坑	SK68	VIN-206外	66土-68土	不整凹形	槽凹形	フラスコ	90	(68)	164	124	122	1.673	前期末以前		
第69号土坑	SK69	VIO-210外	—	凹形	不整凹形	フラスコ	(60)	(100)	214	210	178	3.573	前期末以前		
第70号土坑	SK70	VIN-209	—	凹形	凹形	箱形	76	(60)	(50)	(28)	40	0.193	前期末以前		
第71号土坑	SK71	VIS-206外	71土-20	槽凹形	凹形	フラスコ	166	148	224	214	92	3.766	中期初頃		
第72号土坑	SK72	VIS-206外	—	凹形	凹形	フラスコ	212	208	194	180	72	2.78	中期初頃		
第73号土坑	SK73	VIR-207外	—	槽凹形	凹形	フラスコ	150	128	228	214	186	3.783	中期初頃~前葉		
第74号土坑	SK74	VIT-208	44住-不明	凹形	凹形	遊歩形	(198)	186	172	158	42	2.141	中期初頃~前葉		
第75号土坑	SK75	VIS-209	83土-75土	槽凹形	不整凹形	凹形	220	110	206	180	144	2.907	前期末~中期初頃		
第76号土坑	SK76	VIT-209外	—	凹形	凹形	遊歩形	236	(194)	214	(186)	30	(3.402)	前期末以前		
第77号土坑	SK77	VIT-210外	77土-40土	槽凹形	凹形	フラスコ	182	138	206	172	74	(2.83)	前期末以前		
第78号土坑	SK78	VIB-210外	78土-40土	凹形	凹形	フラスコ	(112)	(116)	204	188	(116)	0.927	前期末以前		
第79号土坑	SK79	VIP-212外	—	不整凹形	不整凹形	フラスコ	126	120	160	108	108	2.122	前期末		
第80号土坑	SK80	VIS-208外	—	不整凹形	凹形	フラスコ	(110)	114	232	216	142	4.187	前期後葉以前		
第81号土坑	SK81	VIT-214	81土-97住	槽凹形	凹形	フラスコ	250	(172)	246	206	(60)	3.902	中期前葉以前		
第82号土坑	SK82	VIP-207外	—	槽凹形	凹形	遊歩形	(120)	(34)	(184)	(34)	34	(2.593)	中期前葉以前		
第83号土坑	SK83	VIS-189土	83土-75-189土	槽凹形	凹形	フラスコ	(188)	(184)	166	134	108	2.692	中期前葉以前		
第84号土坑	SK84	VIR-207外	—	凹形	凹形	フラスコ	(188)	184	244	226	108	4.189	前期末~中期初頃		
第85号土坑	SK85	VIC-212	—	凹形	凹形	フラスコ	182	168	272	204	104	5.192	中期前葉以前		
第86号土坑	SK86	VIS-207外	86土-82住	槽凹形	凹形	フラスコ	162	158	224	200	160	5.454	前期後葉以前		
第87号土坑	SK87	VIO-206	—	凹形	不整凹形	フラスコ	114	112	112	102	38	0.926	中期初頃以前		
第88号土坑	SK88	VIL-214	29住-28住-88土	凹形	不整凹形	フラスコ	134	124	166	144	76	1.993	前期末		
第89号土坑	SK89	VIO-206	90土-89土-89土-か	凹形	不整凹形	フラスコ	134	124	166	144	76	1.993	前期末		
第90号土坑	SK90	VIO-206外	90土-89土-89土-か	槽凹形	不整凹形	フラスコ	(190)	(164)	(186)	176	98	(2.593)	前期末以前		

選標名	旧標 標名	位置 (グリッド)	重埋	平面形状	断面形状	橋出形状	橋出 長さ 幅員	橋出 長さ 幅員	底面 長さ 幅員	深さ (cm)	底面積 (㎡)	時期	備考
第91号土坑	SK91	VQ-208外	91土→161土	構凹形	凹形	フラスコ	120	(100)	210	(204)	136	(3,36)	前期後葉 底面にピット1基
第92号土坑	SK92	VH-207外	無し	構凹形	凹形	フラスコ	120	(118)	(38)	204	130	3,339	前期末以降
第93号土坑	SK93	VH-213外	無し	構凹形	凹形	逆台形	162	124	134	84	26	0,839	前期末以降
第94号土坑	SK94	VQ-208	94土→100→150土	凹形	凹形	フラスコ	120	(80)	200	180	128	(8,06)	前期末以降
第95号土坑	SK101	VH-208外	95土→51→149→161土	構凹形	凹形	フラスコ	212	(150)	260	(232)	160	(5,076)	前期後葉 底面にピット1基
第96号土坑	SK96	VH-217外	96土→22→231土	不整構凹形	凹形	フラスコ	104	54	196	184	(130)	2,715	前期末以降
第97号土坑	SK97	VH-209外	無し	凹形	凹形	箱形	(58)	(58)	(26)	(38)	50	-	前期末以降
第98号土坑	SK98	VQ-206外	90土→98土→ビ	不整凹形	凹形	フラスコ	176	142	186	176	112	2,756	前期末以降
第99号土坑	SK99	VQ-213外	無し	凹形	凹形	逆台形	150	134	120	118	50	1,191	前期末以降
第100号土坑	SK100	VQ-208外	94→119土→100土	構凹形	凹形	フラスコ	154	148	202	180	158	2,86	前期初頭以降
第101号土坑	SK101	VH-208外	206土→101土→431土	不整凹形	凹形	フラスコ	140	102	176	158	72	2,214	前期初頭以降
第102号土坑	SK102	VH-209外	無し	凹形	凹形	フラスコ	130	118	255	236	(124)	4,458	前期初頭～前葉
第103号土坑	SK103	VJ-209	無し	不整凹形	凹形	フラスコ	124	122	190	184	(80)	2,697	前期後葉～末
第104号土坑	SK104	VJ-209	無し	凹形	凹形	皿	96	90	80	75	(8)	0,667	構文
第105号土坑	SK105	VJ-210外	121土不明	不整凹形	凹形	フラスコ	142	118	222	210	(124)	(3,746)	中期初頭
第106号土坑	SK106	VH-212	無し	不整凹形	凹形	逆台形	100	82	78	48	26	0,285	前期末以降
第107号土坑	SK107	VH-207外	107土→200土	不整凹形	凹形	フラスコ	158	140	200	198	128	3,174	前期末以降
第108号土坑	SK108	VQ-208外	200土→108土→156→188土不明	凹形	凹形	フラスコ	104	96	218	206	128	3,62	前期末以降
第109号土坑	SK109	VH-207外	無し	凹形	凹形	フラスコ	104	96	218	206	128	3,62	前期末以降
第110号土坑	SK110	VQ-208外	110土→111住	凹形	[構凹形]	上部:溝形 下部:フラスコ	-	-	(134)	(112)	-	-	中期初頭以前 上部43住か
第111号土坑	SK111	VJ-212	331住不明	凹形	凹形	フラスコ	(92)	80	126	122	92	1,259	前期末
第112号土坑	SK112	VQ-213外	113土→112土	構凹形	凹形	フラスコ	228	182	232	210	134	3,782	前期末以降
第113号土坑	SK113	VH-213	113土→112土	構凹形	凹形	フラスコ	(200)	184	234	206	126	3,919	前期末～中期初頭
第114号土坑	SK114	VQ-210	67→202土不明	凹形	凹形	フラスコ	146	114	156	150	138	1,853	前期末以降
第115号土坑	SK115	VH-210外	115土→67土→111住	凹形	凹形	フラスコ	202	(146)	192	180	102	2,678	前期末
第116号土坑	SK116	VH-210外	120土→116土→5土	凹形	不整凹形	フラスコ	126	(96)	200	190	158	3,098	中期初頭
第117号土坑	SK117	VH-212外	31→331住不明	凹形	凹形	フラスコ	100	84	134	118	94	(1,254)	前期末～中期前葉
第118号土坑	SK118	VH-212外	118土→222土	凹形	凹形	フラスコ	100	84	134	118	94	(1,254)	前期末
第119号土坑	SK119	VH-208外	119土→222土	凹形	凹形	フラスコ	100	84	134	118	94	(1,254)	前期末
第120号土坑	SK120	VH-210	120土→116土→5土	凹形	凹形	逆台形	(134)	112	(112)	88	38	-	前期末
第121号土坑	SK121	VJ-210外	105土不明	不整凹形	凹形	フラスコ	(220)	(190)	(204)	(170)	(30)	(2,662)	中期初頭以降
第122号土坑	SK122	VH-212外	118土→222土	不整凹形	凹形	フラスコ	94	88	202	184	(132)	(2,97)	前期末～中期前葉
第123号土坑	SK123	VH-213外	118土→222土	不整凹形	凹形	フラスコ	(168)	(88)	186	178	168	2,6	前期末～中期前葉
第124号土坑	SK124	VH-211外	123土→8土→361住不明	凹形	凹形	フラスコ	106	(69)	134	(109)	63	(1,409)	前期末～中期初頭
第125号土坑	SK125	VH-211外	無し	凹形	凹形	フラスコ	110	96	198	190	104	(2,872)	前期末
第126号土坑	SK126	VH-211外	無し	凹形	凹形	逆台形	146	142	(122)	124	58	(0,258)	構文
第127号土坑	SK127	VH-212外	無し	凹形	凹形	フラスコ	72	72	216	214	138	3,818	前期末
第128号土坑	SK128	VH-212外	無し	凹形	凹形	逆台形	186	172	216	214	138	(2,615)	前期末
第129号土坑	SK129	VH-213	128土→130土	凹形	凹形	フラスコ	(118)	(64)	188	176	30	2,455	前期末
第130号土坑	SK130	VH-213	128土→130土	凹形	凹形	フラスコ	(118)	(64)	188	176	30	2,455	前期末～中期前葉
第131号土坑	SK131	VH-210	132土→ビ→131土	凹形	凹形	フラスコ	104	(95)	216	204	104	3,463	前期後葉～末
第132号土坑	SK132	VH-209外	132土→ビ→131土	凹形	凹形	フラスコ	106	(96)	180	170	96	2,433	前期後葉～末
第133号土坑	SK133	VH-210外	132土→131土	凹形	凹形	箱形	124	120	190	186	102	2,489	前期後葉以降
第134号土坑	SK134	VH-212外	無し	凹形	凹形	フラスコ	100	70	184	168	140	2,631	前期末～中期前葉
第135号土坑	SK135	VH-212外	361住不明	凹形	凹形	フラスコ	94	92	166	150	94	1,924	前期末～中期前葉

選標名	旧選標名	位置 (グリッド)	重複	平面形状	断面形状	橋出形状	橋出	底面	長さ (cm)	短幅 (cm)	高さ (cm)	底面積 (m ²)	時期	備考	
第135号土坑	SK135	VL-212	無し	凹形	凹形	フラスコ	86	(78)	160	160	104	2,058	前期末～中期前葉		
第136号土坑	SK136	VL-212外	無し	(橋出)凹形	(橋出)凹形	フラスコ	88	(53)	138	(138)	52	1,438	前期末～中期前葉		
第137号土坑	SK137	VL-214外	35住不明	(橋出)凹形	(橋出)凹形	箱形	(96)	100	(84)	82	26	0,774	前期末		
第138号土坑	SK138	VK-214	35住→18土・28住不明	(橋出)凹形	(橋出)凹形	フラスコ	99	(138)	186	186	68	2,646	前期末		
第139号土坑	SK139	VK-213外	無し	凹形	凹形	逆台形	(110)	108	80	78	60	0,512	前期末～中期前葉	底面にピット1基	
第140号土坑	SK140	VN-214	無し	凹形	凹形	逆台形	88	80	76	56	32	0,358	前期末		
第141号土坑	SK141	VT-207外	44住→141土	不整形凹形	不整形凹形	逆台形	188	134	164	116	32	1,41	前期末以降		
第142号土坑	SK142	VN-207	50・154土不明	凹形	凹形	フラスコ	170	(88)	210	206	142	3,453	中期前葉→前葉		
第143号土坑	SK143	VN-209	無し	(橋出)凹形	(橋出)凹形	逆台形	(96)	(60)	(90)	80	20	(0,59)	縄文時代		
第144号土坑	SK225	VP-216外	144土→41住	凹形	凹形	フラスコ	(84)	(80)	190	180	(140)	2,720	前期末以降		
第145号土坑	SK145	VN-209外	無し	凹形	凹形	フラスコ	(86)	80	164	152	80	2,012	前期末～中期初頃		
第146号土坑	SK146	VN-209外	無し	凹形	凹形	逆台形	(96)	64	(52)	46	20	(0,203)	前期末以降		
第147号土坑	SK147	VN-209	無し	凹形	凹形	逆台形	(82)	(40)	190	188	142	3,007	中期前葉以降		
第148号土坑	SK148	VN-210	無し	(不整形)	(不整形)	フラスコ	164	(134)	188	172	142	2,656	中期前葉以降		
第149号土坑	SK149	VN-209外	95土→149土	凹形	凹形	箱形	122	94	114	84	28	0,822	中期前葉以降		
第150号土坑	SK150	VI0-208	94土→150土	凹形	(不整形)	フラスコ	(136)	(108)	(136)	(120)	92	(1,38)	中期前葉以降		
第151号土坑	SK151	VI0-208	151土→162土・ ビ→152土	凹形	凹形	フラスコ	(134)	146	192	184	132	2,865	前期末以降		
第152号土坑	SK152	VI0-209	220土→153土	凹形	凹形	フラスコ	(120)	(39)	194	184	140	2,791	前期末		
第153号土坑	SK153	VS-213外	142・172土不明	(橋出)凹形	(橋出)凹形	フラスコ	(82)	(80)	144	118	134	(1,40)	前期末～中期前葉		
第154号土坑	SK154	VN-207	無し	(不整形)	(不整形)	フラスコ	(63)	(27)	(71)	(57)	28	(0,18)	縄文		
第155号土坑	SK155	VQ-214外	156土→11住, 108土不明	凹形	凹形	フラスコ	102	90	(154)	(162)	66	2,073	中期前葉以降		
第156号土坑	SK156	VQ-208	無し	凹形	凹形	フラスコ	151	114	167	162	120	2,904	前期末以降		
第157号土坑	SK157	VP-215	211土→158土	不整形	凹形	フラスコ	246	171	221	220	168	2,546	前期末～中期初頃		
第158号土坑	SK158	VQ-212外	159土→160土	不整形	凹形	フラスコ	76	70	172	(150)	116	(2,014)	前期末以降		
第159号土坑	SK159	VN-215外	7稼・159土→160土	凹形	凹形	フラスコ	(136)	(68)	(208)	(80)	176	—	—		
第160号土坑	SK160	VN-206外	91・95・151土→161土	凹形	凹形	フラスコ	116	108	192	188	152	2,753	前期末以降		
第161号土坑	SK161	VN-208	無し	不整形	凹形	フラスコ	102	94	170	154	118	2,052	前期末～中期初頃		
第162号土坑	SK162	VI0-209外	無し	不整形	凹形	フラスコ	129	98	183	180	83	2,441	中期前葉以降		
第163号土坑	SK163	VS-212外	163土→21住	凹形	凹形	フラスコ	112	109	121	119	41	1,121	中期前葉以降		
第164号土坑	SK164	VQ-214	21住→164土	凹形	凹形	フラスコ	90	85	129	119	108	1,341	中期前葉以降	底面にピット1基	
第165号土坑	SK165	VQ-211外	173土→165土	凹形	凹形	フラスコ	123	107	232	214	99	3,4	中期前葉以降	底面にピット2基	
第166号土坑	SK166	VQ-211外	166土→21住	凹形	凹形	フラスコ	213	207	232	218	135	4,059	前期末～中期初頃		
第167号土坑	SK167	VQ-215外	無し	凹形	凹形	フラスコ	163	156	246	194	99	3,4	中期前葉以降		
第168号土坑	SK168	VP-215	無し	凹形	凹形	フラスコ	187	160	187	180	116	2,559	前期末～中期初頃		
第169号土坑	SK169	VP-204	178土→169土	不整形	凹形	フラスコ	146	134	250	210	136	3,317	前期末		
第170号土坑	SK170	VP-206外	無し	凹形	凹形	フラスコ	(130)	98	174	170	75	2,464	前期末以降		
第171号土坑	SK171	VP-207外	178土→171土	凹形	凹形	フラスコ	(130)	98	188	172	154	2,663	前期末以降		
第172号土坑	SK172	VQ-207外	184土→172土	凹形	凹形	フラスコ	99	75	212	210	154	3,679	前期末～中期前葉		
第173号土坑	SK173	VQ-212外	173土→165土	不整形	凹形	フラスコ	(97)	(75)	114	(91)	105	(0,68)	前期末～中期前葉		
第174号土坑	SK174	VQ-213	無し	凹形	凹形	フラスコ	143	125	205	192	127	2,941	縄文・中期		
第175号土坑	SK175	VP-214	無し	凹形	凹形	フラスコ	154	152	190	185	127	2,81	縄文		
第176号土坑	SK176	VP-214	無し	不整形	凹形	フラスコ	143	145	190	208	150	5,515	前期末～中期初頃	底面にピット1基	
第177号土坑	SK177	VI0-207	178土→169土・171土	凹形	凹形	フラスコ	(249)	(208)	(361)	(266)	150	64	—	—	
第178号土坑	SK178	VP-207	180土→179土	凹形	凹形	フラスコ	(78)	(40)	(94)	(146)	64	—	—	—	
第179号土坑	SK179	VR-212外	無し	不整形	凹形	フラスコ	175	158	238	200	137	3,612	中期初頃		

選納名	旧選納名	位置 (グリッド)	重複	平面形状	断面形状	柱出形状	基礎	底面	長さ (cm)	短幅 (cm)	深さ (cm)	底面積 (㎡)	時期	備考	
第180号土坑	SK180	VIR-213外	180土→179土	不整形 [楕円形]	不整形 [楕円形]	フラスコ	240	227	205	(180)	80	0.945	中期初頭以前 前期後半以降		
第181号土坑	SK181	VIR-213外	37住→181土	楕円形	不整形 [楕円形]	フラスコ	84	66	166	164	104	2.12	前期後半以降		
第182号土坑	SK182	VN-214外	28-29住→182土、45住不明	楕円形	不整形 [楕円形]	フラスコ	122	118	196	178	72	2.694	前期末		
第183号土坑	SK183	VIR-215外	183土→184土	円形	円形	フラスコ	102	(62)	134	124	1.372	前期末			
第184号土坑	SK184	VN-213	ビ→184土	円形	逆三角形	56	52	36	36	50	0.109	前期末～中期前半			
第185号土坑	SK185	VQ-215	40住→185土	楕円形	楕円形	フラスコ	229	193	179	167	113	2.426	前期末以降		
第186号土坑	SK11	VQ-206外	20土、ビ→186土	楕円形	楕円形	フラスコ	110	76	90	52	25	0.391	前期末～中期初頭		
第187号土坑	SK187	VQ-208外	43住→188土、108土、 17土不明	楕円形	楕円形	フラスコ	72	60	126	118	82	1.176	前期後半以降		
第188号土坑	SK188	VIR-208		[楕円形]	[楕円形]	フラスコ	(140)	(180)	(184)	(190)	76	—	前期末以降	重複か	
第189号土坑	SK189	VIR-209外	83土、ビ→189土	[楕円形]	円形	フラスコ	(90)	96	198	192	152	3.111	中期初頭		
第190号土坑	SK190	VIP-210外	無し	不整形 [楕円形]	円形	フラスコ	120	104	156	152	82	1.949	前期末		
第191号土坑	SK191	VQ-210	無し	楕円形	楕円形	フラスコ	100	74	148	148	80	1.821	前期末以降		
第192号土坑	SK192	VQ-207外	無し	楕円形	楕円形	フラスコ	106	106	136	126	64	1.393	前期末以降		
第193号土坑	SK193	VIR-212外	無し	[楕円形]	[楕円形]	フラスコ	(100)	102	(100)	102	36	(1.13)	中期前半		
第194号土坑	SK194	VN-212外	無し	円形	円形	フラスコ	80	76	154	136	128	1.71	前期後半～中期前半	底面にピット基	
第195号土坑	SK195	VN-212外	無し	不整形 [楕円形]	不整形 [楕円形]	フラスコ	90	88	180	170	108	2.516	前期末		
第196号土坑	SK196	VQ-211外	196土→198土	不整形 [楕円形]	不整形 [楕円形]	フラスコ	84	80	(178)	190	136	(2.765)	前期末～中期初頭以前		
第197号土坑	SK197	VIP-210	無し	不整形 [楕円形]	不整形 [楕円形]	フラスコ	128	114	170	164	140	2.298	前期末以降		
第198号土坑	SK198	VQ-211外	196土→198土	不整形 [楕円形]	不整形 [楕円形]	フラスコ	134	114	184	174	150	2.476	前期末～中期初頭		
第199号土坑	SK199	VIS-211外	無し	不整形 [楕円形]	不整形 [楕円形]	フラスコ	126	(92)	212	202	132	3.648	中期初頭～前半		
第200号土坑	SK107	VIR-207外	107土→200土→108土、 188土不明	円形	—	フラスコ	200	178	—	—	128	—	—	前期末以降	底面にピット基
第201号土坑	SK201	VQ-212外	無し	楕円形	楕円形	フラスコ	82	72	176	158	88	2.164	中期初頭～前半		
第202号土坑	SK202	VQ-210	114土不明	[楕円形]	[楕円形]	フラスコ	(116)	(92)	(134)	140	88	(1.744)	前期後半以降		
第203号土坑	SK203	VQ-212外	無し	不整形 [楕円形]	不整形 [楕円形]	フラスコ	(88)	84	166	160	90	2.018	前期末～中期初頭		
第204号土坑	SK223	VIT-212	無し	円形	円形	フラスコ	(104)	(67)	(188)	(103)	136	(1.55)	中期初頭		
第205号土坑	SK224	VN-215	205土→40住	円形	円形	フラスコ	82	(49)	182	166	116	1.911	前期末以前		
第206号土坑	SK222	VIR-209外	206土→101土→43住	楕円形	楕円形	フラスコ	(212)	194	(214)	186	(34)	(3.043)	中期初頭以前		
第207号土坑	SK207	VIR-211	206土→22住	不整形	不整形	フラスコ	127	81	89	84	27	0.604	中期前半以降		
第208号土坑	SK208	VIR-205外	無し	[楕円形]	[楕円形]	フラスコ	(92)	(40)	(130)	(214)	160	—	—	中期前半以降	底面にピット基
第209号土坑	SK209	VQ-206外	無し	不整形 [楕円形]	不整形 [楕円形]	フラスコ	(68)	(64)	161	148	82	1.91	前期末以降		
第210号土坑	SK210	VQ-212	無し	楕円形	楕円形	フラスコ	90	(46)	163	156	85	2.092	前期末～中期前半		
第211号土坑	SK211	VQ-212	211土→168土	楕円形	楕円形	フラスコ	80	(18)	(180)	(135)	67	(1.352)	中期初頭以前		
第212号土坑	SK212	VQ-216	25住不明	不整形 [楕円形]	不整形 [楕円形]	フラスコ	(69)	94	188	176	50	0.312	前期末		
第213号土坑	SK213	VQ-205外	213土→208土、19土不明	楕円形	楕円形	フラスコ	(80)	(120)	(150)	(204)	(102)	(1.853)	中期後半以降		
第214号土坑	SK214	VQ-216	213土→208土、19土不明	楕円形	楕円形	フラスコ	(80)	(120)	(150)	(204)	(102)	(1.853)	中期後半以降		
第215号土坑	SK215	VQ-221外	215土→48住	楕円形	楕円形	フラスコ	(169)	(49)	(169)	(94)	124	(1.500)	前期末以前	底面にピット基	
第216号土坑	SK216	VQ-214外	無し	楕円形	楕円形	フラスコ	46	(26)	173	164	114	2.273	—	—	
第217号土坑	SK217	VN-216外	28-40住不明	楕円形	楕円形	フラスコ	97	76	162	156	127	3.275	前期末～中期初頭		
第218号土坑	SK218	VIT-210外	40住不明	楕円形	楕円形	フラスコ	216	(142)	(200)	(158)	168	—	—	中期初頭	
第219号土坑	SK219	VQ-210外	219土→177住	[楕円形]	[楕円形]	フラスコ	(121)	(80)	186	178	108	2.689	前期末以前		
第220号土坑	SK220	VIS-212	220土→153土	不整形 [楕円形]	不整形 [楕円形]	フラスコ	123	(70)	209	(127)	91	(2.322)	前期末～中期初頭		
第221号土坑	SK221	VIR-215外	無し	[楕円形]	[楕円形]	フラスコ	123	(70)	209	(127)	91	(2.322)	前期末～中期初頭		

埋設土器観察表

遺構名	旧遺構名	位置 (グリッド)	重 様	平面形状	検出面		深さ (cm)	埋設土層	時期	備 考
					長軸 (cm)	短軸 (cm)				
第1号埋設土器	SR13	VM-207	無し	楕円形	(100)	86	14	凹面下層d～上層a	前期末～中期前半	
第2号埋設土器	SR2	VI-209	無し	円形	50	(41)	29	凹面下層d	前期末	
第3号埋設土器	SR3	VI-209	無し	円形	(36)	(35)	17	凹面下層a1	前期末～中期初頭	巾の可能性あり
第4号埋設土器	SR4	VI-216	無し	円形	(39)	(20)	8	凹面下層d2	前期末	
第5号埋設土器	SR5	VI-215	26住→5埋	円形	(34)	(18)	23	凹面下層a2～上層a1	前期末～中期初頭	
第6号埋設土器	SR6	VI-208	7埋→6埋	円形	—	—	29	凹面下層d2	中期前半	
第7号埋設土器	SR7	VS-213	無し	楕円形	42	(33)	13	凹面下層d	前期末	
第8号埋設土器	SR8	VI-218	21住→9埋	楕円形	23	25	(29)	凹面下層d2	前期末	
第9号埋設土器	SR9	VI-218	21住→10埋	円形	23	20	11	凹面下層d	前期末	
第10号埋設土器	SR10	VI-219	21住→11埋	楕円形	30, 3	21	14	凹面下層a1	前期末	
第11号埋設土器	SR11	VI-216	—	円形	30, 3	(21, 6)	20, 7	凹面下層d	前期末	
第12号埋設土器	SR14	VI-216	—	円形	(36, 6)	(27)	11, 2	凹面下層～上層	前期後半～中期前半	
第13号埋設土器	SR15	VI-216	—	—	—	—	—	—	—	

埴土遺構観察表

遺構名	旧遺構名	位置 (グリッド)	重 様	平面形状	検出面		時期
					長軸 (cm)	短軸 (cm)	
第1号埴土遺構	SN1	VS-205	無し	円形	50	44	縄文時代
第2号埴土遺構	SN2	VS-207	86住→2埋	楕円形	56	38	中期初頭以降
第3号埴土遺構	SN3	VI-209	無し	楕円形	(32)	32	縄文時代
第4号埴土遺構	SN4	VI-208	無し	円形	50	48	縄文時代
第5号埴土遺構	SN5	VI-209	無し	円形(楕円形)	46	(22)	縄文時代
第6号埴土遺構	SN6	VIQ-206	6埋→7埋	不整形	82	(70)	縄文時代
第7号埴土遺構	SN7	VR-205外	7埋→160土上ハ	—	(58)	(40)	縄文時代
第8号埴土遺構	SN8	VR-211外	無し	東側:不整形 西側:(楕円形)	(125)	58	縄文時代
第9号埴土遺構	SN9	VIW-211外	45住→9埋	楕円形	60	48	前期末以降
第10号埴土遺構	SN14	VP-208	無し	不整形	54	42	縄文時代
第11号埴土遺構	SN15	VI-208	無し	不整形	30	26	縄文時代
第12号埴土遺構	SN12	VR-209外	無し	不整形	38	24	縄文時代
第13号埴土遺構	SN13	VIQ-214	無し	角筒状楕円形 円形	34	6	縄文時代
					30	28	縄文時代

溝状土坑観察表

遺構名	旧遺構名	位置 (グリッド)	重 様	平面形状	断面 形状	検出面		深さ (cm)	時期	備考			
						長軸 (cm)	短軸 (cm)						
第1号溝状土坑	SV1	VI-205外	無し	長楕円形	Y字	N-25	E	340	306	20	158	縄文時代	
第2号溝状土坑	SV2	VR-202外	無し	長楕円形	Y字	N-56	E	(330)	(40)	(330)	(16)	140	縄文時代
第3号溝状土坑	SV3	VR-202外	無し	長楕円形	Y字	N-94	E	380	62	360	20	138	縄文時代
第4号溝状土坑	SV4	VR-225外	無し	長楕円形	Y字	N-100	E	297	47	388	14	120	縄文時代
第5号溝状土坑	SV9	VIQ-208外	5住→5埋土	長楕円形	Y字	N-125	E	350	80	340	24	112	前期末以降
第6号溝状土坑	SV6	VI-229外	無し	長楕円形	Y字	N-45	E	(294)	43	286	6	98	縄文時代
第7号溝状土坑	SV7	VI-214	無し	長楕円形	Y字	N-91	E	(330)	38	346	10	70	縄文時代
第8号溝状土坑	SV8	VI-214	223	長楕円形	Y字	N-98	E	(348)	49	349	7	110	前期末以降
第9号溝状土坑	SV10	VIW-205外	無し	長楕円形	Y字	N-91	E	341	31	359	7	118	縄文時代
第10号溝状土坑	SV10	VIW-222外	無し	長楕円形	Y字	N-90	E	398	27	384	16	98	縄文時代
第11号溝状土坑	SV11	VIW-211外	63住→11埋土	長楕円形	Y字	N-116	E	370	36	354	12	88	前期末以降

※長軸・短軸は、部分的な最大幅を計測。

竪穴住居跡出土土器観察表

図	遺構名	階位	器種	部位	外観文様・調整	内径(mm)	口径(mm)	底径(mm)	高さ(mm)	容量(L)	型式名	時期	備考
9	1住	床面	深鉢	口縁	突起(2単位), 口唇部: 肌押, 口縁部: 肌押	ミガキ	—	—	(6.5)		内径下層a1 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	
9	2住	床面	深鉢	口縁	突起(2単位), 口唇部: 肌押, 口縁部: 肌押	ナガキ	—	—	(6.5)		内径下層a1 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	織鉢含
11	2住 9-1	9-1	9-1	口縁～ 胴部上	突起(2単位), 隆帯: 帯付(肌押), 口唇部: 肌押, 胴部: 肌押, 口縁部: 肌押	ミガキ	[33]	15.8	50.7		内径上層a1	中期初頭～ 前期	織鉢・海綿管針含, 外 面中央・胴内下炭化 物少量付着
11	2	2住	11	口縁～ 胴部上	突起(2単位), 隆帯: 帯付(肌押), 口唇部: 肌押, 胴部: 肌押, 口縁部: 肌押	ミガキ	—	—	(14.9)		内径上層a1	中期初頭	織鉢含
11	3	2住	11	口縁～ 胴部上	突起(2単位), 隆帯: 帯付(肌押), 口唇部: 肌押, 胴部: 肌押, 口縁部: 肌押	ミガキ	—	—	(18)		内径上層a1	中期初頭	織鉢・海綿管針含
13	1	3住	13	口縁～ 胴部上	突起(2単位), 隆帯: 帯付(肌押), 口唇部: 肌押, 胴部: 肌押, 口縁部: 肌押	ミガキ	—	—	(8.6)		内径上層a1	中期後葉	胴内にわずかに微量の炭 化物付着
14	1	4住	14	口縁～ 胴部上	突起(2単位), 隆帯: 帯付(肌押), 口唇部: 肌押, 胴部: 肌押, 口縁部: 肌押	ミガキ	—	—	(13.5)		内径下層d	前期末	織鉢含
14	2	4住	14	口縁～ 胴部上	突起(2単位), 隆帯: 帯付(肌押), 口唇部: 肌押, 胴部: 肌押, 口縁部: 肌押	ミガキ	—	—	(17.4)		内径下層d	前期末	海綿管針含
16	1	5住 16	16	口縁～ 胴部上	突起(2単位), 隆帯: 帯付(肌押), 口唇部: 肌押, 胴部: 肌押, 口縁部: 肌押	ミガキ	—	—	(15.8)		内径下層d	前期末	織鉢・海綿管針含
16	2	5住 16	16	口縁～ 胴部上	突起(2単位), 隆帯: 帯付(肌押), 口唇部: 肌押, 胴部: 肌押, 口縁部: 肌押	ミガキ	—	—	(5.1)		内径下層d	前期末	織鉢類遺含
16	3	5住 16	16	口縁～ 胴部上	突起(2単位), 隆帯: 帯付(肌押), 口唇部: 肌押, 胴部: 肌押, 口縁部: 肌押	ミガキ	—	—	(11.8)		内径下層d ～上層a1	前期末～ 中期後葉	織鉢・海綿管針含
17	1	6住	17	口縁～ 胴部上	突起(2単位), 隆帯: 帯付(肌押), 口唇部: 肌押, 胴部: 肌押, 口縁部: 肌押	ミガキ	—	—	(19.1)		内径下層d	前期末	海綿管針含
20	1	7住 20	20	口縁～ 胴部上	突起(2単位), 隆帯: 帯付(肌押), 口唇部: 肌押, 胴部: 肌押, 口縁部: 肌押	ミガキ	—	—	(17)		内径下層d	前期末	外凸摩滅
20	2	7住 20	20	口縁～ 胴部上	突起(2単位), 隆帯: 帯付(肌押), 口唇部: 肌押, 胴部: 肌押, 口縁部: 肌押	ミガキ	—	—	(18.1)		内径下層d	前期末	織鉢含
20	3	7住 20	20	口縁～ 胴部上	突起(2単位), 隆帯: 帯付(肌押), 口唇部: 肌押, 胴部: 肌押, 口縁部: 肌押	ミガキ	—	—	(10.2)		内径下層d	前期末	織鉢含
20	4	7住 20	20	口縁～ 胴部上	突起(2単位), 隆帯: 帯付(肌押), 口唇部: 肌押, 胴部: 肌押, 口縁部: 肌押	ミガキ	—	—	(10.8)		内径下層d	前期末	織鉢・海綿管針含
20	5	7住 20	20	口縁～ 胴部上	突起(2単位), 隆帯: 帯付(肌押), 口唇部: 肌押, 胴部: 肌押, 口縁部: 肌押	ミガキ	[25.4]	15.2	33.2		内径下層d	前期末	織鉢・海綿管針含, 胴 内下炭化物少量付着
20	6	7住 20	20	口縁～ 胴部上	突起(2単位), 隆帯: 帯付(肌押), 口唇部: 肌押, 胴部: 肌押, 口縁部: 肌押	ミガキ が摩滅	—	—	(12.5)		内径下層d	前期末	織鉢含, 外凸摩滅
21	7	7住	21	口縁～ 胴部上	突起(2単位), 隆帯: 帯付(肌押), 口唇部: 肌押, 胴部: 肌押, 口縁部: 肌押	ミガキ	28.1	11.6	38		内径下層d	前期末	織鉢含
21	8	7住	21	口縁～ 胴部上	突起(2単位), 隆帯: 帯付(肌押), 口唇部: 肌押, 胴部: 肌押, 口縁部: 肌押	ミガキ	短:[17]	短:[11.5]	8.7		内径下層d か	前期末か	織鉢・海綿管針含
21	9	7住	21	口縁～ 胴部上	突起(2単位), 隆帯: 帯付(肌押), 口唇部: 肌押, 胴部: 肌押, 口縁部: 肌押	ナガキ	—	—	(9.7)		内径下層d	前期末	海綿管針類遺含
21	10	7住	21	口縁～ 胴部上	突起(2単位), 隆帯: 帯付(肌押), 口唇部: 肌押, 胴部: 肌押, 口縁部: 肌押	ミガキ	長:14.2 短:10.5	—	(6.25)		内径下層d か	前期末か	底面打ち欠きか, 南 面付着
21	11	7住	21	口縁～ 胴部上	突起(2単位), 隆帯: 帯付(肌押), 口唇部: 肌押, 胴部: 肌押, 口縁部: 肌押	ミガキ	11.1	6.8	10.9		内径下層d	前期末	胴内下炭化 物少量付着
21	12	7住	21	口縁～ 胴部上	突起(2単位), 隆帯: 帯付(肌押), 口唇部: 肌押, 胴部: 肌押, 口縁部: 肌押	ナガキ	[9.8]	6.3	16.5		内径下層d	前期末	織鉢含
21	13	7住	21	口縁～ 胴部上	突起(2単位), 隆帯: 帯付(肌押), 口唇部: 肌押, 胴部: 肌押, 口縁部: 肌押	ミガキ	12.9	6.5	19.1		内径下層d	前期末	織鉢・海綿管針含
21	14	7住	21	口縁～ 胴部上	突起(2単位), 隆帯: 帯付(肌押), 口唇部: 肌押, 胴部: 肌押, 口縁部: 肌押	ミガキ	18.8	7.7	30.2		内径下層d ～上層a1	前期末～ 中期初頭	織鉢・海綿管針含, 胴 外上炭化物少量付着
21	15	7住	21	口縁～ 胴部上	突起(2単位), 隆帯: 帯付(肌押), 口唇部: 肌押, 胴部: 肌押, 口縁部: 肌押	ミガキ	16.8	9	22.8		内径上層d ～上層a1	前期末～ 中期初頭	織鉢・海綿管針含, 胴 外上炭化物少量付着
21	16	7住	21	口縁～ 胴部上	突起(2単位), 隆帯: 帯付(肌押), 口唇部: 肌押, 胴部: 肌押, 口縁部: 肌押	ナガキ (口縁ミ ガキ)	16.7	7.8	25.3		内径下層d	前期末	織鉢含, 胴外上・胴内 下炭化物少量付着
21	17	7住	21	口縁～ 胴部上	突起(2単位), 隆帯: 帯付(肌押), 口唇部: 肌押, 胴部: 肌押, 口縁部: 肌押	ナガキ	18	10.4	27.1		内径下層d	前期末	織鉢含, 胴内下炭化 物少量付着
22	18	7住	21	口縁～ 胴部上	突起(2単位), 隆帯: 帯付(肌押), 口唇部: 肌押, 胴部: 肌押, 口縁部: 肌押	ミガキ	[20]	[10.4]	27.2		内径下層d	前期末	織鉢含, 胴内下炭化 物少量付着
22	19	7住	21	口縁～ 胴部上	突起(2単位), 隆帯: 帯付(肌押), 口唇部: 肌押, 胴部: 肌押, 口縁部: 肌押	ミガキ	21.1	10	30.4		内径下層d	前期末	織鉢含, 胴内下炭化 物少量付着
22	20	7住	21	口縁～ 胴部上	突起(2単位), 隆帯: 帯付(肌押), 口唇部: 肌押, 胴部: 肌押, 口縁部: 肌押	ミガキ	27.5	[16]	32		内径下層d	前期末	織鉢・海綿管針含, 胴 外上炭化物少量付着・内 面炭化物少量付着
22	21	7住	21	口縁～ 胴部上	突起(2単位), 隆帯: 帯付(肌押), 口唇部: 肌押, 胴部: 肌押, 口縁部: 肌押	ミガキ	[27.9]	[12.4]	36.2		内径上層d ～上層a1	前期末～ 中期初頭	織鉢・海綿管針含, 胴 外上炭化物少量付着, 胴 内下炭化物少量付着
23	22	7住	21	口縁～ 胴部上	突起(2単位), 隆帯: 帯付(肌押), 口唇部: 肌押, 胴部: 肌押, 口縁部: 肌押	ミガキ	28	11.8	39.4		内径下層d	前期末	織鉢・海綿管針含, 胴 外上炭化物少量付着
23	23	7住	21	口縁～ 胴部上	突起(2単位), 隆帯: 帯付(肌押), 口唇部: 肌押, 胴部: 肌押, 口縁部: 肌押	ミガキ	短軸 14.6	長: 117 短: 111	8.8		内径上層d ～上層a1	前期末～ 中期初頭	織鉢・海綿管針含
23	24	7住	21	口縁～ 胴部上	突起(2単位), 隆帯: 帯付(肌押), 口唇部: 肌押, 胴部: 肌押, 口縁部: 肌押	ミガキ	21.8	9.2	27.2		内径上層d ～上層a1	前期末～ 中期初頭	織鉢・海綿管針含, 胴 外上炭化物少量付着, 胴 内下炭化物少量付着
23	25	7住	21	口縁～ 胴部上	突起(2単位), 隆帯: 帯付(肌押), 口唇部: 肌押, 胴部: 肌押, 口縁部: 肌押	ミガキ	22.1	[11.6]	35.5		内径下層d	前期末	織鉢含
24	26	7住	21	口縁～ 胴部上	突起(2単位), 隆帯: 帯付(肌押), 口唇部: 肌押, 胴部: 肌押, 口縁部: 肌押	ミガキ	24.7	11.5	35.6		内径下層d	前期末	織鉢・海綿管針含
24	27	7住	21	口縁～ 胴部上	突起(2単位), 隆帯: 帯付(肌押), 口唇部: 肌押, 胴部: 肌押, 口縁部: 肌押	ミガキ	[30]	[14.5]	[35.8]		内径上層d ～上層a1	前期末～ 中期初頭	織鉢・海綿管針含
24	28	7住	21	口縁～ 胴部上	突起(2単位), 隆帯: 帯付(肌押), 口唇部: 肌押, 胴部: 肌押, 口縁部: 肌押	ミガキ	25.5	[10.6]	37.2		内径上層d ～上層a1	前期末～ 中期初頭	織鉢・海綿管針含
24	29	7住	21	口縁～ 胴部上	突起(2単位), 隆帯: 帯付(肌押), 口唇部: 肌押, 胴部: 肌押, 口縁部: 肌押	ミガキ	27.3	32	38		内径上層d ～上層a1	前期末～ 中期初頭	織鉢・海綿管針含, 胴 外上炭化物少量付着, 胴 内下炭化物少量付着
25	30	7住	21	口縁～ 胴部上	突起(2単位), 隆帯: 帯付(肌押), 口唇部: 肌押, 胴部: 肌押, 口縁部: 肌押	ナガキ	[19.5]	4.8	13.7		内径下層d	前期末	織鉢含, 胴内下炭化 物少量付着

区	番	通稱名	階位	部様	部位	外置文様・調整	内面調整	口縁 (mm)	底径 (mm)	高さ (mm)	型式名	時期	備考
25	31	7住	庵土	鉢	口縁～底部	口縁:口縁、胴部:口縁、底面:ミガキ	ミガキ	[11.8]	6.2	19	内面上層c2 ～上層a1	前期末～ 中期初葉	織鉢・海繪青針灸、外 内面炭化物少量
25	32	7住	庵土 トレン ナキ	深鉢	口縁～ 胴部下	底状口縁(透孔)、隆帯・貼付(貼押)、口 縁部:口縁・突、胴部:口縁・斜、結回(口 縁)	ミガキ	35	—	(41.4)	内面上層a	中期初葉	織鉢・海繪青針灸
30	1	8住	床面	深鉢	口縁～ 胴部上	口唇:半竹刺突、口縁部:沈線、半竹刺 突、胴部:条板(朝美)、胴突	ミガキ	—	—	(9.5)	内面下層c2 a	前期末少	底面2～1同一少
30	2	8住	床面	深鉢	底部	条板(朝美)、底面:ミガキ	ミガキ	—	(9.7)	(12.1)	内面下層c2 a	前期末少	底面2～1同一少、底面 穿孔少
30	3	8住	床面	深鉢	口縁～底部	底状口縁(半単位)、隆帯(条押)、口唇: 口縁部:口縁、胴部:口縁・斜、底面: ミガキ	ミガキ	13.7	[7.8]	23.2	内面上層a2 ～上層a1	前期末～ 中期初葉	織鉢青針灸
30	4	8住	床面 庵土	浅鉢	口縁～底部	底状口縁(半単位)、口唇(条押)、口縁～ 胴部:口縁(多条)	ミガキ	[19.6]	8.5	10.8	大木7式派	中期前葉	織鉢青針灸
30	5	8住	床面 庵土	深鉢	口縁～底部	底状口縁(半単位)、隆帯(条押)、口縁 部:口縁、胴部:口縁、底面:口縁、結回 (多条)	ミガキ	[22.5]	9.8	28.1	内面上層a	中期初頭～ 前葉	織鉢青針灸、補修孔1ヶ所
30	6	8住	床面 庵土	深鉢	口縁～底部	口縁條筋、隆帯(条押)、胴部:口縁(多条)横 條筋(口縁、結回)口縁	ミガキ	[19]	10	30.9	内面上層a	中期初頭～ 前葉	織鉢・海繪青針灸、外 内面上層a物少量付着
30	7	8住	床面 庵土	深鉢	口縁～底部	底状口縁(半単位)、隆帯・貼付(条押)、 口縁部:口縁、胴部:口縁、底面: 結回(口縁)底面:ミガキ	ミガキ	[21.9]	12.5	(31.6)	内面上層a	中期初頭～ 前葉	織鉢青針灸
30	8	8住	床面 庵土	深鉢	口縁～底部	底状(半単位)、隆帯・貼付(条押)、口縁 部:口縁、胴部:口縁、底面: ミガキ	ミガキ	27.4	12.3	33.5	内面上層a	中期初頭～ 前葉	織鉢青針灸、胴外上炭化 物付着、補修孔1ヶ所
31	9	8住	床面 庵土	深鉢	口縁(穴) ～底部	底状口縁、隆帯・貼付(条押)(多条)横、口 縁部:口縁、胴部:口縁、底面: 結回(口縁、底面:ミガキ)	ミガキ	—	17	(55)	内面上層a	中期初頭～ 前葉	織鉢・海繪青針灸、胴 外上炭化物少量付着
31	10	8住	床面 庵土	深鉢	口縁～ 胴部下	底状口縁(半単位)、隆帯・貼付(条押) 口縁部:口縁、胴部:口縁、底面: 結回(口縁、底面:ミガキ)	ミガキ	[44]	—	(58.4)	内面上層a	中期初頭～ 前葉	織鉢・海繪青針灸
31	11	8住	床面 庵土	深鉢	口縁～底部	底状口縁(半単位)、隆帯(条押)、口縁 部:口縁、胴部:口縁、底面: 結回(口縁、底面:ミガキ)	ミガキ	38	16	65	内面上層a	中期初頭～ 前葉	織鉢・海繪青針灸、胴 外上炭化物少量付着
32	12	8住	床面 庵土	深鉢	口縁～底部	底状(半単位)、隆帯(条押)口縁部:口縁、 胴部:口縁、結回(口縁、底面: ミガキ)	ミガキ	[34.7]	15	46.5	内面上層a	中期初頭～ 前葉	織鉢青針灸
32	13	8住	庵土	鉢	口縁～ 胴部下	口縁部:口縁、胴部:結回(口縁)横、底面: ミガキ	ミガキ	[12]	—	(12)	内面上層a	中期初頭～ 前葉	織鉢・海繪青針灸
32	14	8住	庵土	深鉢	胴～底部	胴部:口縁、結回(口縁)横、底面: ミガキ	ナヅ	—	10	(14.4)	内面上層a	中期初頭～ 前葉	織鉢青針灸、胴外上炭化 物付着、胴内下炭化 物付着
32	15	8住	庵土	深鉢	胴～底部	胴部:口縁(多条)、胴、底面: ミガキ	ミガキ	—	12	(15.5)	内面上層a	中期初頭～ 前葉	織鉢青針灸
32	16	8住	庵土	深鉢	胴～底部	胴部:口縁(多条)、胴、底面: ミガキ	ミガキ	—	10.5	(17.8)	内面上層a	中期初頭～ 前葉	織鉢青針灸
32	17	8住	庵土	深鉢	胴～底部	胴部:口縁(多条)横	ミガキ	—	[11.1]	(18)	内面上層a	中期初頭～ 前葉	織鉢青針灸、胴外上炭化 物付着
32	18	8住	庵土	鉢	口縁～底部	底状口縁(半単位)、隆帯、貼付(条押)、口 縁部:口縁、胴部:口縁	ミガキ ナヅ	[16.6]	8.2	18.3	内面上層a	中期初頭～ 前葉	織鉢・海繪青針灸、胴 外上炭化物少量付着
32	19	8住	庵土	鉢	口縁～底部	底状口縁(半単位)、隆帯、隆帯(条押)平 行、口縁部:口縁、胴部:口縁、底面: 結回(口縁)	ミガキ	[18.6]	8.2	18.8	内面上層a2 ～b	中期前葉	織鉢青針灸、胴外上炭化 物少量付着
32	20	8住	5	深鉢	口縁～胴部	底状口縁(半単位)、隆帯、隆帯(条押)平 行、口縁部:口縁、胴部:口縁、底面: 結回(口縁)	ミガキ	28	—	(20.6)	内面上層a2 ～b	中期前葉	織鉢・海繪青針灸、胴 外上炭化物少量付着
33	21	8住	庵土	深鉢	口縁～底部	底状口縁(半単位)、隆帯・貼付(条押)、口 縁部:口縁、胴部:口縁、底面: 結回(口縁)	ミガキ	16.6	7.8	22.3	内面上層a	中期初頭～ 前葉	織鉢・海繪青針灸、胴 外上炭化物少量付着、補修孔 2ヶ所
33	22	8住	庵土	深鉢	口縁(穴) ～底部	隆帯(条押)、口縁部:口縁・条押、胴部:口 縁、結回(口縁)	ナヅ	—	11.4	(29)	内面上層a	中期初頭～ 前葉	織鉢青針灸、胴外上炭化 物付着
33	23	8住	庵土	深鉢	口縁～底部	底状口縁(半単位)、隆帯、貼付(条押)、口 縁部:口縁、胴部:口縁、底面: 結回(口縁)	ミガキ	40.5	15.7	64.1	内面上層a2 ～b	中期前葉	織鉢・海繪青針灸
36	1	9住	庵土	深鉢	口縁(穴) ～底部	底状口縁、隆帯・貼付(条押)、口縁部: 口縁、胴部:口縁、結回(口縁、底面: ミガキ)	ミガキ	—	[8.4]	(19)	内面上層a	中期初頭～ 前葉	織鉢・海繪青針灸、胴 外上炭化物少量、内面炭化 物付着
36	2	9住	庵土	深鉢	口縁～底部	口縁	ナヅ	[17.6]	10.3	22.4	内面上層a	中期初頭～ 前葉	織鉢青針灸、胴外上炭化 物少量、内面炭化物 付着
36	3	9住	庵土	深鉢	口縁～ 胴部上	底状口縁、隆帯・貼付(条押)、口縁部: 口縁、胴部:口縁	ミガキ	—	—	(10.8)	内面上層a	中期初頭～ 前葉	海繪青針灸
36	4	9住	庵土	深鉢	口縁～ 胴部上	底状口縁少、隆帯・貼付(条押)、口縁部: 口縁、胴部:口縁	ミガキ	—	—	(11)	内面上層a	中期初頭～ 前葉	海繪青針灸
36	5	9住	床面 庵土	深鉢	口縁～ 胴部上	底状口縁、隆帯・貼付(条押)、口縁部: 口縁、胴部:口縁、底面: 結回(口縁)	ミガキ	[23.1]	—	(12.8)	内面上層a	中期初頭～ 前葉	織鉢・海繪青針灸
36	6	9住	庵土	深鉢	口縁～ 胴部上	底状口縁、隆帯・貼付(条押)、隆帯(条押)平 行、口縁部:口縁、胴部:口縁、底面: 結回(口縁)	ミガキ	—	—	(15.4)	内面上層a	中期初頭～ 前葉	織鉢青針灸
36	7	9住	庵土	深鉢	口縁～ 胴部上	底状口縁少、沈線	ミガキ	—	—	(3)	十層内1少	後期前葉少	底面2～1同一少
36	8	9住	庵土	深鉢	口縁～ 胴部上	底状口縁少、沈線	ミガキ	—	—	(3.3)	十層内1少	後期前葉少	底面2～1同一少
36	9	9住	庵土	鉢	口縁	沈線、ミガキ	ミガキ	—	—	—	十層内1	後期前葉	
36	10	9住	庵土	浅鉢	口縁～底部	底状口縁、底面:ナヅ	ミガキ	[15.5]	7.3	8.2	十層内1	後期前葉	底面2～1穿孔孔
40	1	10住	庵土 上層	深鉢	口縁～底部	底状口縁(半単位)、口唇(条押)、口縁部: 口縁、胴部:口縁、底面: 結回(口縁)	ミガキ	[23.2]	13.4	35.2	内面下層c2 ～上層a1	前期末～ 中期初葉	織鉢・海繪青針灸
40	2	10住	庵土	深鉢	口縁～ 胴部下	突起(半単位)、隆帯(条押)、口縁部: 口縁、結回(口縁)横、胴部:口縁	ミガキ	[28.4]	—	(39)	内面下層c2 ～上層a1	前期末～ 中期初葉	織鉢・海繪青針灸、胴 外上炭化物少量付着、 補修孔1ヶ所(内面c2 所)
40	3	10住	1-2	深鉢	口縁～胴部	底状口縁、隆帯(朝美)、口縁部:口縁、 胴部:口縁、底面: 結回(口縁)	ミガキ	[25.6]	—	(22.3)	内面下層c2 ～上層a1	前期末～ 中期初葉	海繪青針灸
40	4	10住	庵土	深鉢	口縁～胴部	底状口縁、隆帯(朝美)、口縁部:口縁、 胴部:口縁、底面: 結回(口縁)	ミガキ	—	—	(16.4)	内面下層c2 ～上層a1	前期末～ 中期初葉	織鉢・海繪青針灸

区	番	通稱名	階位	部様	部位	外置文様・調整	内面調整	口径 (mm)	電径 (mm)	高さ (mm)	型式名	時期	備考
58	24	15住	2・4 樓上	深鉢	口縁～胴部	突起(4単位)・隆帯・廻行(L)脚、口縁部:1(L)脚、胴部:1(L)脚、結回(1)脚、底面:2(1)脚	内面調整	45.5	—	(46)	内筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	織鉢・海繪背針含
59	25	15住	2 樓上	深鉢	口縁～ 胴部下 底部	突起(3単位)・隆帯・廻行(L)脚、口縁部:1(L)脚、胴部:1(L)脚、結回(1)脚、底面:2(1)脚	2(1)脚	32	13	口縁 (50.5) 底面 (31.2) (36.9)	内筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	織鉢含、復元後元
59	26	15住	2 樓上	深鉢	口縁～ 胴部下	突起(4単位)・隆帯・廻行(L)脚、口縁部:1(L)脚、胴部:1(L)脚、結回(1)脚、底面:2(1)脚	2(1)脚	32.1	—	(46.4)	内筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	織鉢・海繪背針含、 胴内下部化粧 少量付着、口縁外面 化粧
59	27	15住	2 樓上	深鉢	口縁～胴部	突起(2単位)・隆帯・廻行(L)脚、口縁部:1(L)脚、胴部:1(L)脚、結回(1)脚、底面:2(1)脚	2(1)脚	[39.4]	—	(37.8)	内筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	織鉢・海繪背針含、 外面化粧少量付着
63	1	16住	2c・3	深鉢	口縁～底部	底状口縁(4単位)・隆帯(朝突)、口縁部:1(L)脚、口縁部:1(L)脚、胴部:多級、結回(1)脚、底面:2(1)脚	2(1)脚	23.8	15.1	30.7	内筒下層d1	前期末	織鉢・海繪背針含、 胴内下部化粧少量付着
63	2	16住	2c・3	深鉢	口縁～底部	底状口縁(4単位)・隆帯(朝突)、口縁部:1(L)脚、口縁部:1(L)脚、胴部:多級、結回(1)脚、底面:2(1)脚	2(1)脚	[15.9]	12.7	25.1	内筒下層d1	前期末	織鉢・海繪背針含
63	3	16住	2b・2c・3	深鉢	口縁～底部	底状口縁(4単位)・隆帯(朝突)、口縁部:1(L)脚、口縁部:1(L)脚、胴部:多級、結回(1)脚、底面:2(1)脚	2(1)脚	25.4	15.1	29.9	内筒下層d1	前期末	織鉢・海繪背針含、 胴内下部化粧少量付着
63	4	16住	2c・3	深鉢	口縁～底部	底状口縁(4単位)・隆帯(朝突)、口縁部:1(L)脚、口縁部:1(L)脚、胴部:多級、結回(1)脚、底面:2(1)脚	2(1)脚	13.5	7.6	20.1	内筒下層d2	前期末	織鉢・海繪背針含
63	5	16住	2c	深鉢	口縁～底部	口唇:1(L)脚、口縁部:1(L)脚、竹管突起、胴部:多級、結回(1)脚、底面:2(1)脚	2(1)脚	14.6	10.5	25.2	内筒下層d2	前期末	織鉢・海繪背針含、 胴外上部化粧少量付着
63	6	16住	2b	深鉢	口縁～ 胴部下	口縁部:1(L)脚、胴部:2(1)脚	2(1)脚	12.7	—	(20.2)	内筒下層c ～d	南朝後葉～ c	織鉢・海繪背針含
63	7	16住	2a～c	深鉢	口縁～底部	底状口縁、口縁部:1(L)脚、朝突、胴部:多級、結回(1)脚、底面:2(1)脚	2(1)脚	28.4	15.2	36.8	内筒下層d1	前期末	織鉢・海繪背針含
63	8	16住	2b 樓上	深鉢	口縁～底部	底状口縁(4単位)・口縁部:1(L)脚、胴部:多級、結回(1)脚、底面:2(1)脚	2(1)脚	33.5	16.1	40.8	内筒下層d2	前期末	織鉢含、胴外上・胴内 下部化粧少量付着
64	9	16住	2b	深鉢	口縁～底部	口唇部:1(L)脚、胴部:多級、口縁部:1(L)脚、底面:2(1)脚	2(1)脚	18.4	9.2	27.2	内筒下層d1	前期末	織鉢含
64	10	16住	2b	深鉢	口縁～底部	底状口縁(4単位)・口縁部:1(L)脚、胴部:多級、結回(1)脚、底面:2(1)脚	2(1)脚	18.7	12.9	35.3	内筒下層d1	前期末	織鉢・海繪背針含、 外面磨滅
64	11	16住	2a・2b 樓上	深鉢	口縁～底部	底状口縁(4単位)・口唇部:1(L)脚、胴部:多級、結回(1)脚、底面:2(1)脚	2(1)脚	15.4	9.2	25.4	内筒下層d1	前期末	織鉢・海繪背針含
64	12	16住	2a・2b 樓上	深鉢	胴～底部	口唇部:1(L)脚、口縁部:1(L)脚、底面:2(1)脚	2(1)脚	—	7	(6.9)	内筒下層d1	前期末	織鉢・海繪背針含
64	13	16住	2a・2b 樓上	深鉢	口縁～底部	底状口縁(4単位)・隆帯(朝突)・廻行(L)脚、口縁部:1(L)脚、胴部:多級、結回(1)脚、底面:2(1)脚	2(1)脚	[26]	12.5	27.2	内筒下層d4 大本派小	前期末	織鉢・海繪背針含
64	14	16住	2a 樓上	深鉢	口縁～底部	口唇部:1(L)脚、口縁部:1(L)脚、胴部:多級、結回(1)脚、底面:2(1)脚	2(1)脚	12.3	7.8	17.5	内筒下層d1	前期末	織鉢・海繪背針含、 胴内下部化粧少量付着
64	15	16住	2 樓上	深鉢	口縁～底部	底状口縁(4単位)・隆帯(朝突)、口唇部:1(L)脚、口縁部:1(L)脚、胴部:多級、結回(1)脚、底面:2(1)脚	2(1)脚	19.7	11.7	33.7	内筒下層d1	前期末	織鉢・海繪背針含、 胴内中央化粧少量付着
64	16	16住	2a	付行鉢	口縁～底部	底状口縁(4単位)・口縁部:1(L)脚、朝突、胴部:多級、結回(1)脚、底面:2(1)脚	2(1)脚	19.8	[15]	18.4	内筒下層d1	前期末	織鉢・海繪背針含
68	1	19住	検出品	深鉢	胴部	単級1A(L)脚	2(1)脚	—	—	—	内筒下層d1	前期末	織鉢含
69	1	20住 91	樓上	深鉢	胴部	結束2(L)脚	2(1)脚	—	—	—	内筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	
69	2	20住 91	樓上	深鉢	口縁	突起(4単位)・隆帯・廻行(L)脚、1(L)脚	2(1)脚	—	—	(3.8)	内筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	
69	3	20住 91	樓上	深鉢	口縁(欠)	隆帯(1脚)脚、1(L)脚	2(1)脚	—	—	(5.6)	内筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	1609-2,414-1 織鉢含
69	4	20住 91	樓上	深鉢	胴部	1(L)脚・斜	2(1)脚	—	—	(9.1)	内筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	1609-2,310-1 織鉢含
69	5	20住 91	樓上	深鉢	胴部	1(L)脚・斜	2(1)脚	—	—	—	内筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	織鉢少量含
73	1	21住 13	樓上	深鉢	口縁～底部	隆帯(朝突)・口唇部:1(L)脚、口縁部:1(L)脚、底面:2(1)脚	2(1)脚	19.5	11.4	26.8	内筒下層d1	前期末	織鉢含、外面化粧 少量付着
73	2	21住	樓上	深鉢	口縁～底部	隆帯(朝突)、口唇部:1(L)脚、口縁部:1(L)脚、底面:2(1)脚	2(1)脚	22.8	12.7	27.9	内筒下層d1	前期末	織鉢・海繪背針含、 未磨滅の磨耗片(外 面)
73	3	21住 13	樓上	深鉢	口縁(欠)～ 底部	口唇部:1(L)脚、口縁部:1(L)脚、底面:2(1)脚	2(1)脚	—	12.3	(23.9)	内筒下層d2	前期末	織鉢含、外面磨滅
73	4	21住 13	樓上	深鉢	口縁～底部	底状口縁(4単位)・隆帯(朝突)、口唇部:1(L)脚、口縁部:1(L)脚、胴部:多級、結回(1)脚、底面:2(1)脚	2(1)脚	[27.6]	16.6	37.7	内筒下層d1	前期末	海繪背針含
73	5	21住	樓上	深鉢	口縁～底部	底状口縁(4単位)・口唇部:1(L)脚、口縁部:1(L)脚、胴部:多級、結回(1)脚、底面:2(1)脚	2(1)脚	18	12.8	29.5	内筒下層d4	前期末	織鉢・海繪背針含
73	6	21住 13	樓上	深鉢	口縁～底部	口唇部:1(L)脚、口縁部:1(L)脚、胴部:多級、結回(1)脚、底面:2(1)脚	2(1)脚	[16.4]	—	28.3	内筒下層d4	前期末	織鉢含、外面磨滅
73	7	21住	樓上	深鉢	口縁～底部	底状口縁(4単位)・隆帯(朝突)、口唇部:1(L)脚、口縁部:1(L)脚、胴部:多級、結回(1)脚、底面:2(1)脚	2(1)脚	20.8	12.5	28.4	内筒下層d1	前期末	織鉢・海繪背針含
73	8	21住	樓上	深鉢	口縁～底部	口唇部:1(L)脚、口縁部:1(L)脚、朝突、胴部:多級、結回(1)脚、底面:2(1)脚	2(1)脚	21.8	13.8	31.1	内筒下層d1 か	前期末	織鉢・海繪背針含、 胴外上部化粧少量付着
74	9	21住	樓上	深鉢	口縁～底部	底状口縁(4単位)・隆帯(結束2(L)脚)脚、口唇部:1(L)脚、口縁部:1(L)脚、底面:2(1)脚	2(1)脚	30.4	20.1	32.9	内筒下層d1	前期末	織鉢・海繪背針含、 外面磨滅
74	10	21住	樓上	深鉢	口縁～底部	口唇部:1(L)脚、口縁部:1(L)脚、竹管突起、胴部:多級、結回(1)脚、底面:2(1)脚	2(1)脚	20.2	9.8	25.8	内筒下層d1	前期末	織鉢・海繪背針含、 磨耗片(3×10(1)所末 表面)
74	11	21住	樓上	深鉢	口縁～底部	口唇部:1(L)脚、口縁部:1(L)脚、胴部:多級、結回(1)脚、底面:2(1)脚	2(1)脚	12.5	7.5	17.5	内筒下層d1 (摩滅)	前期末	織鉢・海繪背針含

区	番号	通称名	階位	群種	部位	外部名称・調査	内蔵調査	口径 (mm)	直径 (cm)	高さ (cm)	型式名	時期	備考
74	12	21住	塵土	深鉢	口縁～底面	口唇:1R直,口縁部:1R直,胴部:卑筋1A (1R直),底面:ミガキ	ミガキ	19.8	12.3	28	円筒下層d	前期末	織鉢・海綿骨針含
74	13	21住	塵土	深鉢	口縁～底面	口唇:1R直,口縁部:結帯(1R直)横, (1R直)縦,胴部:卑筋1A(L直)	ミガキ	16.4	8.9	21.8	円筒下層d	前期末	織鉢・海綿骨針含,個 内外炭化物少量付着
74	14	21住	塵土	深鉢	口縁～底面	底状口縁(4単位),口縁部:1R直,胴部: 卑筋1A(L直),底面:ミガキ	ミガキ	17.6	8.8	22.6	円筒下層d	前期末	織鉢・海綿骨針含,個 内外炭化物少量付着
74	15	21住	塵土	深鉢	口縁～底面	口縁部:1R直(単位),胴部:卑筋1A (1R直),底面:ミガキ	ミガキ	10.8	5.3	12.5	円筒下層d	前期末	織鉢含
74	16	21住	塵土	深鉢	口縁～底面	口唇:1R直,胴部:1R直,結回(1R直),底 面:ミガキ	ミガキ	10	6.1	14.2	円筒下層d	前期末	織鉢・海綿骨針含
74	17	21住	塵土	深鉢	口縁～底面	口唇:1R直,口縁部:1R直,胴部:結帯2 (1R直),底面:ミガキ	ミガキ	10.3	5.9	13.2	円筒下層d	前期末	織鉢含,個内外炭化 物少量付着
74	18	21住	塵土	深鉢	口縁～底面	口縁部:1R直,胴部:卑筋1A(L直),卑筋1 (1R直),底面:ミガキ	ミガキ	29	11.5	40.8	円筒下層d	前期末	織鉢含,玉置巻の織 鉢L2+9
75	19	21住	塵土	深鉢	口縁～底面	底状口縁(3単位),溝小,口唇:卑筋1 (1R直),口縁部:卑筋1(1R)直,胴部:卑筋1 A(L直),底面:ミガキ	ミガキ	[31.4]	14.5	38.9	円筒下層d	前期末	織鉢・海綿骨針含, 個内外炭化物少量 付着,織鉢L2+9
75	20	21住	塵土	深鉢	口縁～底面	底状口縁(3単位),溝小,口唇:1R直 (7字),口縁部:卑筋1(1R)直,胴部:卑筋 1A(L直),底面:ミガキ	ミガキ	29.9	15	42.3	円筒下層d	前期末	織鉢・海綿骨針含
75	21	21住 埋1	埋設土器	深鉢	口縁～胴部	底状口縁(2単位),口縁部:1R直,胴部: (卑筋)直	ミガキ	27.5	—	(24.3)	円筒下層d	前期末	織鉢・海綿骨針含,外 面磨滅
75	22	21住	塵土	深鉢	口縁～底面	底状口縁(4単位),溝帯(卑筋5直)直, 口唇:1R直,口縁部:卑筋5(直)直,胴部: 卑筋5(直)直,底面:ミガキ	ミガキ	18.7	11	26.6	円筒下層d	前期末	織鉢・海綿骨針含
75	23	21住	塵土	鉢付 鉢	口縁～底面	底状口縁(4単位),口唇:1R直,口縁部: 卑筋5(直)直,底面:ミガキ	ミガキ	12.2	7.5	12.6	円筒下層d	前期末	織鉢含,個内外炭化 物少量付着
75	24	21住	塵土	鉢	口縁～胴部	無文・ミガキ	ミガキ	9.5	—	(6.6)	円筒下層d か	前期末か	海綿骨針含
75	25	21住	塵土	深鉢	口縁～底面	突起(1単位),底状把手(前突),口縁: 1R直,胴部:卑筋1A(L直),底面:ミガキ	ミガキ	[18.2]	9.3	19.7	円筒下層d	前期末	織鉢・海綿骨針含
75	26	21住	塵土	深鉢	口縁～底面	底状口縁(2単位),溝帯(前突),口唇: 1R直,口縁部:1R直,胴部:卑筋5(直)直, 底面:ミガキ	ミガキ	[22.7]	11.6	32.5	円筒下層d	前期末	織鉢含,個内外炭化 物少量付着
76	27	21住	塵土	深鉢	口縁～底面	突起(4単位),溝帯(1R直),口唇:1R直, 口縁部:1R直,胴部:卑筋1A(L直),結 回(1R直),底面:ミガキ	ミガキ	24	[9.8]	29.3	円筒下層d	前期末	織鉢・海綿骨針含
76	28	21住	塵土	深鉢	口縁～底面	口唇:突起(3単位),溝帯(1R直),口 縁部:1R直,口縁部:卑筋1(1R)1R直,胴 部:1R直,底面:ミガキ	ミガキ	30.6	15.1	51.3	円筒下層d ～上層a1	前期末 ～中期初頭	織鉢・海綿骨針含
76	29	21住	塵土	深鉢	口縁～底面	口唇:1R直,口縁部:1R直,胴部:1R直, 結回(1R直),底面:ミガキ	ミガキ	13.7	6.5	20.7	円筒下層d	前期末	織鉢・海綿骨針含
76	30	21住	塵土	深鉢	口縁～底面	底状口縁小,貼付(1R直),胴部:1R直, 結回(1R直),底面:ミガキ	ミガキ	14.8	7.6	22.3	円筒下層d ～上層a1	前期末 ～中期初頭	織鉢・海綿骨針含,個 内外炭化物少量付着
76	31	21住	塵土	深鉢	口縁～底面	口唇:1R直,口縁部:1R直,1R直,胴部:1R 直,結回(1R直),底面:ミガキ	ミガキ	22	11.5	27.2	円筒下層d ～上層a1	前期末 ～中期初頭	織鉢・海綿骨針含
77	32	21住	塵土	深鉢	口縁～底面	突起状隆帯(2単位),卑筋1(1R)直, 口唇:1R直,口縁部:1R直,胴部:(1R)1R 直,底面:ミガキ	ミガキ	[33.8]	16	54.9	円筒下層d ～上層a1	前期末 ～中期初頭	織鉢・海綿骨針含
77	33	21住	塵土	深鉢	口縁～底面	底状口縁(4単位),溝帯(1R直),口縁部: 1R直,胴部:1R直,底面:ミガキ	ミガキ	16	8.8	18.2	円筒上層a1	中期初頭	織鉢含,個内外炭化 物少量付着
77	34	21住	塵土	深鉢	口縁～底面	突起状隆帯(4単位),溝帯(1R直),口唇: 1R直,口縁部:卑筋1(1R)直,底面:ミガキ	ミガキ	26.5	13.3	38.2	円筒下層d ～上層a1	前期末 ～中期初頭	織鉢含
77	35	21住	塵土	深鉢	口縁～底面	突起(2単位),溝帯(1R直),口唇:1R直, 口縁部:1R直,胴部:結帯1(1R-1R)横, 底面:ミガキ	ミガキ	[41.4]	15.1	59.6	円筒下層d ～上層a1	前期末 ～中期初頭	織鉢・海綿骨針含, 個内外炭化物少量 付着,織鉢L2+9
78	36	21住	塵土	深鉢	口縁～底面	突起(3単位),溝帯(1R直),貼付(1R直), 口唇:1R直,口縁部:1R直,結回(1R直), 底面:ミガキ	ミガキ	40	16.8	52.5	円筒上層a1	中期初頭	織鉢・海綿骨針含,外 面磨滅
78	37	21住	塵土	深鉢	口縁～底面	底状口縁(3単位),折瓦,隆帯,底状隆 帯把手,口縁～胴部:1R直,底面:ミガキ	ミガキ	(21.9)	10.2	(22.8)	円筒上層a1	中期初頭	個内外炭化物少量付 着
78	38	21住	塵土	鉢	口縁～底面	口縁～底面:1R直,底面:ミガキ	ミガキ	13.8	9.7	17	円筒下層d ～上層a1	前期末 ～中期初頭	織鉢・海綿骨針含, 個内外炭化物少 量付着
78	39	21住	塵土	鉢	口縁～底面	突起(2単位),口唇:1R直,口縁～胴部: 1R直,底面:ミガキ	ミガキ か	[13.4]	[6.4]	13.3	円筒下層d ～上層a1	前期末 ～中期初頭	織鉢・海綿骨針含
78	40	21住	塵土	深鉢	口縁～底面	口唇:1R直,口縁～底面:1R直横,底面: ミガキ	ミガキ	27.4	12.8	31.8	円筒下層d ～上層a1	前期末 ～中期初頭	織鉢・海綿骨針含, 個内外炭化物少量 付着,織鉢L2+9
78	41	21住	塵土	深鉢	胴部	1R多巻横	ナダ	—	—	(5.1)	卑筋5直か	前期末か	織鉢多巻含
78	42	21住	塵土	深鉢	胴部	卑筋1(1R)	ミガキ	—	—	(8.6)	円筒下層	前期	織鉢・海綿骨針含
78	43	21住	塵土	深鉢	口縁	1R多巻横,厚	ナダ	—	—	(7.5)	卑筋5直か	前期末か	織鉢多巻含
78	44	21住	塵土	深鉢	口縁	1R直,結回	ナダ	—	—	(4.1)	円筒下層b-d	前期中葉～ 後	織鉢多巻含
78	45	21住	塵土	深鉢	胴部	1R多巻斜	ナダ	—	—	(6)	卑筋5直か	前期末か	織鉢多巻含
78	46	21住	塵土	深鉢	胴部	1R直,断面磨滅	ナダ	—	—	(3.2)	円筒下層 ～b	前期中葉	織鉢含
78	47	21住 埋1	塵土	深鉢	口縁	結回(1R)	ナダ	—	—	(6.8)	円筒下層 ～b	前期中葉	織鉢含
78	48	21住	塵土	深鉢	口縁～ 胴部上	口縁部:結回(1R)横,胴部:1R	ナダ	—	—	(6.1)	円筒下層 ～b	前期中葉	織鉢含
78	49	21住	塵土	深鉢	胴部	隆帯(沈線小),卑筋1厚小	ミガキ	—	—	(4.2)	円筒下層 ～b	前期中葉か	織鉢含
78	50	21住	塵土	深鉢	胴部	隆帯(沈線小),竹管刺突	ミガキ	—	—	(4.8)	円筒下層 ～b	前期中葉か	織鉢・海綿骨針含
79	51	21住	塵土	深鉢	口縁～ 胴部上	1R直	ミガキ	—	—	(7)	前期前葉か	織鉢・海綿骨針含,個 内外炭化物少量 付着	
79	52	21住	塵土	深鉢	胴部	1R直	ミガキ	—	—	(11.3)	前期前葉か	織鉢・海綿骨針含,個 内外炭化物少量 付着	
79	53	21住	塵土	深鉢	口縁	1R直,竹管刺突	ミガキ	—	—	(3.8)	円筒下層b ～後	前期中葉～ 後	織鉢・海綿骨針含,個 内外炭化物少量 付着
79	54	21住	塵土	深鉢	口縁	底状口縁小,口唇部:短小,口縁部:卑 筋1厚,1R直,底面:結回1直	ミガキ	—	—	(4.7)	円筒下層d	前期末	織鉢・海綿骨針含

区	道	道標名	階位	部種	部位	外置文様・調整	内面調整	口徑 (mm)	直径 (mm)	厚高 (mm)	型式名	時期	備考	
79	55	21住	襦土	付行鉢	底面(付行)	無文、ミダキ	ミダキ	—	—	(4.8)	円筒下層c	前期c	織績多岐舎	
79	56	21住	襦土	付行鉢	底面(付行)	結末1(1.8)(4.4, 結末)	ミダキ	—	—	(4.3)	円筒下層c	前期c	織績舎	
79	57	21住	襦土	付行鉢	底面(付行)	結末1(1.8)(4.4, 結末)	ミダキ?	—	—	(6.7)	円筒下層c	前期c	織績、海繪骨針舎	
79	58	21住	襦土	深鉢	口縁	蓮状口縁少、口縁部: 梨皮、口縁部: 沈線	ミダキ	—	—	(6)	朝日下層式	前期末	海繪骨針舎	
79	59	21住	襦土	深鉢	口縁	蓮状口縁少、口縁部: 梨皮(朝文)、口唇部: 梨皮、口縁部: 上層	ミダキ	—	—	(4.6)	円筒下層d2	前期末		
79	60	21住	襦土	深鉢	口縁～胴部上	蓮状口縁少、口縁部: 梨皮、沈線、胴部: 梨皮、結末	ミダキ	—	—	(9.9)	大木7a式	中期商業		
79	61	21住	襦土	深鉢	口縁～胴部上	蓮状口縁少、口縁部: 梨皮(1(0.5))押、胴部: 梨皮(1A)(0.4)、沈線	ミダキ	—	—	(9.9)	大木7a式	中期商業	図79-62～63同一個体。	
79	62	21住	襦土	深鉢	口縁	蓮状口縁少、蓮花、口縁部: 華籠1(0.2)押、胴部: 華籠1A(0.4)、沈線	ミダキ	—	—	(7.1)	大木7a式	中期商業	図79-61, 62, 64同一個体。	
79	63	21住	襦土	深鉢	口縁～胴部上	口縁部: 梨皮、華籠1(0.5)押、胴部: 華籠1A(0.4)、沈線	ミダキ	—	—	(7.7)	大木7a式	中期商業	図79-61, 62, 64同一個体。	
79	64	21住	襦土	深鉢	胴部	口縁部: 梨皮、華籠1(0.5)押、胴部: 華籠1A(0.4)、沈線	ミダキ	—	—	(4.2)	大木7a式	中期商業	図79-61～63同一個体。	
79	65	21住	襦土	深鉢	胴部	口縁部: 梨皮、華籠1(0.5)押、胴部: 華籠1A(0.4)、沈線	ミダキ	—	—	(7.8)	大木7a式	中期商業	図79-66～68同一個体。	
79	66	21住	襦土	深鉢	胴部	口縁部: 梨皮、華籠1(0.5)押、胴部: 華籠1A(0.4)、沈線	ミダキ	—	—	(6.2)	大木7a式	中期商業	図79-65, 67, 68同一個体。	
79	67	21住	襦土	深鉢	口縁	口縁部: 梨皮、華籠1A(0.4)、沈線	ミダキ	—	—	(3.9)	大木7a式	中期商業	図79-65, 66, 68同一個体。	
79	68	21住	襦土	深鉢	胴部	口縁部: 梨皮、華籠1(0.5)押、胴部: 華籠1A(0.4)、沈線	ミダキ	—	—	(4.3)	大木7a式	中期商業	図79-65～68同一個体。	
79	69	21住	襦土	深鉢	胴部上	結末(0)横・縦、底面: ミダキ	ミダキ	—	[7.6]	円筒下層d	前期末c	織績、海繪骨針舎		
79	70	21住	襦土	深鉢	口縁	梨皮、蓮花、口縁部: 梨皮	ミダキ	—	—	(4.2)	復林c	中期商業少	海繪骨針舎	
79	71	21住	襦土	深鉢	口縁	梨皮、蓮花、口縁部: 梨皮	ミダキ	—	—	(4.6)	復林c	中期商業少	海繪骨針舎	
79	72	21住	襦土	深鉢	口縁	上層	ミダキ	—	—	(4)	円筒下層d	前期末c	織績舎	
79	73	21住	襦土	深鉢	口縁	梨皮、沈線	ミダキ	—	—	(3)	円筒下層d	前期末c	織績舎	
79	74	21住	襦土	深鉢	胴部	沈線	ミダキ	—	—	(3)	大木系c	前期末c	海繪骨針舎	
79	75	21住	襦土	深鉢	胴部	上層、沈線	ミダキ	—	—	(2.4)	復林c	中期商業少		
79	76	21住	襦土	深鉢	胴部	上層	ミダキ	—	—	(5.4)	梨文	織文	織績舎	
79	77	21住	襦土	深鉢	胴部	無筋少	ミダキ	—	—	(5.5)	円筒下層d	前期末	織績、海繪骨針舎	
79	78	21住	襦土	深鉢	胴部	上層、結末	ミダキ	—	—	(4.8)	梨文	織文	海繪骨針舎	
79	79	21住	襦土	深鉢	胴部	梨文	ミダキ	—	—	(5.4)	円筒下層	前期	織績、海繪骨針舎	
79	80	21住	襦土	深鉢	胴部	無筋少	ミダキ	—	—	(6.5)	円筒下層d	前期末c	織績、海繪骨針舎	
79	81	21住	襦土	深鉢	口縁	結末(0)横・縦	ミダキ	—	—	(4.3)	円筒下層d	前期末c	図79-82同一個体。	
79	82	21住	襦土	深鉢	口縁	結末(0)横・縦	ミダキ	—	—	(4.7)	円筒下層d	前期末c	図79-81同一個体。	
79	83	21住	襦土	深鉢	口縁	口唇部: 梨皮、口縁部: 上層、結末、沈線	ミダキ	—	—	(3.1)	大木式系	前期末		
79	84	21住	襦土	深鉢	口縁	口唇部: 梨皮、口縁部: 結末	ミダキ	—	—	(3)	大木式系	前期末		
96	1	22住	91a	91a	深鉢	口縁(文)～胴部上	地帯(上層) 梨皮(上層) 口縁部: 上層 梨皮、結末(上層) 梨皮、結末(上層)	ミダキ	—	(24.4)	円筒下層d	前期末～中期初頭		
96	2	22住	91b	91b	深鉢	胴部上	梨皮(上層) 結末、結末(上層) 梨皮、結末(上層)	ミダキ	—	(14.5)	円筒下層d	前期末～中期初頭	図96-1同一個体、織績舎	
96	3	22住	91c	91c	深鉢	口縁(文)～胴部	地帯(上層) 口縁部: 上層、胴部: 上層、結末、結末(上層)	ミダキ	—	(20.7)	円筒下層d	前期末～中期初頭	織績、海繪骨針舎	
96	4	22住	91d	91d	深鉢	胴部	上層、結末(上層)	ミダキ	—	(14.7)	円筒下層d	前期末～中期初頭	織績、海繪骨針舎	
96	5	22住	91e	91e	深鉢	胴部	上層(0)縦	ミダキ	—	(20.2)	円筒下層d	前期末	織績舎	
96	6	22住	91f	91f	深鉢	胴部	結末(0)横、胴部: 上層、結末(0)縦	ミダキ	—	(35.3)	円筒下層d	前期末～中期商業	織績、海繪骨針舎、胴部上・内底面化物少量付着	
96	7	22住	91g	91g	深鉢	底面	多筋(0.4)結末(0)縦、底面: ミダキ	ミダキ	—	[14]	円筒下層d	前期末	織績舎	
96	8	22住	埋設土器	深鉢	無～底面	無: 結末(0)横、胴部: 華籠1(0.1) 結末(0)縦、底面: ミダキ	ミダキ	—	12.1	(33)	円筒下層d	前期末	織績舎、外面砥減	
97	9	22住	床面	深鉢	口縁～胴部上	蓮状口縁、梨皮、梨皮(上層) 口唇部: 上層、梨皮(上層) 結末、結末(上層)	ミダキ	—	—	(13)	円筒下層d	前期末～上層a1	織績、海繪骨針舎	
97	10	22住	床面	深鉢	口縁	蓮状口縁、梨皮(上層) 口唇部: 上層、梨皮(上層)	ミダキ	—	—	(6.2)	円筒下層d	前期末～上層a1	織績、海繪骨針舎	
97	11	22住	床面	深鉢	胴部	梨皮(上層) 口唇部: 上層、胴部: 上層、結末(上層)	ミダキ	—	—	(9.2)	円筒下層d	前期末～上層a1	織績、海繪骨針舎	
97	12	22住	2	深鉢	口縁～底面	梨皮(2単位) 梨皮(上層) 口唇部: 上層、梨皮(上層) 結末、結末(上層) 梨皮、結末	ミダキ	25.5	[12.9]	29.3	円筒下層d	前期末～上層a1	中期初頭	胴外上底面化物付着
97	13	22住	2	深鉢	口縁～胴部上	蓮状口縁、梨皮、梨皮(上層) 口唇部: 上層、梨皮(上層) 結末、結末(上層)	ミダキ	—	—	(21.7)	円筒下層d	前期末	織績、海繪骨針舎	
97	14	22住	2	深鉢	口縁～底面	梨皮(1単位) 梨皮(上層) 口唇部: 上層、梨皮(上層) 結末、結末(上層) 梨皮、結末	ミダキ	[18.5]	10	(20.3)	円筒下層d	前期末～上層a1	中期初頭	織績、海繪骨針舎、結末(上層)少
97	15	22住	2	深鉢	口縁～胴部上	梨皮(3単位) 梨皮(上層) 口唇部: 上層、梨皮(上層) 結末、結末(上層)	ミダキ	[21]	—	(27.5)	円筒下層d	前期末～上層a1	中期初頭	織績、海繪骨針舎、胴外上底面化物少量付着
97	16	22住	2	深鉢	口縁	蓮状口縁、梨皮(上層) 口唇部: 上層、梨皮(上層)	ミダキ	—	—	(7.5)	円筒上層a	中期商業	織績、海繪骨針舎	
97	17	22住	2	深鉢	口縁～胴部上	蓮状口縁、梨皮(上層) 口唇部: 上層、梨皮(上層) 結末、結末(上層)	ミダキ	—	—	(12.1)	円筒上層a	中期商業	織績、海繪骨針舎	
98	18	22住	2	深鉢	口縁～底面	口唇部: 上層、口縁部: 上層、結末、結末(上層) 梨皮、結末	ミダキ	28.2	15	37.8	円筒下層d	前期末～上層a	中期商業	織績、海繪骨針舎、胴外上・胴内下底面化物少量付着
98	19	22住	2	深鉢	口縁～胴部上	蓮状口縁少、梨皮(上層) 口唇部: 上層、梨皮(上層) 結末、結末(上層)	ミダキ	—	—	(16.5)	円筒下層d	前期末～上層a1	中期初頭	織績、海繪骨針舎
98	20	22住	2	深鉢	口縁～胴部上	蓮状口縁少、上層	ミダキ	—	—	(9)	円筒下層d	前期末～上層a	中期初頭	織績、海繪骨針舎
98	21	22住	2	深鉢	口縁～胴部上	蓮状口縁少、梨皮(上層) 上層	ミダキ	—	—	(8.6)	円筒下層d	前期末～上層a	中期商業	織績、海繪骨針舎

国	番号	通称名	階位	部種	部位	外注文種・調整	内面調査	口径 (mm)	電径 (mm)	外径 (mm)	型式名	時期	備考	
98	22	22住	2	深鉢	口縁～底部	口縁:1段横(1)深鉢,口縁:胴部:1段横,底面:ミガキ	ミガキ	30.5	10.4	23.5	円筒下層4 ～上層4	前期末～ 中期前半	織造・海綿管針含	
98	23	22住	2	深鉢	胴部	1段横・縦,結印横	ミガキ	—	—	(7.3)	円筒下層	前期	織造・海綿管針含	
98	24	22住	2	深鉢	胴部	1段横	ミガキ	—	—	(4.1)	円筒下層a	前期a	織造・海綿管針含	
98	25	22住	2	深鉢	底部	胴部:1段横,結印横,底面:ミガキ	ミガキ	—	(5.2)	(3.4)	円筒下層a ～b	前期a	織造・海綿管針含	
98	26	22住	2	深鉢	胴部	結帯(朝突)	ミガキ	—	—	(5.7)	円筒下層b ～c	前期中盤	織造・海綿管針含	
98	27	22住		西片 門口 か	口縁～底部	横文,ミガキ,底面:ナゲ	ミガキ	—	底:6 電:9	(5.2)	円筒下層d か	前期末か	織造含	
101	1	23住		ビット環上 床面 床面直上	口縁～底部	底状口縁a,残帯(朝突),口縁:1段横,口縁部:1段横,胴部:結帯1(1段横),底面:ミガキ	ミガキ	17.1	11.5	29.8	円筒下層d	前期末	個外上炭化物少量付着	
101	2	23住		ビット環上 床面 床面直上 3-4	鉢	口縁～底部	底状口縁a,残帯(朝突)口縁:1段小横,口縁部:1段横,胴部:結帯1(1段横),底面:ミガキ	ミガキ	[15.5]	8.6	18.6	円筒下層d	前期末	織造含
101	3	23住		覆土	鉢	口縁～底部	残帯,口縁:1段横,口縁:胴部:結帯1(1段横),底面:ミガキ	ミガキ	12.1	9.5	19.4	円筒下層d	前期末	織造含
101	4	23住		床面直上	深鉢	口縁～底部	口縁部:1段横(1段横),胴部:結帯1(1段横),底面:ミガキ	ミガキ	16.7	11	26.9	円筒下層d	前期末	織造・海綿管針含,外面摩滅
101	5	23住		床面	深鉢	口縁～底部	底状口縁a(4単位),口縁:1段横(10)口縁部:1段横(10)残帯:結帯1(1段横)横,結印横,底面:ミガキ	ミガキ	18.7	12.2	26.5	円筒下層d	前期末	織造・海綿管針含
101	6	23住		床面	深鉢	口縁～底部	底状口縁a(4単位),口縁:1段横,口縁部:1段横,胴部:結帯1(1段横),底面:ミガキ	ミガキ	19.1	12.2	25.9	円筒下層d	前期末	織造・海綿管針含,個外上炭化物少量付着
101	7	23住		床面	深鉢	口縁～底部	口縁部:1段横,胴部:結帯1(1段横),底面:ミガキ	ミガキ	[22]	13.5	28.5	円筒下層d	前期末	織造・海綿管針含
101	8	23住		床面直上	鉢	口縁～底部	口縁:1段横,口縁部:1段横,胴部:結帯1A(1段横)	ミガキ	13.1	8.3	19.2	円筒下層d	前期末	織造・海綿管針含,個外上炭化物少量付着
101	9	23住		床面直上	深鉢	口縁～底部	底状口縁a,残帯(1段横),口縁:1段横,口縁部:1段横,胴部:結帯1A(1段横),結印横,底面:ミガキ	ミガキ	24.8	16.7	30.2	円筒下層d	前期末	織造・海綿管針含,外面摩滅
101	10	23住 ビ7		検出層 (床面)	深鉢	口縁～底部	底状口縁a,口縁:1段横,口縁部:1段横,胴部:結帯1A(1段横),底面:ミガキ	ミガキ	[15]	9.5	26	円筒下層d	前期末	織造含,個外上炭化物少量付着,上面摩滅
102	11	23住		床面直上	深鉢	口縁～底部	底状口縁a,残帯(朝突),口縁:1段横,口縁部:1段横,胴部:多筋,結帯2(1段横)	ミガキ	25.4	14.3	38.9	円筒下層d	前期末	織造・海綿管針含,外面摩滅
102	12	23住		5	鉢	口縁～底部	口縁:結帯1(1段横)横,胴部:1段横	ミガキ	13.4	8.1	18.7	円筒下層d	前期末	織造・海綿管針含,外面炭化物付着
102	13	23住 ビ7		検出層 (床面)	深鉢	口縁～ 胴部上 底部	底状口縁a(4単位),残帯(朝突),口縁:1段横,口縁部:1段横,結印横(10)横,胴部:多筋(1段横),底面:ミガキ	ミガキ	27.9	[17.4]	33.6 (底面 25.9)	円筒下層d	前期末	織造・海綿管針含,個外上炭化物少量付着,上面覆土
102	14	23住		床面直上	深鉢	口縁～底部	底状口縁a(4単位),口縁:1段横,口縁部:1段横,胴部:結帯1(1段横),底面:ミガキ	ミガキ	18.3	11	28.6	円筒下層d	前期末	織造・海綿管針含,個外上炭化物少量付着
102	15	23住		床面直上	深鉢	口縁～ 胴部上	底状口縁a,残帯(竹筍朝突),口縁部:1段横,胴部:結帯1(1段横)	ミガキ	16.3	—	27.2	円筒下層d	前期末	織造・海綿管針含,外面摩滅
102	16	23住		床面	深鉢	口縁～ 胴部上	底状口縁a,残帯(朝突),口縁部:1段横,胴部:結帯1A(1段横)	ミガキ	[15.7]	—	(16.4)	円筒下層e	前期後半～ 末	織造・海綿管針含
102	17	23住		床面直上	深鉢	口縁～ 胴部上	残帯,口縁部:1段横,胴部:結帯1(1段横),胴部:1段横	ミガキ	—	—	(14.6)	円筒下層d	前期末	織造・海綿管針含
102	18	23住		床面直上	深鉢	口縁～ 胴部上	残帯(朝突),口縁部:1段横,胴部:1段横	ミガキ	—	—	(18.7)	円筒下層d	前期末	織造・海綿管針含
103	23	23住		床面直上	深鉢	口縁～ 胴部上	残帯(朝突),口縁部:1段横,胴部:1段横,胴部:1段横	ミガキ	—	—	(21.4)	円筒下層d	前期末	織造・海綿管針含
103	20	23住		床面直上	深鉢	口縁～ 胴部上	残帯(朝突),口縁部:1段横,胴部:1段横,胴部:1段横	ミガキ	—	—	(16.8)	円筒下層d	前期末	織造・海綿管針含
103	21	23住		床面直上	深鉢	口縁～ 胴部上	口縁部:1段横,胴部:結印横,単筋1A(1段横)	ミガキ	—	—	(14.5)	円筒下層d	前期末	織造・海綿管針含
103	22	23住		床面	深鉢	口縁～ 胴部上	底状口縁a,口縁部:1段横,胴部:1段横	ミガキ	—	—	(6.3)	円筒下層d	前期末	織造・海綿管針含
103	23	23住		床面	深鉢	口縁～ 胴部上	口縁部:1段横,胴部:単筋1A(1段横)	ミガキ	—	—	(16.5)	円筒下層d	前期末	織造・海綿管針含
103	24	23住		床面	深鉢	口縁～ 胴部上	残帯(朝突),口縁部:1段横,胴部:1段横	ミガキ	—	—	(10.1)	円筒下層d	前期末	織造・海綿管針含
103	25	23住		床面	深鉢	口縁	口縁:朝突,口縁部:1段横	ミガキ	—	—	(4.1)	円筒下層	前期	織造含
103	26	23住		2	深鉢	口縁～ 胴部上	底状口縁a,口縁部:1段横,胴部:朝突,単筋1A(1段横)	ミガキ	—	—	(14.8)	円筒下層d	前期末	織造・海綿管針含
103	27	23住		床面直上	深鉢	口縁～ 胴部上	底状口縁a,口縁部:1段横,胴部:朝突,単筋1A(1段横)	ミガキ	—	—	(9.4)	円筒下層d	前期末	織造・海綿管針含
103	28	23住		床面直上	深鉢	口縁～ 胴部上	残帯(朝突),口縁部:1段横,朝突,胴部:多筋	ミガキ	—	—	(7.1)	円筒下層d	前期末	織造・海綿管針含
103	29	23住		床面直上	深鉢	口縁～ 胴部上	底状口縁a,口縁部:1段横,胴部:1段横,胴部:1段横	ミガキ	—	—	(18)	円筒下層d	前期末	織造・海綿管針含
104	31	23住		覆土	深鉢	口縁～ 胴部上	底状口縁a,口縁部:1段横,胴部:1段横,胴部:1段横	ミガキ	—	—	(6.1)	円筒下層d	前期末	織造・海綿管針含
104	32	23住		覆土	深鉢	口縁～ 胴部上	口縁部:1段横,朝突,胴部:結帯2(1段横),結帯1(1段横)	ミガキ	—	—	(11.5)	円筒下層d	前期末	織造・海綿管針含
104	33	23住		4	深鉢	口縁～ 胴部上	口縁部:1段横,胴部:単筋1(1)	ミガキ	—	—	(10.4)	円筒下層d	前期末	織造・海綿管針含
104	34	23住		3-4	深鉢	口縁～ 胴部上	口縁部:1段横,胴部:単筋1(1),沈縮	ミガキ	—	—	(7.8)	大木式式	前期末	織造・海綿管針含
104	35	23住		覆土	深鉢	口縁～ 胴部上	残帯(朝突),口縁部:1段横,朝突,胴部:多筋(2)	ミガキ	—	—	(7.9)	円筒下層d	前期末	織造・海綿管針含
104	36	23住		覆土	深鉢	胴部	結付,単筋(10)	ミガキ	—	—	(2.2)	円筒下層d	前期末	海綿管針含
104	37	23住		3-4	深鉢	口縁～ 胴部上	底状口縁a,口縁部:1段横,胴部:1段横	ミガキ	—	—	(16.4)	円筒下層d ～上層d1	前期末～ 中期初頭	織造含

區	道	道標名	階位	部種	部位	外置文様・調整	内面調整	口徑 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	型式名	時期	備考	
104	38	23住	3-4	鉢小	口縁～胴部上	底状口縁小、口縁部・I形押、胴部・甲高(1A形)	ミガキ	—	—	(6.7)	円筒下層d	前期末	織跡・海路音針含、 内上層a)の可能性有	
104	39	23住	2	深鉢	口縁～胴部上	底状口縁、口唇部・斜小、口縁部・I形押、胴部・甲高(1A形)	ミガキ	—	—	(6.8)	円筒下層d	前期末	織跡・海路音針含	
104	40	23住	覆土	深鉢	口縁～胴部上	底状口縁、口唇部・斜小(筋入)、口縁部・I形押、胴部・甲高(1A形)、結回線	ミガキ	—	—	(6.5)	円筒下層d	前期末	織跡・海路音針含	
104	41	23住	2	深鉢	口縁～胴部上	口縁部・結回線、胴部・I形小	ミガキ	—	—	(6.4)	円筒下層a ～上層a1	前期中末	織跡・海路音針含	
107	1	24住 9)	8	深鉢	口縁～底部	底状口縁、突起(2単位位)、口唇部(甲高1B形)口縁部・甲高(1B形)、胴部・I形押、結回線、I形小、底面：ミガキ	ミガキ	[31.1]	13	45.3	円筒下層d ～上層a1	前期末 中期初期	織跡・海路音針含、胴 内上層a)の付着	
107	2	24住	1	深鉢	口縁～底部	突起(2単位位)、口唇部(甲高1B形)、口縁部・甲高(1B形)口縁部・甲高(1B形)・I形押、胴部・I形押、底面：ミガキ	ミガキ	37.5	[14.1]	37.5	円筒下層d ～上層a1	前期末 中期初期	織跡・海路音針含	
107	3	24住	1	深鉢	口縁	隆帯(甲高)、口縁部・I形押、沈線	ミガキ	—	—	(6.8)	円筒下層d ～上層a1	前期末	織跡含	
110	1	25住	2-3	深鉢	口縁～胴部	底状口縁、口縁部・I形押、I形押、胴部・I形小	ミガキ	[15.4]	—	(15.3)	円筒下層d ～上層a1	前期後葉 ～前	織跡・海路音針含	
110	2	25住	2-3	深鉢	口縁～胴部	底状口縁小、口縁部・I形押、結東(1B・1C)、胴部・結東(1B・1C)、底面：織跡	ミガキ	[19.4]	—	(11.4)	円筒下層d	前期末	織跡多量含	
110	3	25住	2	深鉢	口縁～胴部	口縁部・突起、I形押、胴部・多筋(1)	ミガキ	17.7	—	(14.2)	円筒下層d	前期末	織跡・海路音針含	
110	4	25住	2	深鉢	口縁～胴部上	底状口縁小、口縁部・I形押、胴部・甲高(1B形)	ミガキ	[20.2]	—	(24.5)	円筒下層d	前期末	織跡・海路音針含	
110	5	25住	2 覆土上	深鉢	口縁～底部	底状口縁(4単位位)、隆帯(甲高1B形)、口唇部・I形押、胴部・多筋(1B・1C)、底面：ミガキ	ミガキ	23.3	13.2	39.3	円筒下層d	前期末	織跡・海路音針含、外 面彫線	
110	6	25住	2	深鉢	口縁～底部	底状口縁(4単位位)、口唇部・I形小、口唇部・I形小、突起、胴部・I形小、底面：ミガキ	ミガキ	[22.6]	13.6	37.4	円筒下層d	前期末	織跡・海路音針含、胴 外上層a)化物質少量付着	
110	7	25住	2	深鉢	口縁～胴部	底状口縁(4単位位)、口縁部・I形押、突起、胴部・結東(1B・1C)	ミガキ	27	—	(27.7)	円筒下層d	前期末	織跡・海路音針含	
110	8	25住	2	深鉢	口縁～胴部	底状口縁小、口縁部・I形押、胴部・甲高(1B形)	ミガキ	—	—	(23)	円筒下層c	前期後葉	織跡多量・海路音針 含	
110	9	25住	2	深鉢	口縁～胴部	底状口縁(竹管突起)、口縁部・I形押、胴部・結東(1B・1C)	ミガキ	—	—	(22)	円筒下層d	前期末	織跡・海路音針含	
110	10	25住	2	付付	底部	結東(1A形)、底面：ミガキ	ミガキ	—	[10.8]	—	円筒下層d	前期末	織跡・海路音針含	
110	11	25住	覆土	深鉢	胴部	I形押、沈線(横平状)	ミガキ	—	—	—	最上	中期後葉	織跡含	
112	1	26住 9)	8	深鉢	胴～胴部下	底状口縁、口縁部・I形押、胴部・甲高(1B形)、結回線	ミガキ	—	—	—	円筒下層d ～上層a1	前期末 中期初期	織跡含	
112	2	26住 9)	8	深鉢	胴部	I形押、斜、結回線	ミガキ	—	—	—	円筒下層d ～上層a1	前期末 中期初期	織跡含	
113	1	27住 9)	8	深鉢	胴部	隆帯・底状口縁(1B形)、口縁部・I形押、胴部・甲高(1B形)・I形押、底面：ミガキ	ミガキ	—	—	(25.8)	円筒上層a1	中期初期	織跡・海路音針含、胴 内上層a)化物質少量付着	
115	1	28住 1)	覆土上位	深鉢	口縁～底部	口唇部・I形小、口縁部・I形押、底面：ミガキ	ミガキ	21.7	10.5	27.3	円筒上層a	中期初頭～ 前葉	織跡・海路音針含	
115	2	28住	1	深鉢	口縁～底部	底状口縁(4単位位)、口唇部・I形小、隆帯・突起、口唇部・I形小、口唇部・I形小、胴部・I形小、底面：ミガキ	ミガキ	[24.5]	13.2	28.8	円筒上層a	中期初頭～ 前葉	織跡・海路音針含	
115	3	28住	1	深鉢	口縁～底部	底状口縁(4単位位)、隆帯(甲高1B形)、口縁部・I形押、胴部・I形小、底面：ナメコ	ミガキ	[20.2]	9	20.7	円筒上層a	中期初頭～ 前葉	織跡・海路音針含、外 面彫線	
115	4	28住	覆土	深鉢	口縁～底部下	底状口縁(4単位位)、隆帯・底状口縁(1B形)、口唇部・I形小、口唇部・I形小、胴部・I形小、底面：ミガキ	ミガキ	[15.5]	8.5	21.4	円筒上層a	中期初頭～ 前葉	織跡・海路音針含	
115	5	28住	1	深鉢	口縁～胴部下	底状口縁(4単位位)、隆帯・底状口縁(1B形)、口唇部・I形小、口唇部・I形小、胴部・結東(1B・1C)	ミガキ	37.8	—	47.4	円筒上層a	中期初頭～ 前葉	織跡・海路音針含、胴 外上層a)化物質少量付着	
116	6	28住	覆土	深鉢	口縁～底部	口縁部・I形押、胴部・I形小、底面：ミガキ	ミガキ	[16.2]	7.7	17.1	円筒上層a	中期初頭～ 前葉	織跡・海路音針含	
116	11	29住 9)	8	深鉢	口縁～胴部	隆帯・底状口縁(1B形)、口縁部・I形押、胴部・甲高(1B形)・I形押	ミガキ	—	—	(36.7)	円筒下層d ～上層a1	前期末 中期初期	織跡・海路音針含	
116	12	29住 9)	8	深鉢	底部	結東(1B・1C)横小、底面：ミガキ	ミガキ	—	—	(12.8)	円筒下層d ～上層a1	前期末 中期初期	織跡・海路音針含、新 葉着	
116	13	29住	1 覆土上	深鉢	口縁～胴部下	底状口縁(4単位位)、隆帯・底状口縁(1B形)、口唇部・I形押、胴部・I形小	ミガキ	36.5	—	(25)	円筒上層a	中期初頭～ 前葉	織跡・海路音針含、胴 外上層a)化物質少量付着	
116	16	45住	床面	深鉢	口縁～底部	隆帯、口縁部・I形押、胴部・結回線、甲高(1B形)	ミガキ	—	—	(4.9)	円筒下層d	前期末	海路音針含	
116	17	45住	床面	深鉢	口縁	底状口縁、舌孔、隆帯(突起)、口縁部・I形押、突起	ミガキ	—	—	(4.9)	円筒下層d	前期末	海路音針含	
119	1	33住	覆土	深鉢	口縁	I形押	ミガキ	—	—	(4.7)	円筒下層d	前期後葉小	織跡含	
122	1	35住	1	深鉢	口縁～胴部	底状口縁小、口縁部・I形押、結東(1B・1C)・I形押	ミガキ	13.4	—	(19.9)	円筒下層c	前期後葉	織跡・海路音針含	
122	2	35住	1	深鉢	胴～底部	多筋(1B)、結東(1B・1C)	ミガキ	—	[6.7]	(20.4)	円筒下層c	前期後葉	織跡含	
122	3	35住	1	深鉢	口縁～胴部	底状口縁、口縁部・I形押(横状)、甲高(1B形)、胴部・結東(1B・1C)	不明 (横状)	17.8	—	(21.1)	円筒下層c	前期後葉	織跡含	
122	4	35住	1	下付	口縁～胴部下	底状口縁小、口縁部・I形押、胴部・甲高(1B形)	ミガキ	16.3	—	(21.2)	円筒下層c	前期後葉	織跡含	
122	5	35住	1	深鉢	口縁～底部	底状口縁(4単位位)、口縁部・I形押、胴部・結東(1B・1C)、胴部・結東(1B・1C)	ミガキ	17.4	[9.1]	21.3	円筒下層c	前期後葉	織跡含	
122	6	35住	1	深鉢	口縁～底部	底状口縁(4単位位)、口縁部・I形押、胴部・結東(1B・1C)	ミガキ	15.6	8.5	26.1	円筒下層c	前期後葉	織跡・海路音針含	
122	7	35住	1	深鉢	口縁～胴部下	底状口縁小、口縁部・I形押、胴部・結東(1B・1C)	ミガキ	16	—	(33.2)	円筒下層c	前期後葉	織跡含、胴外上層a) 化物質少量付着	
122	8	35住	1	深鉢	口縁～底部	底状口縁、隆帯(甲高)、口縁部・I形押、胴部・I形小、口唇部・I形小、底面：ミガキ	ミガキ	22.5	9.8	39.4	円筒下層c	前期後葉	織跡・海路音針含、胴 外上層a)化物質少量付着	
124	1	36住 9)	8	深鉢	口縁～胴部	隆帯(1B形)、口縁部・I形押、胴部・多筋(1B)	ミガキ	—	—	(18.3)	円筒下層d	前期末	胴124+1同・a、織跡 ・海路音針含	
124	2	36住 9)	8	深鉢	胴部下～底部	多筋(1B)横、底面：ミガキ	ミガキ	—	—	15.2	(19.5)	円筒下層d	前期末	胴124+1同・a、織跡 ・海路音針含、外面彫 線
126	1	37住	1	深鉢	口縁～胴部	底状口縁、口唇部・I形押、胴部・甲高(1B形)	ミガキ	—	—	(23.5)	円筒下層c	前期後葉	織跡・海路音針含	
126	2	37住	1	深鉢	口縁～胴部	底状口縁小、口縁部・結東(1B・1C)横、胴部・結東(1B・1C)横	ミガキ	[20.5]	—	(21.8)	円筒下層c	前期後葉	織跡多量含、海路音 針含	

区	番地	通称名	階位	部様	部位	外観文様・調整	内装調色	口縁	電燈	高さ	型式名	時期	備考	
126	3	37住	1	深緑	口縁～ 側面下	口縁部：2押、胴部：単線1(0)、結回(0)	ミダキ	17.8	—	(23)	円筒下層c	前期後葉	織鉢・海綿音針含	
126	4	37住	1	深緑	胴部上 ～底部	胴～底部：2押、胴線・斜、底面：ミダキ	ミダキ	—	10.8	(25.3)	円筒下層c	前期後葉	織鉢・海綿音針含	
126	5	37住	1	深緑	胴部上 ～底部	胴～底部：結束1(0.R-0)	ミダキ	—	9.2	(25.4)	円筒下層c	前期後葉	織鉢・海綿音針含、 外面厚葉	
126	6	37住	1	深緑	口縁～底部	嵌状口縁、円筒の内、胴部：染織(柳葉 文)、底面：ミダキ	ミダキ	20.3	32.4	32.6	円筒下層c	前期後葉	織鉢・海綿音針含	
126	7	37住	1	深緑	口縁～ 胴部下	嵌状口縁(0単位位)、口唇：2押、口縁： 結束1(0.R-0)、底面：結回(0)	ミダキ	[22.2]	—	(33.3)	円筒下層c	前期後葉	織鉢・海綿音針含	
126	8	37住	1	深緑	口縁～底部	嵌状口縁か、口縁部：2押、胴部：多色(0)	ミダキ	[21.7]	—	36.3	円筒下層c	前期後葉	織鉢含	
127	9	37住	覆土	深緑	深緑	深緑	—	—	—	—	太木式土か	前期土か		
128	1	38住	0	覆土	深緑	底部	胴部：単線1A(0)、底面：ミダキ	ミダキ	—	15.8	(16.6)	円筒下層d	前期末	織鉢・海綿音針含
130	1	39住	覆土	深緑	口縁～ 胴部下	嵌状口縁(0単位)、浅口、口唇：2推、口縁 部：1及押、管管状、胴部：結束2(0.R-0)	ミダキ	31.7	—	(41.3)	円筒下層d	前期末	織鉢・海綿音針含	
132	1	40住	0	覆土	深緑	口縁(文) ～胴部	1&横	ミダキ	[29.8]	—	(25.5)	円筒上層a	中期か	織鉢含
133	2	40住	0	覆土	深緑	口縁(文) ～胴部	1&横・斜	ミダキ	—	(24.5)	円筒上層a	中期か	織鉢含	
134	3	40住	土器内	深緑	胴～胴部下	染織(柳葉か)、胴部：1&横・縦、結回(0)	ミダキ	—	(36.9)	—	円筒下層d ～上層a1	前期末～ 中期初期	織鉢・海綿音針含	
134	4	40住	土器内	深緑	胴～底部	染織(柳葉)、2押、胴部：1&横、結回(0)	ミダキ	—	14.4	(34.1)	円筒下層d ～上層a1	前期末～ 中期初期	織鉢・海綿音針含、 結回1上、外面厚葉	
134	5	40住	0	覆土	深緑	胴部	染織(柳葉)の押、胴部：単線1(0)、結 回(0)縦、底面：ミダキ	ミダキ	—	14.3	(45.5)	円筒下層d ～上層a1	前期末～ 中期初期	織鉢・海綿音針含、 外面厚葉
134	6	40住	0	覆土	深緑	胴部上 ～底部	単線1(0)押、結回(0)縦、底面付テラ ツボ、底面：ミダキ	ミダキ	—	[13.4]	(11.3)	円筒下層d	前期末	織鉢織葉含
134	7	40住	0	覆土	深緑	胴部	不明(厚織)	—	—	(8.5)	不明	不明	不明	
134	8	40住	0	覆土	深緑	底部	不明(厚織)	—	—	12.4	(4.6)	不明	不明	
134	9	40住	覆土	深緑	口縁～胴部	口唇：2押、口縁～胴部：1&横	ミダキ	—	—	(14.7)	円筒下層d ～上層a1	前期末～ 中期初期	織鉢含	
134	10	40住	覆土	深緑	胴部	結回(0)押、1&横・2押、1&横、斜、結 回(0)縦	ミダキ	—	—	—	—	—	織鉢含	
134	11	40住	覆土	深緑	胴部	染織(単線1(0)押)、口縁部：1&多色(0) 押、単線1(0)押	ミダキ	—	—	(7.3)	円筒下層d ～上層a1	前期末	織鉢含	
138	1	41住	0	覆土	深緑	胴部	単線1A(0)	ミダキ	—	(25.3)	円筒下層d	前期末	織鉢・海綿音針含、 外面厚葉、胴部	
138	2	41住	0	覆土	深緑	胴部	単線1A(0)	ミダキ	—	(20.6)	円筒下層d	前期末	織鉢・海綿音針含、 外面厚葉、胴部	
138	3	41住	0	覆土	深緑	胴部	単線1A(0)	ミダキ	—	(13.6)	円筒下層d	前期末	織鉢含、外面厚葉	
138	4	41住	0	覆土	深緑	胴～胴部	柳葉か、胴部：1&横、1結回(0)縦	ミダキ	—	(22.5)	円筒下層d	前期末	織鉢・海綿音針含	
138	5	41住	0	覆土	深緑	胴～底部	単線1A(0)	ミダキ	—	12.7	(20.4)	円筒下層d	前期末	織鉢・海綿音針含
138	6	41住	0	覆土	深緑	口縁(文) ～胴部	口縁：単線1(0)押、柳葉、胴部：単線1A (0)	ミダキ	—	(28.6)	円筒下層d	前期末	織鉢・海綿音針含、 外面厚葉	
138	7	41住	覆土	深緑	口縁～底部	染織(0単位位)、染織(単線1(0)押)、口唇： 2押、口縁部：1&横、胴部：1&横、結回(0) 縦、胴部：1&横、斜、結回(0)縦、底面：ミダキ	ミダキ	28.5	12.3	35.2	円筒下層d ～上層a1	前期末～ 中期初期	織鉢・海綿音針含、 胴外上炭化物少量付着、 結回1上(0)西土直置	
139	8	41住	覆土	深緑	口縁～胴部	口唇：2推、口縁部：1&横、胴部：1&横、結回(0) 縦	ミダキ	22.6	—	(25.1)	円筒上層a	中期初頭～ 前期	織鉢含	
139	9	41住	覆土	緑	口縁～底部	口唇：2推、口縁～胴部：1&横、一部1& 横、底面：ミダキ	ミダキ	14.8	7.7	17.2	円筒下層d ～上層a1	前期末～ 中期初期	織鉢・海綿音針含、 外面厚葉	
140	1	42住	0	覆土	深緑	口縁～ 胴部下	口縁：1&横、胴部：1&横・斜・結束1(0.R- 0)縦、結回(0)縦	ミダキ	—	[23.6]	—	円筒下層d1	前期末	織鉢・海綿音針含、 外面厚葉
141	1	43住 埋	埋設土器	深緑	胴部	結束1(0.R-0)	ミダキ	—	—	(23.6)	円筒下層d ～上層a1	前期末	織鉢含、胴外上、胴内 下炭化物少量付着	
141	2	43住 埋	土器内	深緑	口縁～ 胴部下	結回(0)押、口縁部：1&横、胴部：1&横	ミダキ	22	—	(25.4)	円筒下層d ～上層a1	前期末～ 中期初期	織鉢含	
144	1	44住 埋	0	覆土	深緑	胴～ 底部	胴～底部：1&横・斜、結回(0)縦	不明 (厚織)	—	[20]	(21.4)	円筒下層d ～上層a1	前期末～ 中期初期	織鉢・海綿音針含、 外面厚葉
144	2	44住 埋	0	覆土	深緑	口縁(文) ～底部	染織(柳葉)、口縁部：2押、胴部：1&横・斜、 底面：ミダキ	ミダキ	—	18.5	(26.8) 底面 (17)	円筒下層d ～上層a1	前期末～ 中期初期	織鉢含、外面厚織、 上面土
144	3	44住 埋	0	覆土	深緑	胴～胴部下	染織(柳葉)、胴部：1&横、胴部：単線1A(0)	ミダキ	—	(27.5)	円筒下層d	前期末	織鉢含	
144	4	44住 埋	0	覆土	深緑	胴～底部	胴部：1&横、結回(0)縦、底面：ミダキ	ミダキ	—	15.9	(41.4)	円筒下層d ～上層a1	前期末～ 中期初期	織鉢含
144	5	44住 埋	埋設土器	深緑	胴部	1&横、結回(0)縦(0)	ミダキ	—	—	(13.6)	—	円筒下層d1	前期末	織鉢・海綿音針含
144	6	44住 埋	埋設土器	深緑	胴部	1&横・斜	ミダキ	—	—	(22)	円筒下層d ～上層a1	前期末～ 中期後葉	144-7同、か、海綿 音針織葉含	
144	7	44住 埋	埋設土器	深緑	底部	底面：ミダキ	ミダキ	—	11.5	(1.5)	円筒下層d ～上層a1	前期末～ 中期後葉	144-6同、か、	
147	1	48住 埋	埋設土器	深緑	口縁～底部	単線1A(0.L-0)、底面：ミダキ	ミダキ	—	11.3	(24.1)	円筒下層d	前期末	織鉢・海綿音針含、 外面厚葉	
147	2	48住	覆土	深緑	口縁～ 胴部下	口縁部：1&横、口縁：結束1 (0.R-0)縦、底面：ミダキ	ミダキ	24	12.7	35.9	円筒下層d1	前期末	織鉢・海綿音針含、 胴外上炭化物少量付着	
147	3	48住 ビッド1 掘	覆土	深緑	口縁～底部	口唇：1&横・(厚織)口縁部：1&横、胴部： 単線1A(0.L-0)、底面：ミダキ	ミダキ	26.6	13.5	25.9	円筒下層d1	前期末		

竪穴住居跡出土石器観察表

図 番 号	遺構名	層位	器 種	分類基準	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石 質	備 考
12	4	2F	礫土	スクレイパー類	両面一側縁調整	45.5	30.6	12.5	13.3	珩質頁岩
12	5	2F	礫土	機形石器		23.9	26.4	11.5	7.9	玉髄質頁岩質
12	6	2F	礫土	磨製石斧	小形石斧	57	19	16	32.5	緑色頁岩
12	7	2F	礫土下位	半円状扁平打製石器		140	72	30	464.3	安山岩
12	8	2F	礫土下位	磨石		174	78	43	1041.6	安山岩
12	9	2F	床面上	白石		236	180	105	7020.0	安山岩
16	4	5F	礫土	スクレイパー類	両面一側縁(波場)調整	30.8	40.9	11.4	9.3	珩質頁岩
16	5	5F	礫土	礫石		197	89	48	278.7	凝灰岩
17	2	6F	礫土	石鏝	有葉回基	47.5	17.6	7.4	4.4	珩質頁岩
17	3	6F	礫土	スクレイパー類	両面一側縁調整(交互)	29.1	23.2	6.5	5.0	珩質頁岩
17	4	6F	床面上	磨石		142	95	46	850.2	安山岩
17	5	6F	礫土	磨石		172	74	43	756.0	安山岩
25	33	7F	1	石鏝	無葉回基	22.8	15.2	3.5	1.0	珩質頁岩
25	34	7F	2	石鏝	無葉回基	29.2	18	5.8	2.0	珩質頁岩
25	35	7F	2	石鏝	無葉回基小平基	28.9	10.2	2.6	0.8	頁岩
25	36	7F	1	石鏝	有葉平基	49	15.3	3.9	2.3	珩質頁岩
25	37	7F	1	石鏝	有葉平基	46.1	17.4	7.3	4.5	珩質頁岩
25	38	7F	1	石鏝	有葉平基	46.7	17.8	5.3	3.5	珩質頁岩
25	39	7F	カクラン	石鏝	有葉凸基	27.4	12.9	7	2.1	珩質頁岩
25	40	7F	1	石鏝	有葉凸基	36.4	17.2	6	2.9	珩質頁岩
25	41	7F	1	石鏝	有葉凸基	47.2	15.1	7.1	4.5	珩質頁岩
25	42	7F	1	石鏝	扇形石鏝	69	26.5	5.5	10.4	珩質頁岩
25	43	7F	礫土	石鏝	斜縁形石鏝	45.7	39.8	8	21.3	珩質頁岩
26	44	7F	2	スクレイパー類	両面調整	31.2	16.5	6.2	3.1	珩質頁岩
26	45	7F	礫土	スクレイパー類	背面両縁調整	34.1	22.3	11.2	7.4	珩質頁岩
26	46	7F	礫土	スクレイパー類	背面一側縁調整	38.5	25.3	6.8	5.6	珩質頁岩
26	47	7F	2	スクレイパー類	背面一側縁調整	69.2	34.1	9.2	25.5	珩質頁岩
26	48	7F	風割木	スクレイパー類	両面調整	88	40.9	18.8	58.0	珩質頁岩
26	49	7F	2	石鏝	扇形	51.1	33.6	11.6	18.6	玉髄質頁岩質
26	50	7F	2	機形石器		26.6	29	6.8	6.0	珩質頁岩
26	51	7F	3	石鏝	石鏝軸用型	32.4	13.5	7.7	3.4	珩質頁岩
26	52	7F	1	打製石斧		49	34	18	37.9	花崗閃緑岩
26	53	7F	2	磨製石斧	磨切石斧、小形石鏝	86	18.5	13	36.4	緑色頁岩
26	54	7F	2	礫石		119	56	31	230.4	凝灰岩
26	55	7F	2	磨石		92	38	26	119.9	安山岩
26	56	7F	2	磨石		115	80	41	569.0	安山岩
26	57	7F	磨製面	半円状扁平打製石器		82	60	27	199.9	凝灰岩
27	58	7F	礫土	半円状扁平打製石器		103	69	30	255.0	凝灰岩
33	24	8F	礫土	石鏝	有葉凸基	34.4	13	7.5	2.2	珩質頁岩
33	25	8F	礫土	石鏝	無葉凸基	53.5	15.2	9.4	5.1	珩質頁岩
33	26	8F	礫土	石鏝		68.3	19.9	11.8	14.4	珩質頁岩
33	27	8F	礫土	石鏝		72	21	9.4	14.2	礫石
33	28	8F	礫土	石鏝	斜縁形石鏝	27.4	42.2	9	8.7	珩質頁岩
33	29	8F	礫土	機形石鏝か		25.9	28.3	13.7	11.6	珩質頁岩
34	30	8F	礫土	石鏝		43.2	20.2	8	5.2	珩質頁岩
34	31	8F	礫土	石鏝		43.3	24.6	10.7	11.0	珩質頁岩
34	32	8F	床面上	打製石斧		75	36	15	46.3	安山岩
34	33	8F	礫土	磨製石斧		124.5	52.5	28.5	330.0	閃緑岩
34	34	8F	床面上	礫石		63	60	54	228.1	凝灰岩
34	35	8F	礫土	礫石		78	59	46	275.9	チャート
34	36	8F	礫土	礫石		65	60	21	96.1	安山岩
34	37	8F	礫土	磨石		94	44	58	346.0	安山岩
34	38	8F	礫土	磨石		98	69	36	353.6	安山岩
34	39	8F	礫土	磨石		100	70	50	311.8	凝灰岩
34	40	8F	礫土	礫石		89	71	36	182.0	中粒砂岩
34	41	8F	礫土	石鏝		85	77	104	96.5	凝灰岩
34	42	8F	床面	石鏝		89	62	26	207.1	チャート
36	11	9F	礫土	石鏝	無葉凸基	28.1	15	4.5	1.8	珩質頁岩
36	12	9F	礫土	石鏝	有葉凸基	33	16.3	5.5	2.7	緑色粗面凝灰岩
36	13	9F	礫土	石鏝	有葉凸基	43	12.7	5.4	3.0	珩質頁岩
36	14	9F	礫土	石鏝		38.2	34	15.8	26.8	珩質頁岩
36	15	9F	礫土	スクレイパー類	両面一側縁調整	52.3	56.2	20.7	41.9	珩質頁岩
37	16	9F	礫土	石鏝	扇形	77.7	38	10.4	29.5	珩質頁岩
37	17	9F	礫土	礫石		104	100	43	560.7	安山岩
37	18	9F	礫土	磨石		113	63	52	501.3	安山岩
37	19	9F	礫土	磨石		132	82	42	504.9	安山岩
40	6	10F	礫土上位	石鏝		30.9	24.2	9.1	4.9	珩質頁岩
40	7	10F	礫土上位	石鏝		39	27	15.9	7.6	珩質頁岩
41	8	10F	礫土	磨製石斧		65	34.5	13	46.1	凝灰岩
41	9	10F	礫土上位	礫石		119	45	30	204.8	安山岩
41	10	10F	礫土上位	磨石		114	61	59	493.8	安山岩
41	11	10F	3	半円状扁平打製石器		137	70	22	317.5	安山岩
41	12	10F	礫土	半円状扁平打製石器		172	72	31	505.8	安山岩
41	13	10F	礫土	半円状扁平打製石器		155	79	28	453.6	安山岩
41	14	10F	礫土上位	石鏝		94	78	37	273.5	凝灰岩
41	15	10F	2	礫石		64	58	32	68.5	細粒凝灰岩
47	12	11F	礫土	石鏝	無葉凸基	45.9	16.9	10.7	8.0	珩質頁岩
47	13	11F	礫土	石鏝	有葉凸基	46.9	13.2	6.2	3.6	珩質頁岩

図 番	遺物名	層位	部 種	分類基準	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石 質	備 考	
47	14	11住	4	石鏡	楕形石鏡	43.9	20.4	5	4.6	珪質頁岩	
47	15	11住	1	石鏡	楕形石鏡	61.8	20.4	5.3	7.3	珪質頁岩	松原形
47	16	11住	層土	スクレイパー類	両面一側縁調整	36.6	40.1	8.4	10.5	珪質頁岩	
47	17	11住	床面直上	石鏡		29.1	42.3	38.4	52.5	珪質頁岩	
47	18	11住	層土	磨製石斧		11.2	66	31.5	301.7	閃緑岩	
47	19	11住	4	磨製石斧		95	52	37	290.0	閃緑岩	
47	20	11住	層土	磨製石斧		68	35	179.8	179.8	閃緑岩	
47	21	11住	7	鏡石		92	60	52.5	348.8	安山岩	
47	22	11住	7	鏡石		74	54	55	266.9	安山岩	
47	23	11住	7	鏡石		65	43	37	139.1	安山岩	
47	24	11住	土	床面	鏡石	124	100	96	645.0	安山岩	
48	25	11住	層土	磨石		94	85	58	433.2	安山岩	
48	26	11住	層土	半円状扁平打製石器		108	43	22	127.4	安山岩	
48	27	11住	7	磨石		129	83	36	600.1	安山岩	
48	28	11住	床面直上	半円状扁平打製石器		149	69	29	400.2	安山岩	
48	29	11住	層土	半円状扁平打製石器		180	79	38	576.7	凝灰岩	
49	5	12住	層土	磨製石斧		90	53	38	274.6	花崗閃緑岩	
49	6	12住	層土	磨製石斧		74	24	13	33.2	緑色岩	
49	7	12住	層土	磨製石斧		58	43	12	47.1	粘板岩	
49	8	12住	床面	砥石		141	73	46	522.4	中粒砂岩	
51	3	14住	トレンチ	石鏡	有葉凸基	38.4	16.9	7.6	4.5	珪質頁岩	
60	28	15住	ビツト内	石鏡	有葉凸基	52.8	15.8	4.9	3.6	珪質頁岩	
60	29	15住	2	石鏡	短型	78.5	41.5	21.1	68.0	珪質頁岩	円月
60	30	15住	土	層土	スクレイパー類	52	28.5	6.2	9.6	玉髓	
60	31	15住	床面	鏡石		121	73	42	298.6	凝灰岩	
60	32	15住	床面	鏡石		85	64	44	317.6	頁岩	
60	33	15住	層土	狭人扁平磨製石器		89	73.5	28	262.4	凝灰岩	
60	34	15住	層土	台石		176	154	93	2809.4	凝灰岩	
65	17	16住	2	石鏡	無葉凸基	23	17.1	4.5	1.6	珪質頁岩	
65	18	16住	4	石鏡	無葉凸基	40.5	18.1	5.2	3.7	珪質頁岩	
65	19	16住	2	石鏡	無葉凸基	58.9	11.6	3.5	2.3	珪質頁岩	基部再調整 鎌形(前身)
65	20	16住	2b	石鏡	無葉凸基	49.2	18.1	5.3	4.2	珪質頁岩	洗砂形
65	21	16住	1	石鏡	無葉凸基	29.4	14.1	2.9	1.2	珪質頁岩	
65	22	16住	2b	石鏡	有葉凸基	34.2	16.1	4.8	2.2	珪質頁岩	
65	23	16住	2a	スクレイパー類	両面一側縁調整	54.7	28.6	11.1	15.7	珪質頁岩	
65	24	16住	2b	スクレイパー類	両面一側縁調整	62	41.4	12.1	26.7	珪質頁岩	
65	25	16住	層土	スクレイパー類	両面一側縁調整(両面)	45.8	33.7	13.6	14.5	珪質頁岩	
65	26	16住	2上段	スクレイパー類	両面一側縁調整(両面土床)	26.9	25.2	6.0	4.5	珪質頁岩	
65	27	16住	2c	鏡石		96	75	44	266.9	安山岩	
65	28	16住	層土	磨石		123	61	25	277.7	凝灰岩	
65	29	16住	床面直上	鏡石		83	63	49	245.1	安山岩	
65	30	16住	床面	鏡石		99	69	63	601.3	凝灰岩	
65	31	16住	2c	半円状扁平打製石器		106	44	23	126.0	デザート	
65	32	16住	3a	半円状扁平打製石器		122	64	38	322.4	安山岩	
65	33	16住	層土	半円状扁平打製石器		100	67	23	228.4	凝灰岩	
66	34	16住	層土	砥石		59	55	12	61.6	細粒砂岩	
66	35	16住	層土	台石		118	99	112	1333.7	凝灰岩	砥石か
69	6	20住	層土	石鏡	有葉凸基	30.3	13.9	8.6	2.9	珪質頁岩	厚型
69	7	20住	層土	磨製石斧		101	52	30	274.7	閃緑岩	
69	8	20住	層土	台石		185	157	75	2311.2	安山岩	
69	9	20住	土	層土	半円状扁平打製石器	126	69	33	347.3	安山岩	
80	85	21住	2下段	石鏡	無葉凸基	37.6	18.4	5.5	3.1	珪質頁岩	
80	86	21住	層土	石鏡	無葉凸基	36.0	19.7	5.4	2.3	珪質頁岩	
80	87	21住	2	石鏡	無葉凸基	19.8	13.2	3.8	1.0	珪質頁岩	
80	88	21住	1	石鏡	無葉凸基	21.7	11.9	3.6	1.0	玉髓	
80	89	21住	1	石鏡	無葉凸基	26.7	16.5	5.6	2.4	珪質頁岩	
80	90	21住	2	石鏡	有葉凸基	38.1	26.9	6.7	4.3	珪質頁岩	
80	91	21住	2下段	石鏡	有葉凸基	34.4	14.3	5	2.3	珪質頁岩	
80	92	21住	1	石鏡	無葉凸基	34.4	11.8	3.6	1.5	珪質頁岩	
80	93	21住	層土	石鏡	無葉凸基	32.1	14.8	5.0	1.7	珪質頁岩	
80	94	21住	トレンチ	石鏡	有葉凸基	50.7	13.8	5.2	3.1	珪質頁岩	再調整品か、基部異形
80	95	21住	層土	石鏡	有葉凸基	28.6	13.7	4.3	1.5	玉髓	
80	96	21住	1	石鏡	有葉凸基	37	15.1	4.3	2.2	珪質頁岩	
80	97	21住	2	石鏡	有葉凸基	47.8	15.1	7.7	4.2	珪質頁岩	基部にアスファルト付着か
80	98	21住	2	石鏡	有葉凸基	48.9	19.6	6.8	4.8	珪質頁岩	
80	99	21住	2	石鏡	有葉凸基	52	13.6	6.2	3.8	珪質頁岩	
80	100	21住	2下段	石鏡	有葉凸基	63.9	17.1	6.8	5.8	珪質頁岩	
80	101	21住	層土	石鏡	有葉凸基	44.7	17.4	5.1	2.9	珪質頁岩	
80	102	21住	1	石鏡		58.9	26.7	8.9	11.3	珪質頁岩	小型石鏡
80	103	21住	トレンチ	石鏡		53.1	23.1	8.2	9.6	珪質頁岩	小型石鏡
80	104	21住	1	石鏡		100.7	22.6	9.7	20.3	珪質頁岩	
80	105	21住	2	石鏡	楕形石鏡	87.5	24.5	11.7	24.3	珪質頁岩	
80	106	21住	1	石鏡	斜軸形石鏡	78.5	37.5	8.9	29.0	珪質頁岩	
80	107	21住	2	石鏡	楕形石鏡	54.2	29.1	10.9	23.4	珪質頁岩	
80	108	21住	2下段	石鏡	楕形石鏡	61.8	36.1	8.6	13.9	珪質頁岩	
80	109	21住	トレンチ	石鏡	楕形石鏡	80.1	31.2	10.6	25.8	珪質頁岩	両面側縁に欠状有り
81	110	21住	1	石鏡	楕形石鏡	50.4	26.1	8.1	8.0	珪質頁岩	
81	111	21住	2	石鏡	斜軸形石鏡	25.7	52.4	10.3	13.3	珪質頁岩	
81	112	21住	1	石鏡	楕形石鏡	20.1	41.8	9.7	8.8	珪質頁岩	

図	番号	遺構名	階位	部 種	分類基準	長さ (mm)	幅 (mm)	高さ (mm)	厚さ (mm)	質 質	備 考
81	113	21位	4	石焼	横形石焼	44.8	47.8	10.6	17.0	珪質頁岩	
81	114	21位	覆土	石焼	棒状(棒束形)	65.2	17.2	10.7	13.4	珪質頁岩	スタレイバー製の可能性有り
81	115	21位	1	石焼		41.8	16.2	8.3	4.6	珪質頁岩	
81	116	21位	2下位	石焼		27.7	9.2	5	1.7	玉髄質頁岩質頁岩	
81	117	21位	1	石焼		26.3	16.3	8.3	2.7	頁岩	
81	118	21位	トレンチ	石焼		48.1	24.1	7.5	8.3	珪質頁岩	
81	119	21位	1	横形石焼		39.7	39.5	12.3	13.5	珪質頁岩	
81	120	21位	カクラン	横形石焼		34.6	42.9	13.1	17.7	珪質頁岩	
81	121	21位	カクラン	スタレイバー製	背面側縁調整 背面側面調整	39.8	26.4	6.8	7.1	珪質頁岩	
81	122	21位	1	スタレイバー製	両側面片面調整(筋交)	66.8	41.4	15.3	45.7	珪質頁岩	
81	123	21位	カクラン	スタレイバー製	背面側縁調整	42.6	53.3	13.4	35.0	珪質頁岩	
81	124	21位	カクラン	スタレイバー製	両面側縁調整(筋交)	38.2	21.0	9.3	6.7	珪質頁岩	
81	125	21位	1	スタレイバー製	背面側縁調整	37.7	30.3	13.3	14.6	珪質頁岩	
81	126	21位	2	スタレイバー製	背面側縁調整	79.0	60.0	20.8	82.4	珪質頁岩	
81	127	21位	1	スタレイバー製	背面側縁調整	35.1	27.8	9.4	11.1	珪質頁岩	ラウンドスタレイバー
81	128	21位	2	スタレイバー製	背面側縁調整	22.6	26.0	4.4	2.1	珪質頁岩	
82	129	21位	1	スタレイバー製	背面側縁調整	42.8	18.4	6.5	5.6	珪質頁岩	
82	130	21位	2	スタレイバー製	背面側縁調整(遠端部)	28.6	17.1	7.8	3.7	玉髄質頁岩質頁岩	
82	131	21位	1	石焼		50.4	61.8	42.7	138.8	珪質頁岩	一部扉面崩壊
82	132	21位	1	打製石斧		74	57	16	70.3	粘板岩	接合
82	133	21位	覆土	磨製石斧		81	46	16	112.0	緑色岩	擦痕
82	134	21位	覆土	磨製石斧		81	33	27	72.3	緑色岩	擦痕砂粒
82	135	21位	1	磨製石斧		107	54	33	207.2	緑色岩	
82	136	21位	3-4	礫石		73	56	62	294.8	チャート	
82	137	21位	2	礫石		104	79	54	373.3	チャート	
82	138	21位	床面直上	礫石		99	51	35	273.3	チャート	
82	139	21位	1	礫石		120	48	34	329.4	流紋岩	
82	140	21位	2	礫石		96	84.5	29	325.2	チャート	
83	141	21位	覆土	礫石		66	40	22	67.0	凝灰岩	
83	142	21位	2下位	礫石		130	69	39	355.0	凝灰岩	
83	143	21位	1	珪石		123	62	39	372.5	安山岩	
83	144	21位	2下位	珪石		68	57.5	28.5	181.5	凝灰岩	
83	145	21位	2下位	珪石		107	57	60.8	533.2	安山岩	
83	146	21位	1	珪石		96	78	55	387.3	安山岩	
83	147	21位	2下位	珪石		74	50	32	151.9	凝灰岩	
83	148	21位	1	珪石		101	63	44	340.8	安山岩	
83	149	21位	4	珪石		114	64	38	322.5	安山岩	
83	150	21位	床面直上	磨石		106	59	53	492.4	チャート	使用痕跡著
83	151	21位	1	磨石		100	80	48	575.8	安山岩	
84	152	21位	2	磨石		123	69	44	577.8	花崗閃緑岩	
84	153	21位	2	磨石		118	80	51	640.5	花崗閃緑岩	
84	154	21位	トレンチ	半円状扁平打製石器		138	74	35	480.5	安山岩	
84	155	21位	床面直上	半円状扁平打製石器		118	91	35	556.7	凝灰岩	
84	156	21位	2下位	半円状扁平打製石器		180	70	18	304.7	凝灰岩	
84	157	21位	2	楔り切り具		110	98	2	81.0	安山岩	本製品か
84	158	21位	床面	挿入扁平磨製石器		110	67	20	194.2	凝灰岩	
84	159	21位	2	鏡面器		84	62	14	47.6	頁岩	
85	160	21位	1	石焼		103	92	68	944.9	安山岩	
85	161	21位	カクラン	柱状器座		343	50	47	958.2	流紋岩	
98	29	22位	2	石焼	有葉六基	44	13.7	7.3	3.3	珪質頁岩	
98	29	22位	覆土	石焼	有葉六基	37.8	19.0	6.7	3.5	玉髄	
98	30	22位	2	石焼		49.0	35.3	12.3	13.3	珪質頁岩	スタレイバーの可能性有り
98	31	22位	2	石焼		21.3	10.7	7.6	1.5	玉髄	
98	32	22位	2	石焼	横形分角刺形	29.5	44.2	9.2	11.5	珪質頁岩	
98	33	22位	2	石焼	横形石焼	48.1	59.2	7	15.3	珪質頁岩	背面縁切に刀痕調整,光沢
99	34	22位	覆土	磨製石斧		30.4	36.0	8.3	8.4	珪質頁岩	
99	35	22位	2	スタレイバー製	背面側縁調整	48.9	23.4	5.7	6.6	珪質頁岩	
99	36	22位	2	磨製石斧		62	46	14	78.7	粘板岩	
99	37	22位	1	磨製石斧		76	52	32	198.7	凝灰岩	
99	38	22位	2	礫石		104	59.5	32	273.0	チャート	
99	39	22位	2	礫石		97	70	35	341.2	チャート	
99	40	22位	2	礫石		179	57	50	795.3	流紋岩	
99	41	22位	床面	礫石		79	69	53	350.5	安山岩	
99	42	22位	床面	半円状扁平打製石器		89	88	27	324.5	安山岩	
99	43	22位	床面	半円状扁平打製石器		104	80	33	322.3	安山岩	
99	44	22位	2	半円状扁平打製石器		122	76	46	444.9	凝灰岩	
99	45	22位	1	鏡面器		87	59	24	139.5	頁岩	
100	46	22位	覆土	礫石		71	71	13	54.4	細粒砂岩	
104	42	23位	1	石焼	無葉平基	43.1	15.6	5	3.4	珪質頁岩	
104	43	23位	1	石焼	無葉平基	37	16.1	3.9	2.3	珪質頁岩	
104	44	23位	2	石焼	有葉六基	38.2	17.2	3.9	1.9	珪質頁岩	
104	45	23位	2	石焼	有葉六基	44.8	17.1	5.6	2.2	玉髄	
104	46	23位	2	石焼		38.2	24.7	11.9	8.6	珪質頁岩	つまみ付
104	47	23位	2	石焼	縦形石焼	56.8	21.6	10.7	13.9	珪質頁岩	
104	48	23位	2	石焼	横形石焼	46.1	60.1	17.2	30.8	珪質頁岩	
104	49	23位	2	石焼	短形器	79.3	37	13.7	44.8	珪質頁岩	ラウンドスタレイバー
104	50	23位	床面直上	スタレイバー製	背面側縁調整	42.2	29.7	11.3	12.2	珪質頁岩	
104	51	23位	1	スタレイバー製	両側面片面調整(筋交)	60.3	37.7	11.4	20.5	頁岩	背面は角丸調整

図	番号	遺構名	層位	部 種	分類基準	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	高さ (g)	石 質	備 考	
	105	52	23E ビロ	覆土	スクレイパー層	背面両側縁調整	28.1	57.0	13.5	21.1	珪質頁岩	
	105	53	23E	覆土	スクレイパー層	背面一側縁調整(左端部)	27.5	58.5	9.7	12.0	珪質頁岩	石質の可能性有り
	105	54	23E	2	スクレイパー層	背面両側縁調整	34.6	44.6	10.2	15.6	珪質頁岩	裏面に欠状
	105	55	23E	2	スクレイパー層	背面両側縁調整	65	43.9	15.3	44.5	珪質頁岩	
	105	56	23E	2	スクレイパー層	背面一側縁調整	80.9	23	9.3	11.9	珪質頁岩	スボールの可能性有り
	105	57	23E	1	スボール		13.9	70.2	18.1	14.5	珪質頁岩	細石片石積層遺物資料, 58b
	105	58	23E	3	磨製石片		134	53	17	202.2	粘板岩	
	105	59	23E	3	磨製石片	磨切石片	78	51	28	155.5	緑色岩	
	105	60	23E	2	磨製石片	小礫石片	62	15.5	8	16.3	粘板岩	
	105	61	23E ビロ	覆土	礫石		71	46	46	157.9	チャート	
	105	62	23E	床面直上	礫石		81	60	48	287.5	チャート	
	105	63	23E	1	礫石		115	81	49	546.6	安山岩	
	105	64	23E	床面	磨石		137	63	39	449.5	安山岩	
	106	65	23E		珪石		117	86	49	528.1	安山岩	
	106	66	23E	床面	珪石		85	70	40	259.9	安山岩	
	106	67	23E	2	台石		109	78	48	618.6	安山岩	
	108	4	24E	床面	半円状扁平打製石器		107	80	32	399.1	安山岩	
	108	5	24E	2	磨石		92	90	39	502.1	安山岩	
	110	12	25E	覆土	スクレイパー層	背面両側縁調整	34.0	26.5	7.8	5.5	珪質頁岩	
	110	13	25E	1	半円状扁平打製石器		119	79	17	275.2	安山岩	
	112	3	26E	覆土	石塊	無家平底	28.4	18.6	4.4	2.0	珪質頁岩	
	112	4	26E	覆土	スクレイパー層	両面両側縁調整	36.5	22.7	7.7	5.8	珪質頁岩	表面のみ
	112	5	26E	覆土	磨製石器		25.5	32.8	9.4	8.4	珪質頁岩	
	112	6	26E	覆土	礫石		107	72	18	212.1	凝灰岩	
	116	7	28E ビロ	上部	石塊	有家凸(平)基	30.1	13.4	5.2	1.5	玉髄	
	116	8	28E	1	石塊	縦形石塊	54.9	27	7	11.4	珪質頁岩	砂彫形
	116	9	28E	覆土	珪石		92	67	41	333.0	安山岩	
	116	10	28E	床面	磨石		89	75	33	311.4	閃緑岩	
	116	14	28-29E	覆土	割片		35.9	28.9	15.3	8.3	珪質頁岩	細石片石積層遺物資料, 58c
	116	15	29E	覆土	石塊		62	53	20	119.8	安山岩	
	118	1	32E	覆土	石塊	有家凸基?平底	34.7	14.5	6.8	2.5	珪質頁岩	アスファルト付着
	120	1	34E	床面	石塊	有家凸基	32.2	17.5	6.5	3.0	玉髄	
	123	9	35E	覆土	石塊	無家凸基(平底)	31.6	16.6	5.5	2.7	珪質頁岩	無家凸基を再調整
	123	10	35E	覆土	石塊	無家凸基	40.9	14.9	5.0	2.8	珪質頁岩	
	123	11	35E	1	石塊	有家凸基	33.2	14.4	4.5	1.5	珪質頁岩	
	123	12	35E	覆土	石塊	縦形石塊	71.9	31.9	12.3	14.9	珪質頁岩	
	123	13	35E	1	石塊	縦形石塊	28.3	57.5	9.7	10.3	珪質頁岩	裏面一部に欠状有り
	123	14	35E	覆土	石塊	縦形石塊	44.3	50.1	10.5	18.6	珪質頁岩	裏面一部に欠状有り
	123	15	35E	1	石塊	斜輪形石塊	43.7	56.0	10.2	20.5	珪質頁岩	
	123	16	35E	覆土	スクレイパー層	片面両側縁調整(絶交)	16.2	23.2	5.4	2.2	珪質頁岩	
	123	17	35E	1	スクレイパー層	背面両側縁調整	36.6	33.2	12.0	13.7	珪質頁岩	
	123	18	35E	1	スクレイパー層	背面両側縁調整	50.3	33.6	14.7	20.7	珪質頁岩	
	123	19	35E	1	スクレイパー層	両面両側縁調整	51.1	57.8	18.7	59.8	珪質頁岩	
	123	20	35E	覆土	スクレイパー層	背面両側縁調整	78.4	35.6	13.7	40.9	珪質頁岩	
	123	21	35E	1	半円状扁平打製石器		140	60	225	250.1	凝灰岩	
	123	22	35E	覆土	磨石		66	57	53	169.5	安山岩	
	127	10	37E	1	石塊	縦形石塊	34.5	32.2	8.6	8.8	珪質頁岩	
	127	11	37E	4	石塊	縦形石塊	48.6	36.4	7.1	10.4	珪質頁岩	異形か
	127	12	37E	覆土	スクレイパー層	背面両側縁調整	57.0	28.0	18.7	23.7	珪質頁岩	
	127	13	37E	1	磨製石片		94	52	30	219.4	安山岩	
	127	14	37E	覆土	珪石		94	60	43	281.0	安山岩	
	135	12	40E	覆土	石塊か		20.8	15.3	6.2	2.4	珪質頁岩	スクレイパーの可能性有り
	135	13	40E	貼床	石塊	有家凸基	32.3	14.6	5.2	2.1	珪質頁岩	
	135	14	40E	覆土	石塊	無家凸基	37.2	14.8	10.6	5.3	珪質頁岩	
	135	15	40E	覆土	石塊		45.6	46.1	46.7	101.0	珪質頁岩	
	135	16	40E	縦断面	磨製石片		81	50	38	239.5	花崗閃緑岩	
	135	17	40E	覆土	磨製石片		77	51	34	172.9	花崗閃緑岩	
	135	18	40E ビロ	縦断面	半円状扁平打製石器		139	80	35	586.2	安山岩	
	135	19	40E	床面	台石		162	156	40	1495.1	安山岩	
	135	20	40E	床面	台石		179	139	86	3399.5	安山岩	
	139	10	41E	5	石塊	有家凸基	39.6	15.0	8.1	3.9	玉髄質珪質頁岩	
	139	11	41E	覆土	石塊	有家凸基	36.2	15.7	6.0	2.8	珪質頁岩	
	139	12	41E	覆土	石塊	無家平底か	25.3	9.5	3.7	1.0	珪質頁岩	
	139	13	41E	5	石塊か		61.8	25.9	10.6	13.9	珪質頁岩	
	139	14	41E	覆土	スクレイパー層	両面両側縁調整	37.5	20.7	9.2	7.3	珪質頁岩	
	139	15	41E	床面直上	磨製石片		116	50	19	174.5	花崗閃緑岩	石質の可能性有り
	139	16	41E	床面直上	礫石		80	58	44	266.8	チャート	
	139	17	41E ビロ	覆土	珪石		95	84	57	413.8	安山岩	
	139	18	41E	覆土	半円状扁平打製石器		110	60	26	234.5	安山岩	
	139	19	41E	床面直上	半円状扁平打製石器		136	79	28	368.4	安山岩	
	140	2	42E ビロ	覆土	スクレイパー層		47.0	25.0	7.4	6.7	珪質頁岩	
	140	3	42E	床面直上	台石		160	95	36	851.0	安山岩	
	147	4	48E	覆土	台石		120	113	74	1183.0	凝灰岩	

竪穴住居跡出土ミニチュア土器観察表

図 番 号	遺構名	器種	口径 (mm)	底径 (mm)	器高 (mm)	裏さ (g)	外観文様			備 考		
							口縁部	胴部上半	胴部下半			
27	59	7住	脚付		23	(28)	14.8			無文		
27	60	7住	脚付		42	(36)	34.1			無文		
27	61	7住	脚付か			(41)	15.5			単筋1A(L-R)		
27	62	7住	脚付	53	30	51	53.4	無文	無文	無文		
27	63	7住	脚付		[44]	(55)	33.2			無文		
27	64	7住	脚付		48	(61)	66.3		皿斜	皿斜		
27	65	7住	脚付			(64)	84.9			結東(皿、L)		
27	66	7住	脚付	100	60	89	143.4	単筋1(R)	単筋1(R)	単筋1(R)		
27	20	9住	脚付			(42)	32.5			沈線		
37	21	9住	深鉢		43	(60)	67.3		皿L	皿L	内面に炭化物付着	
37	22	9住 壺蓋	深鉢		40	(80)	82.7		皿	皿		
60	35	15住	鉢		長軸(20) 短軸(28)		32	21	無文	無文	無文	
60	36	15住	深鉢			(45)	9.1	L斜	L斜	L斜		
60	37	15住	深鉢			(33)	8.7	L斜				
60	38	15住	深鉢			(43)	15.2		L皿	L皿		
66	36	16住	鉢			29	8.4	単筋1(R)	単筋1(R)	単筋1(R)		
66	37	16住	鉢			(27)	6.6	L押				
66	38	16住	脚付		[54]	(32)	51.7			単筋1A(L)		
66	39	16住	脚付			(54)	26		皿	皿		
66	40	16住	脚付	40	30	61	57.9	無文	無文	無文	成形時の調整痕が明確に残る	
85	162	21住	深鉢	80	61	100	229.6	L押	単筋1A(L)	単筋1A(L)	織部・海綿骨針含	
85	163	21住	脚付	-	71	104	301.5	竹管刺突	L横・斜	L横・斜	織部・海綿骨針含	
85	164	21住	脚付	100	-	77	223.8	刺突	L横	L横	織部・海綿骨針含	
85	165	21住	脚付	[110]	59	[56]	99.8	口唇・刺突	無文	無文		
85	166	21住	深鉢			(84)	57.8	皿	結東(皿)			
85	167	21住	深鉢			(42)	19.3	単筋5(L)押	単筋6(L)	単筋6(L)		
85	168	21住	深鉢か			(28)	6.2	口唇部・別み	沈線			
85	169	21住	深鉢か			(28)	4.2	無文	無文			
85	170	21住	深鉢か			(23)	2.7	無文	無文			
85	171	21住	深鉢			(43)	10.4		沈線			
86	172	21住	深鉢		38	(35)	20.5			沈線		
86	173	21住	脚付		30	(28)	19.2			沈線		
86	174	21住	脚付		[40]	(32)	55.1			単筋(R)		
86	175	21住	鉢か		[39]	(11)	5.6			刺突		
100	47	22住	深鉢か			(36)	8.7	無文	無文			
100	48	22住	脚付	88	33	58	119.6	無文	無文	無文		
100	68	23住	脚付	[50]	[32]	61	33	無文	無文	無文		
106	69	23住	深鉢			(47)	32.7		L押	L押		
106	70	23住	深鉢			(36.5)	7.3	無文	無文			
106	71	22-23住	深鉢			(42)	17.2	無文	無文			
106	72	23住	深鉢		[34]	(29)	12.9			沈線		
127	15	37住	深鉢か			(41)	20.7			沈線・結東(R)		

竪穴住居跡出土土製品観察表

図 番号	遺構名	層位	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	文 様		種 類	備 考
							表面	裏面		
12	10	2住	襷土	38	37	16	12.1	LR押, 刺突	土偶 (胴部)	
27	67	7住	襷土上位	26.5	27	12	9.9	無文	土器片利用片蓋	
27	68	7住		44	39	7	10.8	無文	有孔土製品 (土製香炉)	
27	69	7住	襷土上位	52	36	30	26.8	無文	輝石土製品	調整時の指ナゲが有り
37	23	9住	襷土	41	38	8	14.1	沈線	土器片利用土製品	
41	16	10住	3	72	59	9	42.1	単筋1(L)	土器片利用土製品	
66	41	16住	2b	43	42.5	12	22.3	単筋1(O)	土器片利用片蓋	
66	42	16住	2a	54	51	12	24.7	単筋1(O)	土器片利用土製品	
86	176	21住	1	24	22	10	4.6	単筋1(O)	土器片利用片蓋	
86	177	21住	2下位	37	33	10	11.4	単筋1A(Lか+R)	土器片利用片蓋	
86	178	21住		49	46	11	22.8	結回線	土器片利用片蓋	
86	179	21住	2	(O1)	(24)	15	8.8	皿か	土器片利用片蓋か	
86	180	21住	2下位	51	48	12	31.5	単筋1A(R-L)	土器片利用片蓋	
86	181	21住	2	34	31	12	13.8	結回線	土器片利用片蓋	
86	182	21住	2	31.5	31	10	11.6	単筋1か	土器片利用片蓋	
86	183	21住	2下位	30	29	9	7.5	結束1か	土器片利用片蓋	
86	184	21住	2下位	33	27	10	9.0	単筋1A(R-L)	土器片利用片蓋	盲孔有り
86	185	21住		34	32	8	7.5	多輪(L)	土器片利用片蓋	
86	186	21住	1	27	24	13	8.4	単筋1A(O)	土器片利用片蓋	
86	187	21住	2	32	32	11	9.2	単筋1(O)	土器片利用片蓋	
86	188	21住	2	40	35	10.5	13.4	単筋1(O)	土器片利用片蓋	
86	189	21住	2下位	(61)	(46)	11	24.6	結回線か	土器片利用片蓋	
86	190	21住	2	61	49	12	30.7	結束1(LR+R)	土器片利用土製品	
86	191	21住	1	(44)	16	9	6.8	1押	磨状土製品	
86	192	21住	1	(28)	16	14	5.8	無文	不明土製品	
86	193	21住	2	54	49	7	20.8	無文	無文	円盤状土製品か 調整時の指ナゲが磨着に残る
86	194	21住	2	54	26	20	13.3	無文	無文	不明土製品
100	49	22住	2	(40)	(26)	10	8.9	結束1(LR+R)	土器片利用片蓋	
100	50	22住	襷土	54	40	12	28.1	結束1(LR+R)か	土器片利用土製品	
100	51	22住	襷土	(49)	(21)	14	12.5	結回線	土器片利用土製品	
100	52	22住	2	34	33	11	9.8	皿か	土器片利用土製品	
100	53	22住	2-4	58	33	14	27.4	皿	土器片利用土製品	斧状土製品の可能性有り

竪穴住居跡出土石製品観察表

図 番号	遺構名	層位	器種	分類	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石 質	備 考	
27	70	7住	襷土	軽石製品	58	29	26	14.4	軽石		
48	30	11住	床面直上	石製品	45	44	27	10.2	軽石		
60	39	15住	襷土	石製品	53	50	28	21.6	軽石	軽石製香炉品	
60	40	15住 ピット-1	襷土	石製品	36	54	40	17.9	軽石		
86	195	21住	襷土	石製品	有孔石製品(香炉)	65	43	16	39.3	炭酸岩	勾玉様
87	196	21住	襷土	石製品	軽石製品	69	54	39	35.9	軽石	
87	197	21住	襷土	石製品	軽石製品	100	71	46	128.6	軽石	
87	198	21住	襷土	石棒	(148)	(92)	77	1061.6	凝灰岩		
100	54	22住	襷土	石製品	軽石製品	46	27	17	4.4	軽石	軽石製香炉品, 勾玉様
106	73	20住	1	石棒	(374)	133	75	5740.0	火山岩		
123	23	35住	襷土	石棒	(82)	(48)	56	193.1	凝灰岩		
147	5	40住	1	石棒	(182)	(106)	79	1984.6	凝灰岩		

土坑出土土器観察表

図 番 号	遺構名	層位	器種	部位	外面文様・調整	内面調整	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	型式名	時期	備考		
199	2	14土	甌土	鉢	口縁~底部	口縁:1段縁,口縁~胴部:結束2段(1段)横,底面:ミガキ	ミガキ	15	7.7	19.5	円筒下層d1	前期末	織跡・海澄骨針合,胴内下炭化物少量付着	
199	3	14土	甌土	鉢	口縁	段状口縁,底面:ミガキ	ミガキ	—	—	14.0	円筒下層c	後期前葉		
199	4	14土	甌土	鉢	口縁~胴上	折沿,口縁,底面:ミガキ	ミガキ	—	(7.9)	円筒内1	後期前葉			
199	5	14土	甌土	深鉢	口縁~胴上	折沿,口縁,底面:ミガキ	ミガキ	[20]	—	円筒内1	後期前葉			
199	8	19土	底面甌土	深鉢	口縁~胴上	段状口縁(4単位),口縁部:1段縁,胴部:結束2段(1段)横	ミガキ	—	—	(11.4)	円筒下層d1	前期末	図199-9同一直縁織跡・海澄骨針合	
199	9	19土	底面甌土	深鉢	胴~底部	折沿(1段)縁,胴部:結束付ナゲ	ミガキ	—	(31.6)	円筒下層d1	前期末	図199-9同一直縁織跡・海澄骨針合		
200	13	20土	甌土	深鉢	口縁~胴部	口唇:1段縁,口唇~胴部:結束2段(1段)横,胴部:結束1段(1段)横	ミガキ	[21, 22]	—	(23.1)	円筒下層d2	前期末	織跡・海澄骨針合	
201	16	23土	1	深鉢	口縁~底部	段状口縁(4単位),口唇:1段縁,口唇部:1段縁,胴部:結束1段(1段)横	ミガキ	23.5	12	36.2	円筒下層c~d1	前期末	織跡,外面胴部に至るまで直縁,胴外下・胴内上炭化物少量付着	
201	17	23土	甌土	深鉢	口縁~底部	段状口縁(4単位),口唇:1段縁,口唇部:1段縁,胴部:結束1段(1段)横	ミガキ	25.8	15.8	29.9	円筒下層d1	前期末	織跡・海澄骨針合,胴外上炭化物少量付着	
201	21	25土	甌土	深鉢	口縁(欠)~底部	折沿か,口縁部:胴部:1段縁・斜	ミガキ	—	7.2	(17.3)	円筒下層d2~上層a	前期末	織跡	
202	25	26土	底面	深鉢	口縁~底部	段状口縁(4単位),口唇部:1段縁,胴部:結束1段(1段)横	ミガキ(厚紙)	16.1	11.1	31	円筒下層c	前期後葉	織跡合,外面炭化物付着,胴内下炭化物少量付着	
202	26	26土	底面	深鉢	胴~底部	結束1段(1段)縁,底面ナゲ	ナゲ	—	9.2	(15.9)	円筒下層c	前期後葉		
202	27	26土	底面	深鉢	口縁~胴部	段状口縁か,口縁部:1段縁,胴部:1段縁	ナゲ	—	—	(18.4)	円筒下層c	前期後葉	織跡合	
202	28	26土	底面	鉢	口縁	段状口縁(4単位),口唇:1段縁か,口唇部:1段縁,胴部:結束1段(1段)横(結束付直一筋横),底面:ミガキ	ミガキ	15.9	8.4	20	円筒下層c	前期後葉	織跡合,胴内下炭化物少量付着,膝折りノ字(片)は未調査	
202	29	26土	5	深鉢	口縁(欠)~胴部	口縁部:1段縁,胴部:結束1段(1段)縁	ナゲ	—	—	(20.5)	円筒下層c	前期後葉	織跡合	
203	30	26土	甌土	深鉢	胴~底部	1段縁・斜	不明(厚紙)	—	—	(8)	円筒下層d4~上層a2	前期末	図203-31同一直縁織跡・海澄骨針合	
203	31	26土	甌土	深鉢	胴~底部	1段縁・斜	不明(厚紙)	—	7.6	(14.8)	円筒下層d4~上層a2	前期末	図203-31同一直縁織跡・海澄骨針合	
203	32	26土	甌土	深鉢	口縁~底部	口縁部:結束1段(1段)縁,胴部:1段縁	ナゲ	[20]	10.4	23	円筒下層c	前期後葉	織跡多量合	
203	34	27土	底面直上	深鉢	口縁~底部	段状口縁(4単位),口唇:1段縁,口唇部:1段縁,胴部:結束1段(1段)横	ミガキ	16.6	10.3	26.7	円筒下層d1	前期末	織跡合	
203	35	27土	甌土	深鉢	口縁	口縁部:1段縁,胴部:結束1段(1段)横,胴部:1段縁	ミガキ	[16.4]	[12.1]	22.8	円筒下層d1	前期末	織跡合	
203	36	27土	甌土	深鉢	口縁	口縁部:1段縁,胴部:結束1段(1段)横,胴部:1段縁	ミガキ	—	—	(3.4)	大木式ス	前期末		
203	38	28土	底面	深鉢	口縁~底部	口唇:1段縁,口唇~胴部:1段縁(一部),胴部:1段縁,底面:ミガキ	ミガキ	27.7	11.8	40.5	円筒下層d2	前期末	織跡・海澄骨針合,胴外上炭化物少量付着	
204	42	31土	甌土	深鉢	口縁~底部	段状口縁(4単位),口唇:1段縁,口唇部:1段縁,胴部:結束1段(1段)横	ミガキ	23.2	10.7	25.4	円筒下層d1	前期末	織跡合,胴外上炭化物少量付着	
204	45	32土	甌土	深鉢	口縁~底部	段状口縁(4単位),口唇:1段縁,口唇部:1段縁,胴部:結束1段(1段)横	ミガキ(厚紙)	27.4	11.9	35.7	円筒下層d2~上層a1	前期末~中前期初	織跡・海澄骨針合,胴内下炭化物少量付着	
205	50	39土	甌土	深鉢	口縁~底部	口縁部:1段縁,胴部:結束1段(1段)縁	ミガキ	—	—	31.4	円筒下層d2	前期末	海澄骨針散敷合	
205	52	40土	底面甌土	深鉢	胴~底部	1段縁・斜同,底面:ミガキ	ミガキ	—	7.5	(16.9)	円筒上層a1	中期初頭	織跡合	
205	53	40土	甌土	鉢	口縁~底部	段状口縁(4単位),口唇:1段縁,胴部:1段縁,底面付直ミガキ,底面:ミガキ	ミガキ	[18.3]	7.8	19.4	円筒上層a1	中期初頭	織跡合,胴外上・胴内下炭化物付着	
205	54	40土	甌土	深鉢	口縁~底部	折沿,口唇:1段縁,口唇~胴部:1段縁,底面:ミガキ	ミガキ	23.8	14.1	31.8	円筒上層a1	中期初頭	織跡・海澄骨針合,胴外上・胴内下炭化物少量付着	
205	55	40土	甌土	深鉢	口縁~胴部	口縁部:1段縁,ナゲによる段差,胴部:1段縁・斜	ミガキ	[23.9]	—	(27.7)	円筒上層a1	中期初頭	織跡多量合,胴内下ごく少量の炭化物付着	
206	56	40土	甌土	深鉢	口縁~胴上	段状口縁,確保肥半(口唇部),胎付(口唇部),口縁部:1段縁,胴部:結束1段(1段)横	ミガキ	—	—	(19.5)	円筒上層a1	中期初頭	海澄骨針合	
206	60	49土	甌土	深鉢	口縁~胴上	段状口縁(4単位),口唇:1段縁,口唇部:1段縁,胴部:結束1段(1段)横	ミガキ	49.2	—	(20)	円筒下層d2~上層a1	前期末~中前期初	織跡・海澄骨針合,外面炭化物	
207	64	58土	5	深鉢か	口縁~胴上	段状口縁(4単位),胎付(口唇部),口縁部:1段縁,胴部:結束1段(1段)横	ミガキか	15.6	—	(19.7)	円筒上層a	中期初頭	織跡・海澄骨針合,胴外上・胴内下炭化物付着	
207	65	58土	5	深鉢	口縁~底部	段状口縁(4単位),胎付(口唇部),口唇部:1段縁,胴部:結束1段(1段)横	ミガキ(厚紙)	18.5	9	23.6	円筒上層a	中期初頭	織跡・海澄骨針合,胴外上・胴内下炭化物付着	
207	66	58土	3	鉢	口縁~底部	唇:1段縁,口唇~胴部:1段縁・斜	ミガキ	15.7	9.6	14.3	円筒上層a	中期初頭	織跡・海澄骨針合,胴外上炭化物少量付着	
207	67	58土	6	深鉢	口縁~胴上	段状口縁(4単位),胎付(口唇部),口唇部:1段縁,胴部:結束1段(1段)横	平縁部	35.5	—	(27.2)	円筒上層a	中期初頭	織跡合	
207	68	58土	3	深鉢	胴~底部	1段縁・斜,底面付直ナゲ併し,底面:ミガキ	ミガキ	—	—	10.2	(20.8)	円筒上層a	中期初頭	織跡多量合
207	69	58土	5-6	深鉢	口縁~胴部	口唇:1段縁(一部ミガキ),口縁~胴部:1段縁,結付(口唇)横	ミガキ	33	—	(27.4)	円筒上層a	中期初頭	織跡・海澄骨針合,胴外上炭化物少量付着,外面炭化物	
207	70	58土	3	甌土	口縁~底部	段状口縁(4単位),胎付(口唇部),口唇部:1段縁,胴部:結束1段(1段)横	ミガキ	30.7	15.5	38	円筒上層a	中期初頭	織跡・海澄骨針合,胴外上炭化物少量付着	
208	71	58土	2-4	鉢	口縁~底部	段状口縁(4単位),胎付(口唇部),口唇部:1段縁,胴部:結束1段(1段)横(多量か)~斜(多量か)横,結付(口唇部)	ミガキ	15.1	8.1	18.2	円筒上層a	中期初頭	織跡合,胴外上炭化物・胴内下炭化物少量付着	
208	72	58土	3-4	甌土	深鉢	段状口縁(4単位・胎付欠),胎付(口唇部),口唇部:1段縁,胴部:結束1段(1段)横	ミガキ	底底部18.4	10.5	(25.5)	円筒上層a	中期初頭	織跡合	

図番	遺構名	層位	群種	部位	外面文様・調整	内面調整	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	型式名	時期	備考	
208	73	58土	深鉢	口縁～胴部下	段状口縁(4単位径),口縁部1段押,胴部1段推,結尾(口縁部)	ミガキ	24.2	—	(30.1)	円筒上層a	中期前	織鉢・海澄骨針合	
208	76	64土	深鉢	口縁～底部	段状口縁(4単位径),口縁部1段押,胴部1段推,結尾(口縁部)	ナガ	[24]	—	(27.8)	円筒上層a2 ～上層a1	前期末～ 中期前	織鉢合	
208	77	66土	7 深鉢	胴部	結末(口縁・段)	ミガキ	—	—	—	円筒上層a	前期末	海澄骨針合	
209	78	67土	2 深鉢	口縁～底部	段状口縁(4単位径),口縁部1段押,胴部1段推,結尾(口縁部)	ミガキ	[21.8]	10	32.5	円筒上層a2 ～上層a1	前期末～ 中期前	織鉢・海澄骨針合	
209	80	71土	底面直上 6 深鉢	口縁～胴部	口縁:突起(4単位径,1押),隆帯(口縁部) 脇付:口縁1段推,胴部1段推	ミガキ	[21.5]	—	(19.7)	円筒上層a1	中期前	織鉢合	
209	81	71土	深鉢	口縁～底部	段状口縁(4単位径),脇付(口縁部),口縁部1段推,胴部1段推,結尾(口縁部)	ミガキ (厚縁)	20	9.7	23.7	円筒上層a1	中期前	織鉢・海澄骨針合,丹内炭化物少量付着	
209	82	71土	鉢カ	口縁～胴部下	突起(4単位径),口縁部1段	ミガキ (厚縁)	14.1	—	(18.2)	円筒上層a1	中期前	織鉢合,丹内炭化物少量付着	
210	85	72土	底面直上	浅鉢	突起(口縁部径),脇付(口縁部),口縁部1段推,胴部1段推,結尾(口縁部)	ミガキ	長軸 20.9 短軸 15.5	9.2	9.2	円筒上層a1	中期前	織鉢・海澄骨針合	
210	86	72土	横出深	深鉢	口縁～底部	ミガキ	平縁部 26.7	9.7	(27.5)	円筒上層a1	中期前	織鉢合,額外炭化物少量付着	
210	92	73土	底面直上	深鉢	胴部～底部:口縁部1段推,結尾(口縁部)	ミガキ	—	13.6	(31.6)	円筒上層a	中期前	織鉢・海澄骨針合,額外上・胴内炭化物少量付着	
210	93	73土	8 深鉢	口縁～底部	段状口縁(4単位径),隆帯(口縁部),口縁部1段推,胴部1段推,結末(口縁部),結尾(口縁部)	ミガキ (厚縁)	[18]	9.2	24.9	円筒上層a	中期前	織鉢合,額外上・胴内炭化物少量付着	
210	94	73土	深鉢	口縁～底部	隆帯(口縁部),口縁部1段推,結末(口縁部),結尾(口縁部)	不明 (厚縁)	[15.7]	8.6	21.7	円筒上層a	中期前	織鉢合,額外上・胴内炭化物少量付着,丹内炭化物少量付着	
211	95	73土	8 深鉢	口縁～胴部	段状口縁(4単位径),隆帯(口縁部),口縁部1段推,胴部1段推,結末(口縁部),結尾(口縁部)	ミガキ	19.7	—	(26.1)	円筒上層a	中期前	織鉢合	
211	96	73土	深鉢	胴部	突起(口縁部),平縁部(口縁部)小段,隆帯(口縁部)内・外縁の付着	—	—	—	—	朝日下層式 a	前期末	図211-97と同一か	
211	97	73土	深鉢	胴部	突起(口縁部),平縁部(口縁部)小段,隆帯(口縁部)内・外縁の付着	—	—	—	—	朝日下層式 a	前期末	図211-96と同一か	
211	98	73土	深鉢	底部	口縁・底部付ナゲ押し,底面ナゲ	ミガキ	—	10.5	(6.7)	円筒下層d 4	前期末	底面穿孔カ	
211	99	73土	深鉢	胴～底部	胴部:口縁部,底面:ミガキ	ミガキ	—	11.5	(19.7)	円筒下層d 4	前期末	織鉢・海澄骨針合	
211	102	75土	底面直上	深鉢	口縁～底部	口縁:口縁部,胴部:口縁部,底面:ミガキ	ミガキ	25.1	11	35.5	円筒下層a2 ～上層a1	前期末	織鉢合,胴内炭化物少量付着
212	105	77土	底面直上	深鉢	口縁～底部	段状口縁(4単位径),胴部下部推,底面:ミガキ	不明 (厚縁)	19.3	9.9	26.5	円筒下層d1	前期末	織鉢合
212	106	77土	深鉢	口縁～底部	口縁:口縁部,口縁部1段推,胴部1段推,結末(口縁部),結尾(口縁部)	ミガキ (厚縁)	—	9.7	30.9	円筒下層d1	前期末	織鉢・海澄骨針合,胴内炭化物少量付着	
212	107	77土	深鉢	口縁～底部	口縁:口縁部,口縁部1段推,胴部1段推,結末(口縁部),結尾(口縁部)	ミガキ	[26.7]	15.4	33.3	円筒下層d1	前期末	織鉢・海澄骨針合,額外上・胴内炭化物少量付着	
212	108	77土	深鉢	口縁～胴部	隆帯(口縁部),口縁部1段推,結末(口縁部),胴部:口縁部	ミガキ	[26]	—	(17.7)	円筒下層d1	前期末	図212-109a～c,織鉢・海澄骨針合	
212	109	77土	深鉢	底部	単線(口縁部)	ミガキ	—	15.2	(15.3)	円筒下層d1	前期末	図212-109a～c,織鉢・海澄骨針合,胴内上・胴内下炭化物少量付着	
213	110	79土	深鉢	口縁～底部	段状口縁(口縁部径),隆帯(口縁部),口縁部1段推,胴部1段推,結末(口縁部),結尾(口縁部)	ミガキ	[32.3]	15.6	41.3	円筒下層d2	前期末	織鉢・海澄骨針合	
213	111	79土	深鉢	口縁部	単線(口縁部)	ミガキ	[8.4]	6	(5.3)	円筒下層d 4	前期末	底心カ	
213	119	81土	深鉢	口縁～胴部下	段状口縁(口縁部),口縁部1段推,胴部1段推,結末(口縁部)	ミガキ	[32.8]	—	(12)	円筒下層d1	前期末	図213-120同一か,織鉢多量付着	
213	120	81土	深鉢	胴部下	結末(口縁部)	ミガキ	—	—	(22.8)	円筒下層d1	前期末	図213-119同一か,織鉢多量付着	
214	121	81土	2 深鉢	口縁～胴部下	口縁部:胴部1段推,口縁部1段推	不明 (厚縁)	[20]	—	(30.3)	円筒下層d2 ～上層a	前期末	外周厚縁,織鉢合	
214	122	81土	2 深鉢	口縁～胴部	段状口縁,口縁部1段推,胴部1段推,脇付,結尾(口縁部)	ミガキ (厚縁)	—	—	(42.8)	円筒下層d2	前期末	織鉢・海澄骨針合	
214	124	85土	8 深鉢	口縁～胴部	口縁:口縁部,胴部:口縁部	ミガキ	17.3	—	(20.4)	円筒下層d2 4	前期末	織鉢・海澄骨針合	
214	125	85土	5 深鉢	口縁～胴部下	隆帯(口縁部),口縁部1段推,竹管突起,口縁部1段推,結尾(口縁部)	ミガキ	—	—	(10.7)	円筒下層d2 4	前期末	織鉢・海澄骨針合	
214	126	85土	5 深鉢	口縁～胴部下	段状口縁(口縁部),隆帯(口縁部),口縁部1段推,胴部1段推,結尾(口縁部)	ミガキ	—	—	(11.1)	円筒下層d2 4	前期末	織鉢・海澄骨針合	
214	127	85土	5 深鉢	口縁～胴部下	口縁部1段推,口縁部1段推,結尾(口縁部)	ナゲ	[21.9]	[6.5]	23.2	円筒下層d2 4	前期末 ～上層a1	中期前	織鉢・海澄骨針合,額外上・胴内炭化物少量付着
214	128	85土	5 深鉢	口縁～底部	段状口縁(口縁部),口縁部1段推,口縁部1段推,結末(口縁部),結尾(口縁部)	ミガキ	[29.2]	13.1	31.4	円筒下層d2 4	前期末 ～上層a1	中期前	織鉢・海澄骨針合,胴内炭化物少量付着
215	129	85土	深鉢	口縁(穴)～胴部下	段状口縁,隆帯(口縁部),口縁部1段推,竹管突起,口縁部1段推,結尾(口縁部)	ミガキ	—	—	(12.8)	円筒下層d2 4	前期末	図215-130同一か	
215	130	85土	深鉢	口縁～胴部	隆帯(口縁部),口縁部1段推,竹管突起,口縁部1段推,結尾(口縁部)	ミガキ	—	—	(18.4)	円筒下層d2 4	前期末	図215-129同一か	
215	132	85土	5 深鉢	口縁～底部	突起(口縁部径),口縁部1段推,脇付(口縁部),口縁部1段推,口縁部1段推	ミガキ	17.7	(8.8)	28	円筒下層d2 4	前期末 ～上層a1	中期前	織鉢・海澄骨針合,額外上・胴内炭化物少量付着
215	133	85土	深鉢	口縁～胴部下	口縁:隆帯一部に突起,口縁部1段推,口縁部1段推,結尾(口縁部)	ミガキ	23.3	—	(26.3)	円筒下層d2 4	前期末 ～上層a1	中期前	織鉢・海澄骨針合,額外上・胴内炭化物少量付着
215	134	86土	深鉢	口縁～底部	段状口縁(口縁部径),口縁部1段推,口縁部1段推,結末(口縁部),結尾(口縁部)	ミガキ	16.4	9.7	21.6	円筒上層a1	中期前	織鉢合	
215	135	86土 72土 底面直上	深鉢	口縁～胴部	段状口縁(口縁部径),隆帯(口縁部),脇付(口縁部),口縁部1段推,胴部1段推,結末(口縁部),結尾(口縁部)	ミガキ	36.7	—	(29)	円筒上層a1	中期前	織鉢・海澄骨針合,額外上・胴内炭化物少量付着	
215	136	87土	深鉢	口縁～胴部下	口縁部1段推,口縁部1段推,結末(口縁部)	ミガキ	—	—	(11.3)	円筒下層c	前期後葉	織鉢多量,海澄骨針合	

番 号	遺構名	層位	跡種	部位	外面文様・調整	内面調整	口幅 (m)	底径 (m)	高さ (m)	型式名	時 期	備 考		
216	137	89土	5 層土	深井	口縁～底部	段状口縁(口単位残)、口縁部(口縁部・胴部・結束(口縁・口縁・口縁)底面・底面)	ミガキ	[30.8]	12.1	26.4	円筒下層d2	前期末	織造・海路骨針合	
216	139	90土	層土	深井	口縁～胴部下	段状口縁、突起、縁部(口縁)、貼付(口縁部)、口縁部(口縁部・胴部・結束(口縁・口縁))	ミガキ	—	—	(11.7)	円筒下層d2	前期末	図216-140同・カ	
216	140	90土	層土	深井	胴部	単筋(口縁)	ミガキ	—	—	(30.4)	図216-139同・カ	前期末		
216	142	91土	6上位	深井	口縁～底部	口縁部(口縁・胴部)、口縁部(結束(口縁・口縁))	ミガキ	13.3	9.4	31.5	円筒下層c	前期後葉	織造・海路骨針合	
216	143	91土	6上位	深井	口縁～底部	段状口縁(口単位)、口唇・貼付(口縁部)、口縁部(口縁部・胴部・結束(口縁・口縁))	ミガキ、ミガキ	12.6	[8.6]	32	円筒下層c	前期後葉	織造・海路骨針合	
216	144	91土	6上位	深井	口縁～底部	段状口縁(口単位)、口唇・貼付(口縁部)、口縁部(口縁部・胴部・結束(口縁・口縁))	ミガキ	23.7	13.5	32	円筒下層c	前期後葉	織造・海路骨針合、胴内外下炭化物少量付着、漆塗	
217	145	95土	12	深井	口縁～底部	段状口縁(口単位)、口唇・貼付(口縁部・胴部・結束(口縁・口縁))	ミガキ	24.3	11.3	29.5	円筒下層c	前期後葉	織造・海路骨針合、胴内外下炭化物少量付着、漆塗	
217	146	95土	12	深井	口縁～底部	段状口縁(口単位)、口唇・貼付(口縁部・胴部・結束(口縁・口縁))	ミガキ	16.2	7.8	35.8	円筒下層c	前期後葉	織造・海路骨針合、胴内外下炭化物少量付着	
218	158	102土	12 底面直上 層土	深井	口縁～底部	口縁部(口縁部・胴部・結束(口縁・口縁))	ミガキ	[24.4]	13.2	34.4	円筒上層a	中期初頭～中期末	織造・海路骨針合	
218	159	102土	6 層土	深井	口縁～胴部下	突起(口単位残)、縁部・貼付(口縁部)、口縁部(口縁部・胴部・結束(口縁・口縁))	ミガキ	21	—	(25.1)	円筒上層a	中期初頭～中期末	織造・海路骨針合	
218	160	102土	6 層土	深井	底部	結束(口縁・口縁)・縁部付足ナラ、底面ミガキ	ミガキ	—	9.8	(12.7)	円筒上層a	中期初頭～中期末	織造・海路骨針合	
218	161	102土	6 層土	深井	口縁～底部	段状口縁(口単位)、縁部・貼付(口縁部)、口縁部(口縁部・胴部・結束(口縁・口縁))	ミガキ(厚縁)	—	—	(18.2)	円筒上層a	中期初頭～中期末	織造・海路骨針合、胴内外下炭化物少量付着、外面風化	
218	162	102土	6 層土	深井	口縁～底部	縁部(保押)、口縁部(口縁部)	ミガキ	17.9	—	(13.7)	円筒上層a	中期初頭～中期末	外面炭化物少量付着	
218	163	102土	0-6	深井	口縁～胴部下	段状口縁(口単位・口単位欠)、縁部・貼付(口縁部)、口縁部(口縁部・胴部・結束(口縁・口縁))	ミガキ	平縁部 17.3	—	(21.7)	円筒上層a	中期初頭～中期末	織造・海路骨針合、胴内外下炭化物少量付着、外面風化	
219	164	102土	0-6	深井	口縁～底部	段状口縁(口単位)、口唇・貼付(口縁部)	ミガキ	18.4	8.8	22.6	円筒上層a	中期初頭～中期末	織造・海路骨針合、胴内外下炭化物少量付着、外面風化	
219	165	102土	0-6	深井	口縁～底部	段状口縁(口単位残)、縁部・貼付(口縁部)、口縁部(口縁部・胴部・結束(口縁・口縁))	ミガキ	[17]	—	(42.3)	円筒上層a2	中期後葉	織造・海路骨針合	
220	169	103土	層土	深井	口縁～胴部下	段状口縁(口単位)、口縁部(口縁部・胴部・結束(口縁・口縁))	ミガキ	[23]	—	(19)	円筒下層d1	前期末	織造・海路骨針合	
220	170	103土	層土	深井	口縁～底部	口唇・貼付(口縁部)、口縁部(口縁部・胴部・結束(口縁・口縁))	ミガキ	[15.9]	9.7	20.2	円筒下層c～d1	前期後葉～中期末	織造・海路骨針合	
220	171	103土	層土	深井	口縁～底部	段状口縁(口単位)、口唇・貼付(口縁部)、口縁部(口縁部・胴部・結束(口縁・口縁))	ミガキ	18.8	10.8	34.5	円筒下層c～d1	前期後葉～中期末	織造・海路骨針合	
220	172	103土	層土	深井	口縁～底部	段状口縁(口単位)、口唇・貼付(口縁部)、口縁部(口縁部・胴部・結束(口縁・口縁))	ミガキ	20.5	11.9	37.7	円筒下層c～d1	前期後葉～中期末	織造・海路骨針合、外面胴部・種実状の付着	
220	173	105土	層土(中位層土)	深井	口縁～底部	段状口縁(口単位)、口唇・貼付(口縁部)、口縁部(口縁部・胴部・結束(口縁・口縁))	ミガキ	[18.1]	8.3	19.7	円筒上層a1	中期初頭	海路骨針合	
220	174	105土	層土(上位層土)	鉢	口縁～底部	口縁部(口縁部・胴部・結束(口縁・口縁))	ミガキ	—	7	16.1	円筒上層a1	中期初頭	海路骨針合	
221	179	107土	底面直上	深井	口縁～底部	段状口縁(口単位)、口唇・貼付(口縁部・胴部・結束(口縁・口縁))	ミガキ	13.4	8.8	20.8	円筒下層d1	前期末	織造・海路骨針合、胴内外下炭化物少量付着	
221	180	107土	底面	深井	口縁～底部	段状口縁(口単位)、口唇・貼付(口縁部・胴部・結束(口縁・口縁))	ミガキ	18.8	9.7	29.7	円筒下層d1	前期末	織造・海路骨針合、胴内外下炭化物少量付着	
221	181	107土	底面	深井	口縁～胴部下	口唇・貼付(口縁部)、口縁部(口縁部・胴部・結束(口縁・口縁))	ミガキ	26	—	(34.7)	円筒下層d1	前期末	織造・海路骨針合、胴内外下炭化物少量付着	
221	182	107土	覆土下位	深井	口縁～底部	口唇・貼付(口縁部)、口縁部(口縁部・胴部・結束(口縁・口縁))	ミガキ	19.2	10.2	24.4	円筒下層d1	前期末	織造・海路骨針合、胴内外下炭化物少量付着	
221	183	107土	覆土下位	深井	口縁～底部	段状口縁(口単位)、口唇・貼付(口縁部)、口縁部(口縁部・胴部・結束(口縁・口縁))	ミガキ	24.1	13	33.8	円筒下層d1	前期末	織造・海路骨針合、胴内外下炭化物少量付着、外面風化	
222	184	107土	覆土下位	深井	口縁～底部	段状口縁、口唇・貼付(口縁部)、口縁部(口縁部・胴部・結束(口縁・口縁))	ミガキ	22.8	13.2	37.3	円筒下層d1	前期末	織造・海路骨針合、胴内外下炭化物少量付着、外面風化	
222	185	107土	覆土下位	深井	口縁～胴部下	口縁部(口縁部・胴部・結束(口縁・口縁))	ミガキ	[22]	—	(27)	円筒下層d1	前期末	織造・海路骨針合	
222	186	107土	覆土下位	深井	口縁～底部	口唇・貼付(口縁部)、口縁部(口縁部・胴部・結束(口縁・口縁))	ミガキ	[20.2]	[12.4]	28.5	円筒下層d1	前期末	織造・海路骨針合	
222	188	112土	層土	鉢	口縁～胴部下	段状口縁(口単位)、縁部付着	ミガキ	[12]	—	(12.4)	円筒下層d2	前期末	織造・海路骨針合	
233	190	113土	輸出面	深井	口縁～底部	縁部(口縁部・胴部・結束(口縁・口縁))	ミガキ	—	13.1	(41.6)	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期初頭	織造・海路骨針合、胴内外下炭化物少量付着、胴内外下炭化物少量付着	
223	197	115土	底面直上	深井	胴～底部	条痕(縦)、ミガキ、漆面調整	ミガキ	—	8.8	(20.3)	円筒下層d2	前期末	織造・海路骨針合	
224	198	116土	底面直上	5 層土 覆土下位 層土	深井	口縁～底部	段状口縁(口単位残)、縁部・貼付(口縁部)、口唇・貼付(口縁部)、口縁部(口縁部・胴部・結束(口縁・口縁))	ミガキ	[33]	14.5	39.7	円筒上層a1	中期初頭	織造・海路骨針合、胴内外下炭化物少量付着
224	199	116土	底面直上	5 層土 覆土下位	深井	口縁～底部	段状口縁(口単位残)、縁部・貼付(口縁部)、口唇・貼付(口縁部)、口縁部(口縁部・胴部・結束(口縁・口縁))	ミガキ	30.8	[11.8]	円筒上層a1	中期初頭	織造・海路骨針合、胴内外下炭化物少量付着、胴内外下炭化物少量付着、漆面調整	
224	200	116土	底面	鉢	底部	縁部付足ナラ、底面ミガキ	ミガキ(厚縁)	—	5.8	(5.1)	円筒下層d4～上層a	前期末～中期初頭	織造・海路骨針合	
224	203	118土	底面直上	深井	口縁～胴部下	縁部(保押)、口縁部(口縁部・胴部・結束(口縁・口縁))	ミガキ	28.5	—	(23.1)	円筒下層d1	前期末	織造・海路骨針合	

番 号	遺構名	層位	群種	部位	外面文様・調整	内面調整	口径 (m)	底径 (m)	高さ (m)	型式名	時 期	備 考	
224	204	118土 底面直上16	深鉢	口縁～底面	白磁・1段縁、口縁部・1段押、胴部・ 串筋(1段・串)、結回(0)段、底 面・ミガキ	ミガキ	14.2	8.8	20.5	円筒下層41	前期末	織器・海陸骨針合	
224	205	118土 118土	鉢	口縁～底面	串筋(1段・串)、底面・ミガキ	ミガキ	—	5.9	6.53	円筒下層41a	前期末a	織器・海陸骨針合	
225	206	121土	深鉢	口縁～底面	灰吹口縁(3単位)、口縁部・1段押、 口縁部・1段縁・縦、底面・ミガキ	ミガキ	[16.3]	7.5	14.1	円筒下層42 ～上層a1	前期末a 中期初	織器・海陸骨針合、朝 内上段化物少量付着	
225	209	122土 118土 122土 118土	深鉢	口縁～底面	口縁部・粗多条押・1段縁 底面・ミガキ	ミガキ	[18.6]	9.8	26.1	円筒下層41	前期末	織器合	
225	210	108土 108土下位	深鉢	口縁～底面	灰吹口縁a、口縁部・1段押、胴部・ 1段縁・串筋(1段・串)、底面・ ミガキ	ミガキ	[25.5]	[13.5]	6.3 (4.2) 底面	円筒下層41	前期末	織器合、外面段化物少 量付着、内上段上	
226	215	123土	深鉢	口縁～底面	灰吹口縁(3単位)、胴部・1段押、 口縁部・1段縁、口縁部・1段縁、 結回(0)段	ミガキ	29	13.8	43.8	円筒下層42	前期末	織器合	
226	216	123土	深鉢	口縁～ 胴部下	灰吹口縁(3単位)、胴部・1段押、 口縁部・1段縁、口縁部・1段縁、 結回(0)段	ミガキ	29.8	—	(37.7)	円筒上層a1	中期初	織器・海陸骨針合、朝 内上段化物付着、結回 2段上	
226	217	128土	鉢	底面	結回a、ミガキ	ミガキ	—	5.6	(7.1)	円筒下層41	前期末	織器多量合	
226	218	128土	鉢	口縁～底面	口縁・1段・粗押(縦吹)、胴部・結回 (1段・粗・縦・横)	不明 (厚縁)	[12.7]	7.4	18.9	円筒下層41	前期末	織器・海陸骨針合、内 面段化物少量付着	
226	219	128土	深鉢	口縁～底面	灰吹口縁(4単位)、口縁部・1段押、 胴部・結回(1段・粗)、結回 2段上・縦・横、底面・ミガキ	ミガキ	23.8	14.5	32.2	円筒下層41	前期末	織器・海陸骨針合、朝 内上段化物付着、結回 2段上・縦・横付着	
226	220	128土	鉢	底面	結回a	ミガキ	—	8.3	(5.8)	円筒下層41	前期末	織器	
226	221	128土	深鉢	口縁～ 胴部下	灰吹口縁(3単位)、胴部・粗突(朝突)、 口縁部・1段縁	ミガキ	13.4	—	(19.8)	円筒下層42	前期末	朝内上段化物少量付着	
226	222	128土	深鉢	口縁	灰吹口縁(1段・底面)	ナツカ	—	—	(8.2)	表裏互折	早期前	織器	
227	226	131土	深鉢	口縁～底面	灰吹口縁a、口縁部・1段押、 胴部・結回(1段・粗)、底面・ミ ガキ	ミガキ	15.4	7.8	26.9	円筒下層 ～底	前期末	織器合	
227	227	138土	深鉢	口縁～胴部	灰吹口縁a、口縁部・1段押、 胴部・結回(1段・粗)、串筋(1)	ミガキ	[21.4]	—	(22.4)	円筒下層41	前期末	織器・海陸骨針合	
227	228	138土	深鉢	底面	串筋(1)、底面ナツカ	ミガキ	—	13.4	(3.4)	円筒下層41	前期末	織器・海陸骨針合	
227	232	142土	底面	深鉢	口縁～底面	表裏(1単位)、口縁部・1段 縁・縦・横、底面・ミガキ	ミガキ	[26.6]	11.1	34.5	円筒上層a	中期初	織器・海陸骨針合、朝 内上段化物付着、結回 1段上
227	233	142土	底面直上16	鉢	底面	無文	ナツカ	—	6.5	(11.8)	円筒下層42 ～上層a	前期末a 中期初	織器・海陸骨針合
228	234	142土	深鉢	口縁～底面	表裏(1単位)、胴部・1段押、口縁 部・1段縁、結回(1)段、 底面・ミガキ	ミガキ (厚縁)	[25.3]	13.1	26.7	円筒上層a (大付式)	前期末	織器・海陸骨針合、外 面厚縁露出	
228	237	144土	深鉢	口縁～胴部	粗突(朝突)、口縁部・1段押(朝 内)、胴部・結回(1段・粗)、結回(1)段	ミガキ	—	—	(37.6)	円筒下層42 ～上層a1	前期末a 中期初	海陸骨針合	
228	239	146土	深鉢	口縁～ 胴部下	灰吹口縁(3単位)、胴部・1段押(朝 内)、口縁部・1段縁、口縁部・1段縁、 結回(1)段	ミガキ	[14]	—	(14.1)	円筒下層42 ～上層a1	前期末a 中期初	海陸骨針合、内面口 縁付着	
228	240	146土	深鉢	胴部～ 底面	1段縁、底面・ミガキ	ミガキ	—	6.7	(11.5)	円筒下層42 ～上層a1	前期末a 中期初	織器・海陸骨針合	
228	241	146土	深鉢	胴部～ 底面	胴部・1段押、胴部・1段縁、底面・ミ ガキ	ミガキ 小	—	12	(23.9)	円筒下層42 ～上層a1	前期末a 中期初	織器・海陸骨針合	
228	242	146土	深鉢	口縁(穴) ～底面	灰付(1段押)、口縁部・1段押、串筋 (1段・粗)、胴部・1段縁、結回(1)段 底面・ミガキ	ミガキ	—	11.2	(30.1)	円筒下層42 ～上層a1	前期末a 中期初	織器・海陸骨針合	
229	243	146土	深鉢	口縁(穴) ～底面	胴部・1段押(朝内)、口縁部・串筋 (1段・粗)、底面・ミガキ	ミガキ	—	13.7	(38.6)	円筒下層42 ～上層a1	前期末a 中期初	織器・海陸骨針合、外 面口縁部付着(底面土 層より付着)	
229	244	146土	深鉢	鉢	1段縁、底面ナツカ	ミガキ	—	5	(4.8)	円筒下層4 ～上層a	前期末	底面穿孔、織器・海陸 骨針合	
230	252	153土	深鉢	口縁～底面	突起状縁部(3単位)、1段押、灰 付(1段押)、口縁部・1段縁・串筋(1) 段・粗、胴部・結回(1)段、 底面・ミガキ	ミガキ	24.3	11.2	35.3	円筒下層42	前期末	織器・海陸骨針合、外 面厚縁露出	
230	253	154土	3	深鉢	胴部～底面	1段縁・斜、底面・ミガキ	ミガキ	—	12.2	(27.4)	円筒下層4 ～上層a	前期末a 中期初	織器・海陸骨針合
230	255	157土	深鉢	口縁～胴部	粗突(朝突)、口縁部・1段押、胴部・ 多条(朝)	ミガキ	[26.4]	—	(26.6)	円筒下層41	前期末	織器・海陸骨針合	
230	257	158土	深鉢	口縁～底面	粗突(朝突)、口縁部・1段押、胴部・ 多条(朝)	ミガキ	24	12	29.3	円筒下層42 ～上層a1	前期末a 中期初	織器・海陸骨針合	
231	259	158土	4	深鉢	口縁(穴) ～底面	胴部・灰付(1段押)、口縁部・1段押、 胴部・1段縁・斜、結回(0)段、 底面・ミガキ	ミガキ	—	14.7	(36)	円筒上層a1	中期初	織器・海陸骨針合、朝 内上段化物少量付着
231	264	162土	深鉢	胴部～ 底面	粗突(朝突)(1)、胴部付テナツカ、 底面・ミガキ	ミガキ	—	10.5	(19.1)	円筒下層42 ～上層a1	前期末a 中期初	織器・海陸骨針合	
232	268	167土	底面	深鉢	口縁～ 胴部下	突起(4単位)、口唇に1段縁(1段押)、 灰付(1段押)、口縁部・1段押、 胴部・1段縁、結回(0)段、 底面・ミガキ	ミガキ	29	13.2	口縁 (15) 底面 (13.2)	円筒上層a1	中期初	織器・海陸骨針合、内 上段上
232	269	167土	底面	深鉢	胴部～底面	1段縁、粗突(朝突)、結回(0)段、 底面・ミガキ	ミガキ	—	14	(31.2)	円筒下層42 ～上層a1	前期末a 中期初	織器・海陸骨針合、朝 内上段化物付着
232	270	167土	底面	深鉢	口縁～底面	突起(4単位)、胴部・串筋(1)段押、 灰付(1段押)、口縁部・1段縁、 胴部・1段縁・串筋(1)段・粗、 結回(0)段、底面・ミガキ	ミガキ	19.2	9.3	23.6	円筒下層42 ～上層a1	前期末a 中期初	織器・海陸骨針合、朝 内上段化物付着、朝 内下段化物少量付着
232	271	167土	底面	深鉢	口縁～ 胴部下	灰吹口縁(3単位)、胴部・粗突(朝 突)、口縁部・1段縁、口縁部・1段 縁、結回(1)段、底面・ミガキ	ミガキ	—	14.7	(34.3)	円筒下層42 ～上層a1	前期末a 中期初	織器・海陸骨針合、朝 内上段化物付着、朝 内下段化物少量付着
233	272	168土 113土	深鉢	口縁～ 胴部下	口縁部・1段縁・縦	ミガキ	23	—	(28.1)	円筒下層42 ～上層a1	前期末a 中期初	織器・海陸骨針合	
233	274	169土	深鉢	口縁～底面	灰吹口縁(4単位)、胴部・粗突(朝 突)、口唇・粗突(朝突)、口縁部・1 段押、胴部・1段縁、口縁部・1段 縁、結回(1)段、底面・ミガキ	ミガキ (厚縁)	23.8	14.1	38.3	円筒下層41	前期末	織器・海陸骨針合、外 面厚縁	
234	284	175土	深鉢	口縁～底面	灰吹口縁(3単位)、胴部・粗突(朝 突)、口唇・粗突(朝突)、口縁部・1 段押、胴部・1段縁、口縁部・1段 縁、結回(1)段、底面・ミガキ	ミガキ	30.3	14.3	36.2	円筒下層42	前期末	織器・海陸骨針合、外 面口縁に爪痕、朝内上 段化物少量付着	
234	286	177土	深鉢	鉢	1段縁(厚縁)	ナツカ	—	8.7	(6.7)	円筒下層41	前期初	織器	

土坑出土石器観察表

器 番号	遺構名	層位	器 種	分類基準	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石 質	備 考
199	1	3土	礫土	石鏃	31.6	14.6	4.3	2.9	珩質頁岩	
199	6	16土	2	石鏃	174.7	39.9	12.5	78.1	珩質頁岩	
199	7	16土	3	スケレイベー類	29	23.9	6.7	3.5	珩質頁岩	
200	12	19土	礫土	半円状扁平打製石器	127	107	33	549.8	安山岩	
200	14	21土	礫土	礫石	184	115	40	1215.8	グイサイト	半円状扁平打製石器の可能性有り
200	15	22土	礫土	磨石	137	66	67	823.8	安山岩	北海道式石冠
201	18	23土	礫土	石鏃	64	33.6	12.2	28.4	珩質頁岩	片月
201	19	23土	礫土	スケレイベー類	51	34.4	16.1	29.4	珩質頁岩	
202	22	25土	礫土	回石	130	66	37	382.2	安山岩	
202	23	25土	礫土	磨石	107	83	32	429.3	安山岩	
202	24	25土	床面	台石	190	159	90	2853.8	安山岩	
203	33	27土	礫土	石鏃	28	63.1	10.2	11.8	珩質頁岩	
203	37	27土	礫土	半円状扁平打製石器	68	64	37	189.4	安山岩	
203	39	29土	礫土	両面周縁調整(両面調整)	54.5	25.6	14.2	15.7	珩質頁岩	小型石鏃未製品の可能性有り
204	40	29土	礫土	スケレイベー類	74.7	51.3	13.8	54.7	珩質頁岩	
204	41	29土	礫土	礫石	90	64	42	292.9	凝灰岩	
204	43	31土	礫土	スケレイベー類	30.9	22.8	10.2	6.7	頁岩	被熱
204	44	32土	礫土	石鏃	42.2	19.9	5.8	3.9	珩質頁岩	回孟か
204	46	34土	礫土	石鏃	52.3	16.5	8.5	6.4	珩質頁岩	小型石鏃
204	47	34土	礫土	磨製石斧	52	23	13	24.9	緑色岩	
204	48	37土	礫土	スケレイベー類	41.7	23.4	8.2	7.6	珩質頁岩	
204	49	38土	礫土	礫石	57	46	45	128.5	チャート	
205	51	39土	礫土	台石	259	193	101	7340.0	安山岩	2面使用
206	58	49土	礫土	石鏃	24.6	15.6	4.9	1.5	珩質頁岩	
206	61	49土	礫土	半円状扁平打製石器	99	78	25	290.7	安山岩	
206	62	52土	礫土	打製石斧	58	38	9	36.2	花崗閃緑岩	
206	63	54土	礫土	柱状磨石	204	52	36	444.5	凝灰岩	
208	74	56土	3	石鏃	29.6	13.8	6.1	1.8	珩質頁岩	
208	75	56土	3	磨石	148	92	53	1084.3	安山岩	接合
209	79	67土	礫土	回石	98.5	69	54	454.0	安山岩	
209	83	71土	礫土	磨石	110	91	26	437.2	安山岩	
210	87	72土	礫土	石鏃	30.1	16.8	6.3	3.9	珩質頁岩	
210	88	72土	礫土	スケレイベー類	47.9	28.6	14.9	20.9	珩質頁岩	細い調整で短棒形に成形
211	100	74土	礫土	石鏃	39.7	15.4	5.8	3.5	珩質頁岩	
211	101	74土	礫土	半円状扁平打製石器	118	51	27	217.8	凝灰岩	
211	103	75土	礫土	磨石	83	75	44	482.0	安山岩	
211	104	75土	礫土	半円状扁平打製石器	103	68	41	365.8	安山岩	
213	112	79土	礫土	石鏃	51.4	15.8	4.6	2.9	珩質頁岩	
213	114	79土	礫土	台石	191	120	54	1892.5	安山岩	
213	115	80土	礫土	石鏃	32.2	65.5	17.4	28.9	珩質頁岩	変形型、縦長割片素材
213	116	81土	礫土	磨製石斧	83	49	16	106.9	凝灰岩	
213	117	81土	礫土	礫石	88	70	14	106.0	中粒砂岩	
213	118	81土	礫土	半円状扁平打製石器	80	67	22	134.9	凝灰岩	
214	123	83土	礫土	磨製石斧	97	19	17	61.7	凝灰岩	片月
215	131	85土	床面	磨製石斧	70	33.5	11	48.5	緑色岩	刺刺痕、器面に成形後の磨打痕
217	147	95土	礫土	石鏃	35	45.4	11.4	13.6	珩質頁岩	
217	148	95土	礫土	スケレイベー類	29.7	43.4	13.8	14.4	珩質頁岩	
217	149	96土	礫土	石鏃	63.7	18.1	7.7	7.8	珩質頁岩	異形石器の可能性有り
217	150	96土	礫土	磨製石斧	116	49	29	314.6	閃緑岩	
217	151	97土	礫土	半円状扁平打製石器	116	73	22	277.3	安山岩	
217	152	98土	礫土	礫石	82	81	33	163.3	中粒砂岩	
217	153	98土	礫土	石鏃	70.2	48.9	12.2	38.2	珩質頁岩	小変形か
218	154	99土	底面直上	磨製石斧	70	44	16	91.7	凝灰岩	
218	155	100土	礫土	回石	92	82.5	43	336.0	凝灰岩	
218	156	101土	礫土	石鏃	41.8	15.6	7.8	4.2	珩質頁岩	
219	166	102土	礫土	回石	117	66	51	391.7	安山岩	
219	167	102土	6 層	礫石	178	88	71	1073.5	凝灰岩	接合
219	168	103土	礫土	磨石	166	58	55	857.4	凝灰岩	礫石か
220	175	105土	礫土	回石	97	65	43	385.9	安山岩	
220	176	105土	礫土	礫石	102	81	46	543.6	凝灰岩	
220	177	105土	礫土	回石	110.5	66	45	414.0	安山岩	
221	178	105土	礫土	台石	174	116	70	1443.6	安山岩	
222	187	107土	礫土	台石	241	179	78	4352.5	安山岩	
222	189	112土	礫土	スケレイベー類	34.6	31.2	11.7	15.5	珩質頁岩	
223	191	114土	礫土	磨製石斧	136	45	32	335.9	安山岩	
223	192	115土	礫土	石鏃	21.6	17.9	4.7	1.8	珩質頁岩	
223	193	115土	礫土	石鏃	39	15.3	4.8	3.3	珩質頁岩	基部再調整
223	194	115土	礫土	半円状扁平打製石器	134	79	32	472.1	凝灰岩	
223	195	115土	10	石鏃	134	86	35	554.8	チャート	
223	196	115土	10	台石	272	184	61	4149.8	安山岩	

順 番	通機名	厚位	部 種	分類基準	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	質量 (g)	石 質	備 考	
224	201	118土	覆土	打製石斧	101	72	28	276.8	安山岩		
224	202	118土	覆土	石匙	59.3	28.1	9	15.0	珩質頁岩		
225	213	122土	覆土	回石	107	104	35	526.7	安山岩		
225	214	123土	底面近く	石鏃	有基平基	33.6	16.7	5.4	2.5	珩質頁岩	
227	224	129土	覆土	石鏃	有基凸基	39.2	16.5	4.4	2.1	珩質頁岩	
227	225	129土	覆土	石匙	縦形石匙	65.0	33.7	8.1	12.4	珩質頁岩	
227	229	138土	覆土	半円状扁平打製石器	154	85	31	486.5	安山岩		
227	230	141土	覆土	石鏃	有基凸基	27.8	15.6	5.1	2.1	玉髄質珩質頁岩	アスファルト付着か
227	231	141土	覆土	スケレイベー類	両面周縁調整	26.2	17.3	10.2	4.5	珩質頁岩	
228	235	143土	床面直上	半円状扁平打製石器	96	55	24	190.0	砂岩		
228	236	144土	覆土	石槍	44.6	26.8	13.8	13.8	珩質頁岩	小型石鏃か石鏃未製品の可能性有り、背面の一部に光沢か	
228	238	145土	覆土	磨製石斧	75	45	15	64.1	砂岩	磨跡	
229	246	148土	覆土	石匙	縦形石匙	42.2	29.2	6.7	6.5	珩質頁岩	
229	248	149土	覆土	スケレイベー類	両面周縁調整(背面主体)	23.4	22.9	7.9	4.1	玉髄質珩質頁岩	
229	249	152土	覆土	スケレイベー類	両面周縁調整	53.4	59.1	16.6	45.6	珩質頁岩	両面に黒色物質付着
229	250	152土	覆土	半円状扁平打製石器	100	72	31	361.7	閃緑岩	使用痕跡著	
229	251	152土	覆土	砥石	94	87	43.5	124.9	細粒砂岩	接合	
230	254	156土	覆土	磨石	78	73	41	309.8	安山岩		
230	256	157土	覆土	スケレイベー類	片面一側縁調整(錯交)	35.6	28.4	7.1	6.1	珩質頁岩	
230	258	158土	覆土	回石	117	91	35	518.9	凝灰岩		
231	260	159土	覆土	スケレイベー類	背面両側、底面一側縁調整	30.0	19.4	7.8	3.2	珩質頁岩	
231	261	162土	覆土	石鏃	有基凸基	27.9	15.1	5.0	1.5	珩質頁岩	
231	262	162土	覆土	スケレイベー類	両面両側縁調整	22.5	42.7	10.2	7.9	珩質頁岩	異形石器の可能性有り
231	263	162土	覆土下位	台石	137	102	80	1410.4	デイズタイト		
231	265	167土	覆土	半円状扁平打製石器	131	60	32	342.5	凝灰岩		
231	266	167土	覆土	半円状扁平打製石器	78	76	46	332.6	安山岩		
233	275	169土	覆土	磨石	61	55	33	165.5	安山岩		
233	278	170土	覆土	礫石	69	49.5	35	173.6	チャート	磨石の可能性有り	
233	279	170土	覆土	半円状扁平打製石器	80	84	33	334.0	安山岩		
233	289	171土	覆土	回石	171	65	49	696.6	凝灰岩		
234	281	172土	覆土	スケレイベー類	片面一側縁調整(錯交)	55.4	29.4	16.3	23.9	珩質頁岩	
234	282	172土	覆土	回石	89	62	40	204.2	凝灰岩		
234	285	176土	覆土	磨石	36.8	43.5	21.2	36.7	珩質頁岩	磨石	
235	297	177土	覆土	礫石	87	69	32	240.2	チャート	磨石	
235	298	177土	覆土	回石	91	74	24	208.0	安山岩		
236	302	181土	覆土	スケレイベー類	両面周縁調整(側面)	44.0	23.9	10.0	9.0	珩質頁岩	尖頭部
236	306	187土	底面	石槍	93.3	38.7	13.6	45.9	黒曜石	側縁に磨れ	
236	308	188土	覆土	礫石(割縁部)	90	52	20.5	135.9	頁岩		
237	313	189土	覆土	磨石	143	70	61	839.2	凝灰岩		
239	316	194土	覆土	スケレイベー類	背面一側縁調整	67.1	33.6	8.4	17.1	珩質頁岩	
239	318	195土	覆土	石鏃	有基凸基	32.8	13.4	5.6	1.7	珩質頁岩	
239	319	195土	覆土	半円状扁平打製石器	103	54	28	222.2	安山岩		
239	321	196土	覆土	石鏃か	無基尖基か	33.4	16.8	7.5	3.9	珩質頁岩	未製品か
239	322	196土	覆土	磨石	86	68	30	226.8	凝灰岩		
239	325	199土	覆土	回石	72	66	52	295.6	安山岩		
242	334	201土	覆土	石鏃	有基凸基	48.9	18.2	5.2	3.8	珩質頁岩	基部にアスファルト付着か
242	336	204土	覆土	砥石	79	89	14	76.4	中粒砂岩		
242	337	208土	覆土	石鏃	33.3	19.7	5.2	2.7	珩質頁岩		
242	338	208土	覆土	打製石斧	磨片石斧	80	54	14	87.8	安山岩	
243	344	217土	覆土	石鏃	79.8	31.1	14.0	26.0	珩質頁岩	尖頭部	
243	345	218土	3	礫石	79.5	51	38	261.9	閃緑岩	石斧利用	
243	346	218土	6	半円状扁平打製石器	80	72	28	232.0	安山岩		
244	352	220土	覆土	石鏃	有基平基	33.7	11.4	5.2	1.7	珩質頁岩	

土坑出土ミニチュア土器観察表

図	番号	遺構名	層位	器種	口径 (mm)	直径 (mm)	器高 (mm)	重さ (g)	外観文様			備考
									口縁部	胴部上半	胴部下半	
209	84	71土	覆土	鉢			(43)	19.6	無文	無文	無文	突起
210	89	72土	覆土	脚付か			(27)	4.9	無文	無文	無文	
210	90	72土	床面直上	深鉢		53	(19)	40.1			LR	
210	91	72土	底面直上	深鉢			(75)	21.2		沈線	沈線	
218	157	101土	覆土	深鉢			(56)	18.4	L押(横位)	L押(横位)	L押(横位)	
225	211	122土	覆土上位	台付鉢	-	53	-	90.1			単線1A(B)	
231	267	167土	覆土	鉢	100.1	59	93	118.6	無文	無文	無文	未検?
233	276	179土	覆土	脚付		(50)	(15)	7.1			無文	
239	317	194土	覆土	脚付		32	(30)	48.5			無文	
239	324	197土	覆土下位	脚付	43	32	50	58.8	無文	無文	無文	調整時のナゲ取跡者
242	340	210土	覆土	鉢小		長軸(28) 短軸(25)	(26)	13.3			無文	

土坑出土土製品観察表

図	番号	遺構名	層位	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	文様		種類	備考
								裏面	裏面		
199	10	19土	覆土	46	43.5	8	18.8	L.R.沈線		土器片利用円盤	
199	11	19土	覆土	45	25	12	12.2	L.R.無		土器片利用土製品	
206	59	49土	覆土	41	39	14	16.4	不明		土器片利用円盤	器山等減
213	113	79土	覆土	31	27	13	7.2	無文	無文	不明土製品	
216	138	89土	5	31	28	13	9.3	単線1(B小)		土器片利用円盤	
225	207	121土	覆土	34	32	10	9.6	縁凹み		土器片利用円盤	器山等減
225	212	122土	覆土	(S2)	41	11.5	19.2	多線(L)		土器片利用円盤	
226	223	128土	覆土	52	30.5	7	20.4	無文か		土器片利用円盤	
229	247	148土	覆土	40	38	16	22.2	(前)沈線,刺突	(前)沈線,刺突	土俵(胴部)	
233	277	170土	覆土	36	36	11	11.0	縁突1(B・R)		土器片利用円盤	
236	305	183土	覆土	36	32	10	14.0	単線1A(B・L)		土器片利用円盤	
239	326	198土	覆土	37	29	13	15.1	無文		土器片利用円盤小	
242	339	210土	覆土上位	46	45	14	27.8	細沈線,刺突	細沈線,刺突	土俵(胴部)	

土坑出土石製品観察表

図	番号	遺構名	層位	器種	分類基準	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石質	備考
201	20	23土	1	石棒小		(197)	(81)	75	1532.7	安山岩	披削痕
206	57	40土	覆土	石棒		(76)	(54)	61	430.1	凝灰岩	
216	141	91土	底面	石製品	器柄小	(118)	(84)	18	127.7	シルト岩	
225	208	121土	覆土	石製品	板状石製品	108	94	36	247.6	凝灰岩	
229	245	142土	覆土	石棒		(228)	89	67	896.7	凝灰岩	遺構間接合
		148土	底面						1255.8		
233	273	168土	覆土	石棒小		(100)	(95)	71	907.4	凝灰岩	石棒破片の可能性有り
234	283	172土	底面	石棒		(118)	75	65	762.1	凝灰岩	142土出土破片と接合の可能性有り
242	341	210土	覆土下位	石製品	板状石製品	(79)	44	22	130.6	粗粒玄武岩	

埋設土器出土土器観察表

図 番号	遺構名	層位	器種	部位	外面文様・調整	内面調整	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	型式名	時期	備考	
247	1	1埋	埋設土器	深鉢	胴部	結束1(Ⅱ-1R)	ミガキ (厚紙)	—	—	円筒下層4 ～上層a	前期末～ 中期前半	図247-2同1	
247	2	1埋	埋設土器	深鉢	底部	胴部・結束1(Ⅱ-1R)、底面ミガキ	ミガキ (厚紙)	—	9.8 (6.9)	円筒下層4 ～上層a	前期末～ 中期前半	図247-1同1	
247	3	2埋	埋設土器	深鉢	胴～底部	単線1A(Ⅱ-1R)	ミガキ (厚紙)	—	15.5 (30.1)	円筒下層4	前期末	織部・海綿骨針含、 外面風化	
247	4	3埋	埋設土器	深鉢	口縁(Ⅱ) ～胴部上	貼付(Ⅱ多夾押)、口縁部:ⅡR 多夾押、胴突、胴部:ⅡR斜	ミガキ	—	(8.1)	円筒下層42 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	図247-5-6同1・2 織部含	
247	5	3埋	埋設土器	深鉢	胴部	ⅡR斜、結回(Ⅱ)縦	ミガキ	—	(8.7)	円筒下層42 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	図247-4-5同1・2 織部含	
247	6	3埋	埋設土器	深鉢	底部	ⅡR斜・Ⅱ、結回(Ⅱ)縦、胴部付 タテアタ西し	ミガキ	—	(13.2)	円筒下層42 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	図247-4-5同1・2 織部含	
247	8	4埋	埋設土器	深鉢	口縁～胴 部	底状口縁(Ⅱ単位機)、隆帯(胴 突)、口唇:ⅡR横、胴突、口縁部: 単線5種(Ⅱ斜)一部、胴突、胴 部:単線5種(Ⅱ)	ミガキ	[31.4]	—	円筒下層42	前期末	海綿骨針含、内面 炭化物少量付着	
247	9	5埋	埋設土器	深鉢	口縁～胴 部	口縁部:ⅡR斜、胴部:ⅡR横	ミガキ	32.2	—	円筒下層42 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	織部・海綿骨針含、 外面炭化物少量付着	
248	10	6埋	埋設土器	深鉢	口縁～ 胴部下	底状口縁(Ⅱ単位機)、隆帯・ 貼付(Ⅱ斜)、口縁部:ⅡR斜、 胴部:ⅡR横	ミガキ (厚紙)	[37.3]	—	円筒上層a2	中期前半	織部含、内外上層 炭化物少量付着、外 面磨滅跡着	
248	12	7埋	埋設土器	深鉢	胴部下 ～底部	単線1A(Ⅱ-1R)、底面:ミガキ	ミガキ	—	14.2 (20)	円筒下層4	前期末	織部含	
248	13	8埋	埋設土器	深鉢	胴部(胴突)、口縁部:ⅡR斜、胴 部:単線1A(Ⅱ-1R)、底面:ミガキ	ミガキ	—	14.5 (32.7)	円筒下層42	前期末	織部・海綿骨針含		
248	14	9埋	埋設土器	深鉢	底状口縁(Ⅱ単位機)、隆帯、口 唇:胴突、口縁部:ⅡR斜、胴部: 単線1A(Ⅱ)、底面:ミガキ	ミガキ	[26]	11.2	39	円筒下層42	前期末	織部・海綿骨針含	
248	15	10埋	埋設土器	深鉢	胴～底部	結束1(ⅡR-Ⅱ斜・Ⅱ)横、底面: ミガキ	ミガキ	—	10.5 (14.9)	円筒下層4	前期末	織部含	
249	16	11埋	埋設土器	深鉢	口縁(Ⅱ) ～底部	底状口縁(Ⅱ単位機)、隆帯(Ⅱ 斜)、貼付(Ⅱ斜)、口縁部:ⅡR斜、 胴部:ⅡR横・Ⅱ斜、結回(Ⅱ)縦	ミガキ (厚紙)	[31]	14.7	口径 (24.5) 底径 (15.6)	円筒上層a1	中期初頭	織部・海綿骨針含、 外面摩滅、炭上質 灰
249	17	12埋	埋設土器	深鉢	胴部下	単線1A(Ⅱ-1R・ⅡR本)	ミガキ	—	—	円筒下層4	前期末		
249	18	13埋	埋設土器	深鉢	胴部下 ～底部	結束1(ⅡR-Ⅱ)	ミガキ	—	[13]	円筒下層 ～上層	織文	織部含	

埋設土器出土石器観察表

図 番号	遺構名	層位	器種	分類基準	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	材質	備考
247	7	3埋	1	磨石(削摩鏡)	121	60	38	406.0	粘灰岩	
248	11	6埋	1	磨石	63	62	27	138.9	安山岩	

ピット出土石器観察表

図 番号	遺構名	層位	器種	分類基準	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	材質	備考	
251	1	47ピット	覆土	磨製石斧	78	51	17	122.3	粘灰岩		
251	2	54ピット	覆土	石鏃	無家尖基	36.9	19.5	10.8	6.5	粘質頁岩	
251	3	57ピット	覆土	スクレイパー	両面周縁調整	42.2	24.2	13.2	12.0	粘質頁岩	石鏃未製品か
251	4	79ピット	覆土	石鏃	無家尖基	37.6	12.7	4.2	1.6	粘質頁岩	
251	5	80ピット	覆土	磨製石斧	87	38	17	99.0	緑色岩		

捨て場出土土器観察表

図	遺構名	出土地点 層位	深層	部位	外観文様・胎土	内面調査	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	型式名	時期	備考
253	1 捨	VI-V-206 層	深鉢	口縁～底部	隆帯(衝突型)、口縁部:L-1R押、胴部:結実(L-R)、底面:ニギギキ	ナゾ	[16.3]	[7.8]	18.2	円筒下層41	前期末	織鉢含、緒袴1ヶ所
253	2 捨	VI-V-207 層	深鉢	口縁～底部	口縁:L-1R押(底面)、胴部:結実(L-R)、底面:ニギギキ	ニギギキ	[18.1]	8.8	20.4	円筒下層41	前期末	織鉢・海綿骨針含、胴内下炭化物少量付着
253	3 捨	VI-V-206 層	深鉢	口縁～底部	隆帯(衝突)、口縁部:L-1R押、胴部:結実(L-R)、底面:ニギギキ、結実(L-R)・底・底面:ニギギキ	ニギギキ	15.2	9	21	円筒下層41	前期末	織鉢・海綿骨針含
253	4 捨	VI-V-206 層	深鉢	口縁～胴部下	隆帯(衝突)、口縁部:L-1R押、胴部:結実(L-R)・底・底面:ニギギキ	ニギギキ	20.2	—	(21.0)	円筒下層41	前期末	織鉢含、胴外上・胴内下炭化物少量付着
253	5 捨	VI-V-207 層	深鉢	口縁～底部	隆帯(衝突)、口縁部:L-1R押、胴部:結実(L-R)・底・底面:ニギギキ、結実(L-R)・底・底面:ニギギキ	ナゾ	16.3	10	24.2	円筒下層41	前期末	織鉢含
253	6 捨	VI-V-206 層	深鉢	口縁～底部	口縁:L-1R押、胴部:単筋1A(L-R)、底面:ニギギキ	ニギギキ	19	11	24.4	円筒下層41	前期末	織鉢含、胴内下少量炭化物付着
253	7 捨	VI-V-206 層	深鉢	口縁～底部	口縁部:L-1R押、胴部:結実(L-R)・底・底面:ニギギキ	ニギギキ	[18]	9.4	24.4	円筒下層41	前期末	織鉢含、胴内下炭化物少量付着
253	8 捨	VI-V-206 層	深鉢	口縁～底部	口唇:L-1R推、口縁部:L-1R押、胴部:結実(L-R)・底・底面:ニギギキ	ニギギキ	22.8	13.2	24.8	円筒下層41	前期末	織鉢・海綿骨針含
253	9 捨	VI-V-207-208 層	深鉢	口縁～胴部下	底状口縁(4単位)、口唇:L-1R推、口縁部:L-1R押、胴部:結実(L-R)・底・底面:ニギギキ	ニギギキ	[22]	—	(23.0)	円筒下層41	前期末	織鉢含、胴内下炭化物少量付着
254	10 捨	VI-V-207 層	深鉢	口縁～胴部下	底状口縁(4単位)、隆帯(衝突)、口唇:L-1R推、口縁部:L-1R押、胴部:結実(L-R)・底・底面:ニギギキ	ニギギキ	22.3	—	(26.7)	円筒下層41	前期末	織鉢・海綿骨針含
254	11 捨	VI-V-206 層	深鉢	口縁～胴部下	隆帯(衝突)、口唇:L-1R推、口縁部:L-1R押、胴部:単筋1A(L-R)	ニギギキ	22.3	—	(26.8)	円筒下層41	前期末	織鉢含
254	12 捨	VI-V-206 層	深鉢	口縁～底部	隆帯(衝突)、口唇:L-1R推、口縁部:L-1R押、胴部:結実(L-R)・底・底面:ニギギキ	ニギギキ	24	14.4	27.4	円筒下層41	前期末	織鉢・海綿骨針含
254	13 捨	VI-V-206 層	深鉢	口縁～底部	隆帯(衝突)、口唇:L-1R推、口縁部:L-1R押、胴部:結実(L-R)・底・底面:ニギギキ	ニギギキ	23.3	13.8	27.8	円筒下層41	前期末	織鉢・海綿骨針含、胴内下炭化物付着
254	14 捨	VI-V-206 層	深鉢	口縁～底部	隆帯(衝突)、口唇:L-1R推、口縁部:L-1R押、胴部:結実(L-R)・底・底面:ニギギキ	ニギギキ	21.4	13.2	27.9	円筒下層41	前期末	織鉢含、胴外上炭化物少量付着
254	15 捨	VI-V-207 層	深鉢	口縁～底部	隆帯(衝突)、口唇:L-1R推、口縁部:L-1R押、胴部:結実(L-R)・底・底面:ニギギキ	ニギギキ	22.3	12.3	28	円筒下層41	前期末	織鉢・海綿骨針含、内面炭化物付着、緒袴1ヶ所
255	16 捨	VI-V-206 層	深鉢	口縁～底部	隆帯(単筋5R押)、口唇:L-1R推、口縁部:L-1R押、胴部:結実(L-R)・底・底面:ニギギキ	ニギギキ	[18.3]	12	29.2	円筒下層41	前期末	織鉢含
255	17 捨	VI-V-207 層	深鉢	口縁～底部	口唇:L-1R推、胴部:結実(L-R)・底・底面:ニギギキ	ニギギキ	18.4	11	29.2	円筒下層41	前期末	胴外上・胴内下炭化物少量付着
255	18 捨	VI-V-207 層	深鉢	口縁～底部	隆帯(衝突)、口縁部:単筋1A(L-R)押、胴部:単筋1A(L-R)、底面:ナゾ	ニギギキ	15.4	[12.3]	30.2	円筒下層41	前期末	織鉢・海綿骨針含、胴内下炭化物少量付着
255	19 捨	VI-V-207 層	深鉢	口縁～底部	隆帯(衝突)、口唇:L-1R推、口縁部:L-1R押、胴部:単筋1A(L-R)、結実(L-R)・底・底面:ニギギキ	ニギギキ	26.5	16	31.2	円筒下層41	前期末	織鉢・海綿骨針含、胴外上炭化物少量付着
255	20 捨	VI-V-207-208 層	深鉢	口縁～底部	底状口縁(4単位)、隆帯(衝突)、口唇:L-1R推、口縁部:L-1R押、胴部:結実(L-R)・底・底面:ニギギキ	ニギギキ	[16]	12.6	(31.7)	円筒下層41	前期末	胴外上炭化物付着
255	21 捨	VI-V-206-207 層	深鉢	口縁～底部	隆帯(衝突)、口唇:L-1R推、口縁部:L-1R押、胴部:結実(L-R)・底・底面:ニギギキ	ニギギキ	[17.6]	11.6	32.5	円筒下層41	前期末	織鉢・海綿骨針含、胴外上炭化物少量付着
256	22 捨	VI-V-206 層	深鉢	口縁～底部	口唇:L-1R推、口縁部:L-1R押、胴部:単筋1A(L-R)、結実(L-R)	ニギギキ	25.6	11.2	33.1	円筒下層41	前期末	織鉢含
256	23 捨	VI-V-207 層	深鉢	口縁～底部	隆帯(衝突)、口唇:L-1R推、口縁部:L-1R押、胴部:結実(L-R)・底・底面:ニギギキ	ニギギキ	[20.3]	13.5	34.6	円筒下層41	前期末	織鉢含
256	24 捨	VI-V-207 層	深鉢	口縁～底部	隆帯(衝突)、口唇:L-1R推、口縁部:L-1R押、胴部:結実(L-R)・底・底面:ニギギキ	ニギギキ	[21.4]	[12.6]	35.1	円筒下層41	前期末	織鉢・海綿骨針含
256	25 捨	VI-V-206 層	深鉢	口縁～底部	隆帯(衝突)、口唇:L-1R推、口縁部:L-1R押、胴部:結実(L-R)・底・底面:ニギギキ	ニギギキ	[26.7]	[15.7]	36.3	円筒下層41	前期末	織鉢・海綿骨針含、胴外上炭化物少量付着
257	26 捨	VI-V-207 層	深鉢	口縁～胴部下	隆帯(衝突)、口唇:L-1R推、口縁部:L-1R押、胴部:単筋1A(L-R)、結実(L-R)・底・底面:ニギギキ	ニギギキ	[26.5]	—	(36.8)	円筒下層41	前期末	織鉢・海綿骨針含
257	27 捨	VI-V-206 層	深鉢	口縁～底部	底状口縁(3単位)、隆帯(衝突)、口唇:L-1R推、口縁部:L-1R押、胴部:結実(L-R)・底・底面:ニギギキ	ニギギキ	27	14.9	37.4	円筒下層41	前期末	織鉢・海綿骨針含
257	28 捨	VI-V-207 層	深鉢	口縁～底部	口唇:L-1R推、口縁部:L-1R押、胴部:結実(L-R)・底・底面:ニギギキ	ニギギキ	26.3	16	(43.5)	円筒下層41	前期末	織鉢含
257	29 捨	VI-V-206 層	深鉢	口縁～底部	底状口縁(4単位)、口唇:L-1R推、口縁部:L-1R押、胴部:結実(L-R)・底・底面:ニギギキ	ニギギキ	[29.4]	12.2	43.6	円筒下層42	前期末	織鉢含
258	30 捨	VI-V-207 層	深鉢	口縁～胴部下	底状口縁(4単位)、隆帯(衝突)、口唇:L-1R推、口縁部:L-1R押、胴部:結実(L-R)・底・底面:ニギギキ	ニギギキ	[18.5]	—	(23.4)	円筒下層42	前期末	織鉢・海綿骨針含
258	31 捨	VI-V-206-207 層	深鉢	口縁～胴部下	底状口縁(4単位)、隆帯(衝突)、口唇:L-1R推、口縁部:L-1R押、胴部:結実(L-R)・底・底面:ニギギキ	ニギギキ	21.5	—	(25.6)	円筒下層42	前期末	織鉢・海綿骨針含、胴外上炭化物少量付着
258	32 捨	VI-V-206 層	深鉢	口縁～底部	4単位突起、口唇:L-1R推、口縁部:L-1R押、胴部:結実(L-R)・底・底面:ニギギキ	ニギギキ	22.8	12.2	24.6	円筒下層42	前期末	内面炭化物付着
258	33 捨	VI-V-207 層	深鉢	口縁～底部	突起状隆帯(4単位突起)、口唇:L-1R推、口縁部:L-1R押、胴部:結実(L-R)・底・底面:ニギギキ	ニギギキ ナゾ	[19]	[10.5]	29.1	円筒下層42	前期末	織鉢・海綿骨針含、胴外上炭化物少量付着

図 番 号	遺構名	出土地点 層位	種類	部位	外観・文様・調整	内装調整	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	型式名	時期	備考	
													長さ (cm)
258	34	1階	VIY-207 Ⅲ	深鉢	口縁～底部	突起(1単位残)、隆帯(削突、1段押)、口縁部:1段押、胴部:単絡1A(0)、1段横底面:ミガキ	ミガキ	[22.5]	10	29.4	円筒下層42	前期末	繊維・海綿骨針含、胴内下炭化物少量付着
258	35	1階	VIY-206 Ⅲ	深鉢	口縁～底部	口縁部:1段押、削突、胴部:単絡1(0)、結回(0)横	ミガキ	23.4	[10]	32.2	円筒下層42	前期末	繊維・海綿骨針含
258	36	1階	VIY-206 Ⅲ	深鉢	口縁～胴部下	突起(1単位残)、隆帯(削突)、隆帯(1段押)、口縁部:1段押、胴部:単絡1A(0)、結回(0)横	ミガキ	[27.7]	—	(35)	円筒下層42	前期末	繊維含、補修孔1ヶ所
259	37	1階	VIY-206-207 Ⅲ	深鉢	口縁～底部	突起(1単位残)、隆帯(削突)、隆帯(1段押)、口縁部:1段押、胴部:単絡1A(0)、結回(0)横	ミガキ	[27.9]	12.8	40.2	円筒下層42	前期末	繊維・海綿骨針含、胴内下炭化物少量付着、補修孔2ヶ所
259	38	1階	VIY-207 Ⅲ	深鉢	口縁～底部	突起(1単位残)、隆帯(削突)、隆帯(1段押)、口縁部:1段押、胴部:単絡1A(0)、結回(0)横	ミガキ	27.5	17	41.1	円筒下層42	前期末	繊維・海綿骨針含
259	39	1階	VIY-207 Ⅲ	深鉢	口縁～底部	突起(1単位残)、隆帯(削突)、隆帯(1段押)、口縁部:1段押、胴部:単絡1A(0)、結回(0)横	ミガキ	[41.2]	13.6	54	円筒下層42	前期末	繊維・海綿骨針含、胴内下炭化物少量付着
260	40	1階	VIY-207 Ⅲ	深鉢	口縁～底部	口唇1段横、口縁部:1段押、削突、胴部:1段横、結回(0)横	ミガキ	29	[16]	44.1	円筒下層42	前期末	繊維含
260	41	1階	VIY-206 Ⅲ	深鉢	胴部～底部	結回(0)横、結回(0)横、1段横、1段押	ナゲ	—	8	(14)	円筒下層42	前期末	繊維含
260	42	1階	VIY-206 Ⅲ	深鉢	口縁(欠)～底部	隆帯(単絡1(0)-1段押)、口縁:単絡1(0)-1段押、胴部:1段横、底面:ミガキ	ミガキ	—	9.8	(19.1)	円筒下層42	前期末	繊維・海綿骨針含
260	43	1階	VIY-207 Ⅲ	深鉢	口縁～底部	4単位突起、隆帯(削突)口唇1段横、口縁部:1段押、結回(0)横、胴部:1段横、結回(0)横、底面:ミガキ	ミガキ	24	11.5	32.5	円筒下層42 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含、胴内下炭化物少量付着
260	44	1階	VIY-207 Ⅲ	深鉢	口縁～底部	突起(1単位残)、隆帯(削突)、口唇:1段押、口縁部:1段押、胴部:1段横、削、結回(0)横、底面:ミガキ	ミガキ	24.6	10.5	37.7	円筒下層42 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維含、胴内下炭化物少量付着
261	45	1階	VIY-206 Ⅲ	鉢	口縁～底部	結回(0)横、結回(0)横	ミガキ	[15.3]	7.4	18.3	円筒下層42 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維含、胴内下炭化物少量付着、補修孔1ヶ所
261	46	1階	VIY-206 Ⅲ	深鉢	口縁～底部	1段横、削、底面:ミガキ	ナゲ	[19]	[9.4]	(25.8)	円筒下層42 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維含
261	47	1階	VIY-206 Ⅲ	深鉢	口縁～底部	1段横、底面:ミガキ	ミガキ	[20.7]	[10.6]	27.3	円筒下層42 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含、胴内下炭化物少量付着
261	48	1階	VIY-207 Ⅲ	深鉢	口縁～底部	1段横(多条)横	ミガキ	[24.5]	[12.2]	29	円筒下層42 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含
261	49	1階	VIY-206 Ⅲ	深鉢	口縁～底部	口唇:1段横、口縁～胴部:1段横、結回(0)横、底面:ミガキ	ミガキ	[21.5]	[11.4]	30.1	円筒下層42 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含

捨て場出土土製品観察表

図 番 号	遺構名	出土地点	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	文 様		種 類	備 考
								数量	表面		
261	50	1階	VIY-206 Ⅲ	33	32.5	10	12.1	単絡1A(0-0)		土器片利用円盤	盲孔有り
261	51	1階	VIY-207 Ⅲ	34	33.5	9	11.9	沈線		土器片利用円盤	
261	52	1階	VIY-206 Ⅲ	52	47	14	29.8	多絡(0)		土器片利用円盤	
261	53	1階	VIY-206 Ⅲ	60	52	12	24.8	結回(0-0)		土器片利用円盤	
261	54	1階	VIY-207 Ⅲ	(50)	(32)	9	8.0	単絡1(0)		土器片利用土製品	

捨て場出土石器観察表

図	番号	遺構名	層位	器種	分類基準	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石質	備考
262	55	1捨	Ⅲ	石鏃	無家尖基	22.9	17.8	4	1.4	珩質頁岩	
262	56	1捨	Ⅲ	石鏃	無家尖基	49.8	18.6	5.5	4.2	珩質頁岩	棒葉形
262	57	1捨	Ⅲ	石鏃	有家尖基	39.5	18.9	8.2	4.8	珩質頁岩	
262	58	1捨	Ⅱ	石鏃	有家尖基	32.8	14.9	5.5	2.2	珩質頁岩	
262	59	1捨	Ⅲ	石鏃	無家尖基	24.2	14.3	7.6	2.5	玉髓	
262	60	1捨	Ⅲ	石鏃		31.1	14.9	9.2	4.1	黒曜石	小型石鏃か、棒葉形
262	61	1捨	Ⅲ	石鏃		56.2	29.1	15.2	18.1	玉髓質珩質頁岩	
262	62	1捨	Ⅱ	石鏃	扇形	55.4	31.7	10.8	19.6	珩質頁岩	直刃
262	63	1捨	Ⅲ	石鏃	扇形石鏃	70	21.4	10.7	15.3	珩質頁岩	腹面に光沢
262	64	1捨	Ⅱ	石鏃	扇形石鏃	57.6	34	6.4	13.1	珩質頁岩	両縁急角度調整
262	65	1捨	Ⅲ	石鏃	扇形石鏃	38.4	50	9.4	13.6	珩質頁岩	腹面に光沢
262	66	1捨	Ⅲ	石鏃	扇形石鏃	29.5	52.7	6.8	8.8	珩質頁岩	腹面に光沢
262	67	1捨	Ⅱ	石鏃	斜軸形石鏃	37	65.2	13.7	25.6	玉髓	
262	68	1捨	Ⅲ	石鏃	斜軸形石鏃	26.4	43.6	7.5	8.1	珩質頁岩	
262	69	1捨	Ⅲ	石鏃	斜軸形石鏃	21.1	14.2	4.5	1.4	珩質頁岩	
262	70	1捨	Ⅱ	楔形石器		34	24.5	11.1	8.4	珩質頁岩	
262	71	1捨	トレン チャー	スタレイベー型	両面両縁調整	33.3	18.3	6.8	4.6	珩質頁岩	
262	72	1捨	I	スタレイベー型	両面両縁調整	40.4	25.4	8.3	8.2	珩質頁岩	本葉形
262	73	1捨	Ⅲ	スタレイベー型	両面両縁調整	40.8	45.5	15.4	28.2	珩質頁岩	
262	74	1捨	Ⅲ	スタレイベー型	両面調整	41.5	16.5	7.8	5.7	珩質頁岩	斜角具か石鏃片再調整品の可能性有り
262	75	1捨	Ⅱ	スタレイベー型	両面両縁調整	45	33.2	16.1	23.2	珩質頁岩	
262	76	1捨	Ⅱ	スタレイベー型	両面両縁調整	50.4	26.8	16.9	20.3	珩質頁岩	
262	77	1捨	Ⅲ	スタレイベー型	背面両縁調整	29.4	52.6	6.5	11.7	珩質頁岩	
263	78	1捨	Ⅲ	スタレイベー型	両面両縁調整(基端部)	29.9	33.5	10.2	13.9	珩質頁岩	
263	79	1捨	Ⅲ	スタレイベー型	両面両縁調整	29.4	32.3	15.7	10.6	珩質頁岩	再調整か
263	80	1捨	Ⅲ	スタレイベー型	背面一側縁調整(端部)	65.8	54	18.3	50.0	珩質頁岩	
263	81	1捨	Ⅲ	スタレイベー型	背面両側縁調整/背面一側縁調整(一辺)	25.4	19.8	6.1	3.6	珩質頁岩	
263	82	1捨	Ⅲ	スタレイベー型	背面一側縁調整	28.6	16.3	5.8	3.1	珩質頁岩	
263	83	1捨	Ⅲ	スタレイベー型	背面一側縁調整	40.4	35.2	11.1	11.7	珩質頁岩	
263	84	1捨	Ⅲ	スタレイベー型	両側縁片面調整	23.9	26	9.6	3.9	珩質頁岩	
263	85	1捨	Ⅲ	スタレイベー型	両側縁片面調整(結交)	44	28	11.9	9.4	珩質頁岩	
263	86	1捨	Ⅲ	スタレイベー型	両側縁片面調整(結交)	45.4	25.4	5.6	6.0	珩質頁岩	
263	87	1捨	Ⅲ	スタレイベー型	背面両縁調整	78.5	60.5	25.1	102.5	頁岩	
263	88	1捨	Ⅲ	スタレイベー型	背面両縁調整	58	19.4	8.8	6.6	珩質頁岩	
263	89	1捨	Ⅲ	スタレイベー型	両面一側縁調整(基端部)	26.8	26	8.8	7.0	珩質頁岩	
263	90	1捨	Ⅱ	磨製石斧		83	38	12	52.8	頁岩	換入扁平磨製石器の可能性有り
263	91	1捨	Ⅲ	磨製石斧	石刃か	44	15	10	10.1	緑色岩	
263	92	1捨	Ⅲ	燧石		73	48	44	132.6	安山岩	縁赤線有り
263	93	1捨	Ⅲ	燧石		85	45	41	111.1	凝灰岩	
264	94	1捨	Ⅲ	燧石		88	67	29	273.1	凝灰岩	
264	95	1捨	Ⅲ	半円状扁平打製石器		111	85	37	491.2	安山岩	
264	96	1捨	Ⅲ	半円状扁平打製石器		90	79	22	236.6	安山岩	
264	97	1捨	Ⅲ	半円状扁平打製石器		121	51	25	177.2	安山岩	
264	98	1捨	Ⅲ	半円状扁平打製石器		94	83	21	207.0	安山岩	
264	99	1捨	Ⅱ	半円状扁平打製石器		104	92	22	271.0	安山岩	
264	100	1捨	Ⅲ	磨り切り具		104	59	13	115.2	安山岩	木使用品か
264	101	1捨	Ⅲ	燧石		75	71	40	126.4	凝灰岩	
264	102	1捨	Ⅲ	燧石		95	81	18	211.5	デイサイト	

溝状土坑出土石器観察表

図	番号	遺構名	層位	器種	分類基準	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石質	備考
266	1	5溝土	埋土	石鏃		22.1	12.9	6.8	2.2	玉髓	

遺構外出土土器観察表

器 番号	出土 地帯	層位	器種	部位	外面文様・調整	内面調整	口縁 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	型式名	時 期	備 考
208 1	VfO-208	IV	深鉢	頸～胴部	胴部:R押小,胴部:LR(斜)	指田川底 条痕			(9.4)	早稲田5B	早期末	織津舎
208 2	VfO-214	IV	深鉢	胴部	LR,肌(横)	ナゲ			(7.2)	早稲田5Ba	早期末小	織津舎
208 3	VfL-201	II	深鉢	胴部	平竹刺突	ナゲ			(5.9)	表館	前期南葉	
208 4	VfN-207	I	深鉢	頸～胴部	平竹刺突,刺突	ナゲ			(4.3)	表館	前期南葉	織津舎
208 5	VfN-201	II	深鉢	口縁	波状口縁,押引き沈線	ナゲ			(4.2)	早稲田5Bb	前期南葉	織津舎
208 6	VfN-202	III	深鉢	口縁	波状口縁,押引き沈線	ナゲ			(3.8)	早稲田5Bb	前期南葉	織津舎
208 7	VfL-206	III	深鉢	口縁	波状口縁,押引き沈線	ナゲ			(3.4)	早稲田5Bb	前期南葉	織津舎
208 8	VfN-203	III	深鉢	口縁	LR(横)	ミガキ			(2.4)	早稲田5Bb	前期南葉	織津舎
208 9			表探	深鉢	LR(横)	ミガキ			(7.5)	早稲田5Bb	前期南葉	織津舎
208 10	VfO-202	II	深鉢	口縁	肌(横),組織小	ミガキ			(5.7)	早稲田5Bb	前期南葉	織津舎
208 11	VfT-208	II	深鉢	口縁	口唇部:LR,口縁部:LR	ミガキ			(4.8)	早稲田5Bb	前期南葉	織津舎
208 12	VfO-222	III	深鉢	口縁	口唇部:沈線,口縁部:R結回,胴部 上半:付加条	ミガキ			(5.5)	円筒下層a～b	前期中葉	織津舎
208 13	VfS-214	I	深鉢	口縁	口唇部:R,押小,口縁部:結回	ミガキ			(6.5)	円筒下層a～b	前期中葉	織津舎
208 14	VfT-207	II	深鉢	口縁	口縁部:R結回	ミガキ			(4.6)	円筒下層a～b	前期中葉	織津舎
208 15	VfR-213	III	深鉢	口縁	口縁部:R結回,上半部:R押	ミガキ			(4.6)	円筒下層a～b	前期中葉	織津舎
208 16	VfT-206	III	深鉢	口縁～胴部	口縁部:結回(肌)	ミガキ			(6.4)	円筒下層a～b	前期中葉	織津舎
208 17	VfS-207	III	深鉢	口縁	口縁部:結回(肌)	ミガキ			(4.3)	円筒下層a～b	前期中葉	織津舎
208 18	VfR-213	III	深鉢	口縁～胴部	隆帯,口縁部:結回小	ミガキ			(6.7)	円筒下層a～b	前期中葉	織津舎
208 19	VfO-211	IV	深鉢	胴部	隆帯(早稲100),口縁部:早稲1 (9)	ナゲ			(5)	円筒下層a～b	前期中葉	織津舎 外面に散在 の片化付着
208 20	VfS-207	I	深鉢	胴部	隆帯(刺突),口縁部:結回(肌)	ナゲ			(5.9)	円筒下層a～b	前期中葉	織津舎
208 21	VfT-206	III	深鉢	胴部	隆帯(押),口縁部:早稲1(肌),胴部 上半:付加条	ナゲ			(6.1)	円筒下層a～b	前期中葉	織津舎
208 22	VfR-220	III	深鉢	口縁部	早稲6(9)	ナゲ小				円筒下層d	前期中葉	
208 23	VfR-218	III	深鉢	口縁部	口縁部:早稲6A(9),R押,胴部上半: 早稲1(9)	ミガキ			(5.4)	円筒下層d	前期中葉	織津舎
208 24	VfO-217	III	深鉢	口縁部	口唇:刺突,口縁部:R押	ミガキ			(2.9)	円筒下層c小	前期後葉小	口唇部に毛土文有り
208 25	VfR-219	IV	深鉢	口縁～胴部	隆帯(竹管刺突),口縁部:R押,竹管 刺突,胴部上半:肌,早稲1 (1LR)	ミガキ			(15.8)	円筒下層d小	前期末	
208 26	VfO-217	III	深鉢	胴～底部	細条状沈線	ナゲ			(10.7)	円筒下層d	前期末	織津舎
208 27	VfT-207	III	深鉢小	胴～底部	細条状沈線	ナゲ			(3.5)	円筒下層d	前期末	
208 28	VfS-208	II	深鉢	胴部	早稲1(L)	早稲1A(L) (L-肌)			(3.3)	円筒下層d	前期末	織津舎
208 29	VfR-219	III	深鉢	口縁～胴部	口縁部:LR,胴部:LR	ミガキ			(20.7)	円筒下層d	前期末	
208 30	VfL-215	III	深鉢	口縁～胴部	肌(横)	ミガキ			(9.4)	円筒下層d	前期末	織津舎
208 31	VfO-217	IV	深鉢	胴部小	早稲1A(L-1),結回(L)	ミガキ				円筒下層d	前期末	
208 32	VfR-211	III	口縁	口縁	口縁部:LR押小	ミガキ			(4.6)	円筒下層d	前期末	織津舎
208 33	VfT-208	II	深鉢小	胴～底部	胴部下半:結回(L),r	ミガキ			(4.3)	織文	織文	
208 34	VfT-207	III	深鉢	胴～底部	胴部下半:結回(L),底部:LR小	ミガキ			(5.4)	円筒下層d	前期	内面に骨炭化物有り
208 35	VfK-220	IV	深鉢	口縁	突起(刺突),早稲1A(L-L-8)	ミガキ			(4.1)	円筒下層d	前期末	織津舎
209 36			深鉢	口縁	竹管刺突,刺突,R押	ミガキ				円筒下層d～ 上層a	前期末～ 中期南葉	
209 37	VfO-220	II	深鉢	口縁	口唇部:短沈線,口縁部:短沈線	ミガキ			(4.3)	円筒下層d～ 上層a	前期末～ 中期南葉	織津舎
209 38	VfL-203	I	深鉢	口縁	突起(竹管刺突),結回(L)	ミガキ			(2.4)	円筒下層d～ 上層a	前期末～ 中期南葉	織津舎
209 39	VfP-217	III	深鉢	口縁	溝孔,口唇:L小R小,口縁部:LR押, 刺突,肌押	ミガキ			(4.7)	円筒下層d～ 上層a	前期末～ 中期南葉	
209 40	VfT-206	III	深鉢	口縁	突起,口唇部:R押,口縁部:R小 +R押	ミガキ			(4.7)	円筒下層d～ 上層a	前期末～ 中期南葉	
209 41	VfT-207	III	深鉢	口縁	口唇部:R押,口縁部:R押,胴部形 状の短沈線	ミガキ			(4)	円筒下層d～ 上層a	前期末～ 中期南葉	
209 42	VfR-203	III	深鉢	口縁	L押,R筋押	ミガキ			(5.1)	円筒下層d～ 上層a	前期末～ 中期南葉	
209 43	VfT-207	III	深鉢	口縁	口唇部:R押,口縁部:R-L押,乳形 押	ミガキ			(4.2)	円筒下層d～ 上層a	前期末～ 中期南葉	
209 44	VfR-211	III	深鉢	口縁	突起(L押),L押,L筋押	ミガキ			(3.4)	円筒下層d～ 上層a	前期末～ 中期南葉	
209 45	VfK-213	IV	深鉢	胴部小	沈線,肌み	ミガキ			(2.5)	朝日下層式	前期末～ 中期初葉	
209 46	VfR-217	III	深鉢	口縁	口唇:R,押小,口縁部:沈線	ミガキ			(1.9)	朝日下層式	前期末～ 中期初葉	
209 47	VfO-217	III	深鉢	口縁～胴部	隆帯(刺突),口縁部:沈線	ミガキ			(4.1)	朝日下層式	前期末～ 中期初葉	
209 48	VfO-216	III	深鉢	口縁	口唇～口縁部:沈線,一部を三角 形状にナゲ流し	ミガキ			(5.7)	朝日下層式	前期末～ 中期初葉	
209 49	VfP-217	III	深鉢	頸～胴部	R押・刺突,胴部上半:Y字状の 沈線,結回(肌)	ミガキ			(5.5)	大木6式	前期末～ 中期初葉	

図 番 号	出土 地点	層位	器種	部位	外面文様・調整		口径 (mm)	底径 (mm)	器高 (mm)	置き (L)	型式名	時 期	備 考
					口縁部	内面調整							
269 50	Vf6-217	Ⅲ	深鉢	胴～胴部	口縁部・沈線、胴部・刺突、沈線	ミガキ			(4.15)		大木6式系	後期末～ 中期初頭	
269 51	Vf6-208	Ⅲ	深鉢	胴部	単筋1(L)、沈線	ミガキ			(5.1)		大木6式系	前期末～ 中期初頭	
269 52	Vf7-207	Ⅲ	深鉢	口縁部	折突、突起、渦巻き状の飾帯、LR	ミガキ			(4.1)		履林か	中期後葉か	
269 53	Vf6-206	Ⅲ	深鉢	胴部	沈線	ナゲ			(6)		履林か	中期後葉か	
269 54	Vf6-220	Ⅲ	深鉢	口縁	上部無文帯、刺突、L、沈線	ミガキ					最花	中期後葉	
269 55	Vf6-207	Ⅱ	深鉢	胴～胴部	無文帯、刺突、L、渦手状の沈線	ミガキ			(5.6)		最花	中期後葉	
269 56	Vf7-206	Ⅱ	深鉢	胴部	竹管刺突、逆U字状の沈線	ミガキ			(3.3)		最花	中期後葉	
269 57	Vf6-219	Ⅲ	深鉢	胴部	粗L、沈線	ミガキ			(3.9)		最花	中期後葉	外面に炭化物付着
269 58	Vf6-207	Ⅱ・Ⅲ	深鉢	口縁～胴部	単筋5(9)	ミガキ			(20.5)		十纏内I	後期前葉	
269 59	Vf6-207	Ⅱ	深鉢	口縁～胴部	波状口縁、沈線	ミガキ			(9.1)		十纏内I	後期前葉	
269 60	Vf6-218	Ⅲ	深鉢	口縁	波状口縁、沈線	ミガキ			(3.9)		十纏内I	後期前葉	
269 61	Vf6-211 付近	試験T	深鉢	胴部	沈線	ミガキ			(7.8)		十纏内I	後期前葉	
269 62	Vf7-207	Ⅱ	深鉢	口縁	突起、沈線	ミガキ			(5.2)		十纏内I	後期前葉	
269 63	Vf6-219	I	深鉢	胴部か	沈線、刺突か	ナゲ			(3.1)		十纏内I <small>か</small>	後期前葉か	
269 64	Vf6-217	I	深鉢	口縁	沈線(横位)	ミガキ			(3.6)		十纏内I	後期前葉	
269 65	Vf7-212	Ⅲ	鉢 <small>か</small>	口縁	横位の沈線、沈線	ミガキ			(2.9)		十纏内I	後期前葉	
269 66	Vf6-211 付近	試験T	深鉢	口縁	波状口縁、沈線	ミガキ			(3.7)		十纏内I	後期前葉	
269 67	Vf6-218	Ⅲ	鉢	底～胴部	沈線(横位)	ミガキ		(4.2)	(2.1)		十纏内I	後期前葉	
269 68	Vf7-215	Ⅲ	深鉢	口縁	沈線(横位)	ミガキ			(4.3)		十纏内I	後期前葉	
269 69	Vf6-217	Ⅲ	深鉢	胴～胴部	沈線(横位・縦位)	ミガキ			(6.4)		十纏内I	後期前葉	
269 70	Vf6-217	Ⅲ	深鉢	胴部	沈線(斜位)	ミガキ			(5.4)		十纏内I	後期前葉	
269 71	Vf6-213	IV	深鉢	口縁～胴部	無文	ミガキ			(13.2)		無文	縄文	
269 72	Vf6-207	Ⅲ	深鉢 <small>か</small>	口縁	無文	ミガキ			(4.3)		縄文	縄文	
269 73	Vf6-218	Ⅲ	深鉢 <small>か</small>	口縁	波状口縁 <small>か</small> 、無文	ミガキ			(4.5)		縄文	縄文	
269 74	Vf6-206	Ⅲ	鉢 <small>か</small>	底～胴部	LR <small>か</small>	ミガキ			(2.6)		縄文	縄文	ミニチュアの可能性 有り
269 75	Vf6-206	IV	深鉢	底部	無文	ミガキ			4.5	(2.2)	縄文	縄文	
269 76	Vf6-205	Ⅲ	壺	底部	ケズリ	ハケナゲ	(9.8)	(3)			土師器	古代	底部に木炭痕有り
270 77	Vf6-212	I	壺	胴部	タタキ	ロクロ			(4.9)		須恵器	古代	
270 78	Vf6-201	カクラン	切取壺	胴部	ロクロ	ロクロ			(8.9)		須恵器	古代	

遺構外出土ミニチュア土器観察表

図 番 号	出土地点	層位	器種	口径 (mm)	底径 (mm)	器高 (mm)	置き (L)	外面文様			備 考
								口縁部	胴部上半	胴部下半	
270 80	Vf6-219	Ⅲ	脚付		36	(33)	21.3			LR	

遺構外出土土製品観察表

図 番 号	出土地点	層位	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	置き (L)	文 様		種 類	備 考
							横	縦		
							沈線	無文		
270 79	Vf6-207	Ⅲ	(42)	(32)	12	12.0	沈線、刺突線	沈線	土偶	
270 81	Vf7-209	Ⅱ	41	34	11	13.6	単筋15・(25)		土器片利用製品	表面摩耗
270 82	Vf7-218	Ⅲ	(61.5)	(32)	16	29.8	無文		土器片利用製品	
270 83	Vf6-215	Ⅲ	50	46	10	26.0	無文		土器片利用製品	
270 84	Vf7-207	Ⅲ	(66)	(55)	13	33.3	無文		土器片利用製品	底部、盲孔有り
270 85	Vf7-213	Ⅲ	(56)	(56)	14	39.3	単筋1A(L-R)		土器片利用製品	盲孔有り
270 86	Vf6-216	Ⅲ	46	43	11	20.2	単筋1A(L-R)		土器片利用製品	盲孔有り
270 87	Vf6-208	IV	31	30	9	7.8	単筋1(R)		土器片利用製品	
270 88	Vf6-220	Ⅲ	42	34	10	15.7	単筋1A5		土器片利用製品	
270 89	Vf6-208		(57)	(36)	8	12.4	不明		土器片利用土製品	
270 90	Vf6-210	Ⅱ	45	40	21	25.9	沈線		不明土製品(土偶 <small>か</small>)	表面に盲孔、貫通孔有り

遺構外出土石器観察表

図	番号	出土地点	層位	器種	分類基準	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石質	備考
271	91	VI-212	II	石鏃	無茎石鏃	46.9	17.8	5	3.5	珪質頁岩	
271	92	VIb-208	III	石鏃	無茎石鏃	39	17.9	5	2.6	燧石	
271	93	VIb-218	III	石鏃	無茎石鏃	37.7	17.9	4.8	2.4	珪質頁岩	平扁小
271	94	VIb-202	V	石鏃	無茎石鏃	26.1	15.2	5.3	2.2	珪質頁岩	
271	95	VI-211	III	石鏃	無茎石鏃	29.9	13.6	5.2	2.3	珪質頁岩	
271	96	VI-207	II	石鏃	無茎石鏃	32.8	14.7	5	2.0	珪質頁岩	
271	97	VI-215	III	石鏃	無茎石鏃	35.6	10.9	3.9	1.5	珪質頁岩	楕圓形
271	98	VI-217	III	石鏃	無茎石鏃	36.9	16.6	5.1	2.8	珪質頁岩	
271	99	VI-222	III	石鏃	無茎石鏃	34.2	12.6	3	1.4	緑色凝灰岩	
271	100	VI-215	カクラン	石鏃	無茎石鏃	36	8.9	3.4	1.0	珪質頁岩	
271	101	VI-207	III	石鏃	無茎石鏃	39.9	11.1	4	1.5	珪質頁岩	楕圓形(細身)
271	102	VI-216	I	石鏃	無茎石鏃	31.4	14	4.8	2.0	珪質頁岩	
271	103	VIb-212	IV	石鏃	無茎石鏃	41.1	16.7	5.2	2.9	珪質頁岩	
271	104	VI-219	II	石鏃	無茎石鏃	51.9	19.4	14.2	11.9	珪質頁岩	楕圓形
271	105	VIb-205	II	石鏃	無茎石鏃	45.7	15.2	9.3	6.4	珪質頁岩	楕圓形
271	106	VI-207	II	石鏃	有茎石鏃	31.1	16.4	6.6	2.4	珪質頁岩	
271	107	VIb-201	II	石鏃	有茎石鏃	27.9	15	6.2	2.1	珪質頁岩	
271	108	VIb-218	III	石鏃	有茎石鏃	26.2	12.3	4.2	1.2	珪質頁岩	
271	109	VIb-209	III	石鏃	有茎石鏃	30	19.1	8.1	3.1	珪質頁岩	
271	110	VI-214	III	石鏃	有茎石鏃	42.2	18.6	6.8	4.3	珪質頁岩	楕圓形
271	111	VIb-209	II	石鏃	有茎石鏃	35	14.7	6.7	2.8	珪質頁岩	楕圓形
271	112	VIb-214	III	石鏃	有茎石鏃	26.6	13.6	4.2	1.1	珪質頁岩	
271	113	VI-217	II	石鏃	有茎石鏃	32.1	19.7	7.2	4.4	珪質頁岩	
271	114	VIb-221	I	石鏃	有茎石鏃	49.9	16.5	5.5	4.1	珪質頁岩	
271	115	VI-218	III	石鏃	有茎石鏃	46.1	15.9	6.5	3.8	珪質頁岩	
271	116	VI-206	III	石鏃	有茎石鏃	45.2	18.4	5.9	3.5	珪質頁岩	
271	117	VI-219	III	石鏃	有茎石鏃	35.6	16.7	5.6	2.7	珪質頁岩	
271	118	VIb-218	III	石鏃	有茎石鏃	29.9	12.7	4.7	1.7	珪質頁岩	
271	119	VIb-217	III	石鏃	有茎石鏃	28.7	16.8	6.1	2.5	珪質頁岩	3軸量計質頁岩
271	120	VIb-201	III	石鏃	有茎石鏃	20.9	16.6	4.7	1.0	燧石	
272	121	VI-217	III	石鏃		55.9	35.6	13.6	29.6	珪質頁岩	
272	122	VI-207	トレンチャー	石鏃		42.6	25.6	7.5	8.1	珪質頁岩	小型石鏃
272	123	VI-206	III	石鏃		35	27.1	10.4	8.0	珪質頁岩	小型石鏃
272	124	VI-206	III	石鏃		41.5	24.6	9.2	8.2	珪質頁岩	小型石鏃
272	125	VIb-211	II	石鏃		26.4	23.6	12.2	7.6	珪質頁岩	小型石鏃
272	126	VIb-212	III	石鏃	短形	54.2	23.6	18	24.2	珪質頁岩	石鏃の可能性有り
272	127	VIb-213	III	石鏃	楕圓形石鏃	57.8	24.6	10.7	19.0	珪質頁岩	楕圓形
272	128	VI-212	III	石鏃	楕圓形石鏃	73	29.9	7.7	18.4	珪質頁岩	楕圓形
272	129	VIb-210	IV	石鏃	楕圓形石鏃	44.6	15.2	5.0	3.5	珪質頁岩	楕圓形
272	130	VIb-214	I	石鏃	楕圓形石鏃	51.1	38.2	6.1	15.1	珪質頁岩	楕圓形
272	131	VIb-220	II	石鏃	楕圓形石鏃	42.1	29.7	7.3	10.3	珪質頁岩	3軸量計質頁岩
272	132	VIb-217	III	石鏃	楕圓形石鏃	43.8	29.8	10.7	19.8	珪質頁岩	両縁急角度調整
272	133	VI-214	III	石鏃	楕圓形石鏃	44.7	71.5	10.2	20.5	珪質頁岩	両縁急角度調整
272	134	VIb-218	III	石鏃	楕圓形石鏃	38.4	53.2	7.9	12.3	珪質頁岩	両縁急角度調整
272	135	VI-207	II	石鏃		44.2	27.4	7.3	4.9	珪質頁岩	
272	136	VIb-214	III	石鏃		43.9	23.6	6.8	5.6	珪質頁岩	
272	137	VI-207	V上位	楕圓形石鏃		36.4	35.3	18.8	20.4	珪質頁岩	
272	138	VI-219	III	楕圓形石鏃		20.8	29.4	9.3	5.9	珪質頁岩	1辺が折斷
272	139	VIb-221	トレンチャー	楕圓形石鏃		27.8	32.4	12.6	10.8	珪質頁岩	
273	140	VIb-219	IV-V	スクレイパー類	両面両側調整	81.3	46.2	17.1	65.0	珪質頁岩	
273	141	VIb-215	カクラン	スクレイパー類	両面両側調整	53.8	29.2	10.1	13.6	珪質頁岩	本葉形
273	142	VI-207	V	スクレイパー類	両面両側調整	42.1	28.9	13.9	14.2	珪質頁岩	
273	143	VI-207	IV	スクレイパー類	両面両側調整	48.6	33.5	18.6	24.2	珪質頁岩	
273	144	VIb-206	III	スクレイパー類	両面両側調整	56.4	39.5	16.9	36.6	珪質頁岩	
273	145	VI-207	II	スクレイパー類	両面両側調整	65.7	28.8	16.6	26.0	珪質頁岩	鋭い調整
273	146	VIb-207	トレンチャー	スクレイパー類	両面両側調整	44.3	36	8.7	8.0	珪質頁岩	石鏃小
273	147	VIb-220	II	スクレイパー類	両面両側調整	42.7	24.8	10.3	10.5	珪質頁岩	腹面尖沢、石鏃の欠失か
273	148	VIb-216	III	スクレイパー類	両側調整(給交(交互))	61.4	44.8	16.8	43.5	珪質頁岩	
273	149	VIb-211	III	スクレイパー類	腹面両側調整	29.6	30.4	9.8	8.2	珪質頁岩	
273	150	VI-207	II	スクレイパー類	両面一側調整	23.8	23.1	7.2	3.3	珪質頁岩	
273	151	VIb-209	IV	スクレイパー類	腹面両側調整(背面一側調整)	38.6	44.7	9.2	14.0	珪質頁岩	
273	152	VI-207	II	スクレイパー類	両面両側調整/腹面調整(給端部)	43.9	28.6	6.5	4.5	珪質頁岩	石鏃の可能性有り
273	153	VIb-206	I	スクレイパー類	背面両側調整/腹面一側調整	48.9	31.8	11.4	14.1	珪質頁岩	
273	154	VIb-209	IV	スクレイパー類	背面両側調整/腹面一側調整(給端部)	36.6	48.9	12.0	20.9	珪質頁岩	
273	155	VIb-219	I	スクレイパー類	背面一側調整(給端部)	46.5	58.3	13.8	30.6	珪質頁岩	
273	156	VIb-218	III	スクレイパー類	腹面一側調整(給端部)	31.1	55.6	13.8	17.5	珪質頁岩	
274	157	VI-206	II	スクレイパー類	両面一側調整	42.6	49.4	11.8	21.2	珪質頁岩	欠失、先端部摩耗
274	158	VIb-213	III	スクレイパー類	背面両側調整(給端部)/腹面両側調整	50.2	26.6	10.2	10.9	珪質頁岩	
274	159	VIb-219	III	スクレイパー類	背面両側調整	30.6	21.1	7	4.5	珪質頁岩	両調整か
274	160	VIb-206	IV	スクレイパー類	腹面一側調整(給端部)	31.2	49.1	11.3	14.1	珪質頁岩	
274	161	VIb-212	III	スクレイパー類	背面両側調整	32.2	28.5	11.7	11.3	珪質頁岩	楕圓形石鏃本製品か
274	162	VIb-212	I	スクレイパー類	背面一側調整/腹面一側調整(一部)	38.3	23.9	9.3	7.5	珪質頁岩	
274	163	VIb-219	トレンチャー	スクレイパー類	背面両側調整	30.1	32.1	13.2	15.5	珪質頁岩	
274	164	VIb-218	I	スクレイパー類	背面一側調整	32.2	24.2	9.8	5.6	珪質頁岩	
274	165	VIb-217	III	スクレイパー類	背面一側調整	44.5	21	10.1	7.7	珪質頁岩	
274	166	VIb-217	III	スクレイパー類	背面一側調整	39	22.4	10.6	11.9	珪質頁岩	

図 番号	出土地点	層位	器種	分類基準	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石質	備考
274 167	VM-217	Ⅲ	スタレイバー類	背面一個縁調整	43.5	23.4	7.8	6.2	珩質頁岩	
274 168	VM-213	Ⅱ	スタレイバー類	背面一個縁調整	42.6	43	9.6	16.3	頁岩	
274 169	VS-209	Ⅲ	スタレイバー類	背面一個縁調整	32.5	23.6	4.3	2.9	珩質頁岩	
274 170	VT-207	Ⅱ	スタレイバー類	両側縁片面調整(削交)	25.4	22.7	6.8	3.1	珩質頁岩	
274 171	VM-214	Ⅳ	スタレイバー類	両側縁片面調整(削交)	36.3	27.8	5.1	4.5	珩質頁岩	
274 172	VS-208	Ⅰ	スタレイバー類	背面一個縁調整	37.8	24.6	6.3	7.1	珩質頁岩	3輪貫通貫貫目
274 173	VM-217	Ⅰ	スタレイバー類	背面一個縁調整(交互)	28.5	26.9	11.8	7.9	珩質頁岩	
274 174	VI-219	Ⅲ	スタレイバー類	両側縁片面調整(基端部・ 遠端部)	16	27.8	5	2.0	珩質頁岩	
274 175	VM-213	カタラン	スタレイバー類	腹面両側調整	67.6	32.4	9.0	18.2	珩質頁岩	
274 176	VT-207	Ⅱ	スタレイバー類	両側縁片面調整(削交)	54.5	23.2	7.2	8.2	珩質頁岩	
274 177	VT-207	Ⅱ	スタレイバー類	腹面一個縁調整(交互)	31.1	20.4	6	3.1	珩質頁岩	
274 178	VM-208	Ⅳ	スタレイバー類	両側縁片面調整	26.6	14.1	4	1.1	珩質頁岩	
275 179	VM-211	表採	石棒		68.1	69	68.8	353.0	珩質頁岩	
275 180	VM-214	Ⅰ	石棒		45.2	36.3	23.1	38.5	珩質頁岩	原簿面残
276 181	トレンチ16		打製石斧		112	68	29	268.7	礫灰岩	
276 182	VM-222	Ⅲ	磨製石斧		96	46	29	214.9	緑色岩	刃部鋼藏さ石として再利用
276 183	VM-217	Ⅰ	磨製石斧		80	21	12	35.2	礫灰岩	
276 184	VS-212	Ⅰ	磨製石斧		65	47	17	78.7	礫灰岩	
276 185	VS-214	Ⅰ	磨製石斧		67	47	24	123.9	緑色岩	
276 186	VM-222	トレンチカー	磨製石斧		36	20	6	4.3	礫灰岩	
276 187	VS-206	Ⅲ	磨石	小形石籠	91	71	61	488.7	安山岩	
276 188	VI-214	Ⅲ	磨石		91	77	34	341.7	礫灰岩	
276 189	VM-219	Ⅲ	磨石		102	59.5	24	207.4	礫灰岩	
276 190	VI-205	Ⅱ	磨石		89	55	17	133.5	礫灰岩	
276 191	VM-215	Ⅲ	磨石		96	51	30.5	217.0	安山岩	
276 192	VM-213	Ⅰ	磨石		80	73	39	241.7	礫灰岩	
276 193	VM-214	Ⅲ	磨石		101.5	88	39	366.3	安山岩	
277 194	VM-214	Ⅳ	磨石		106	58	36	254.3	安山岩	
277 195	VS-211	Ⅲ	磨石		112	83	33	191.6	安山岩	
277 196	VM-213	Ⅲ	磨石		104	95	52	512.5	礫灰岩	
277 197	VM-216	Ⅰ	磨石		104	97	37	300.9	礫灰岩	
277 198	VT-207	V上位	磨石		103	66	47	422.0	安山岩	
277 199	VM-213	Ⅳ	磨石		172	60	52	876.8	礫灰岩	磨熟
277 200	VM-207	Ⅳ	磨石		70	66	47	283.4	安山岩	跡面磨熟、被熱ハジケ
277 201	VS-208	Ⅳ	磨石		57	52	45	178.2	安山岩	
277 202	VS-207	Ⅱ	磨石		105	104	40	715.3	礫灰岩	
277 203	VM-216	Ⅲ	磨石		66.5	65	44	296.2	礫灰岩	北海道式石冠?
278 204	VM-217	Ⅲ	磨石		132	81	66	824.1	礫灰岩	
278 205	VS-211	Ⅲ	磨石		89	59	40	293.4	安山岩	
278 206	VM-207	Ⅲ	磨石		146	62	27	511.6	安山岩	
278 207	VM-204	Ⅳ	磨石		161	81	62	1118.5	安山岩	
278 208	VM-218	Ⅲ	磨石		78	65	40	308.5	安山岩	
278 209	VS-207	Ⅲ	磨石		104	83	24	283.6	安山岩	
278 210		表採	半円状扁平打製石器		92	89	36	235.2	安山岩	
278 211	VI-128	Ⅲ	半円状扁平打製石器		101	83	34	365.4	安山岩	
279 212	VM-210	Ⅱ	半円状扁平打製石器		88	81	27	270.3	安山岩	
279 213	VM-217	Ⅲ	半円状扁平打製石器		109	73	34	408.3	安山岩	
279 214	VT-206	Ⅲ	半円状扁平打製石器		99	84	33	376.7	安山岩	
279 215	VS-207	Ⅰ	半円状扁平打製石器		75	61	25	146.6	礫灰岩	
279 216	VM-217	Ⅲ	半円状扁平打製石器		109	93	17	250.6	安山岩	
279 217	VM-210	Ⅱ	半円状扁平打製石器		159	77	30	463.6	安山岩	
279 218		表採	半円状扁平打製石器		153	79	30	496.3	安山岩	
279 219	VS-209	Ⅳ	半円状扁平打製石器		95	62	27	291.8	礫灰岩	
279 220	VM-218	Ⅲ	半円状扁平打製石器		119	55	33	321.2	安山岩	
280 221	VS-207	Ⅱ	狭人器平磨製石器		83	34.5	13	56.0	礫灰岩	
280 222	VM-217	Ⅲ	磨切具		96	93	19	165.8	安山岩	
280 223	VT-207	Ⅲ	磨切具		86	74	19	169.7	安山岩	未使用品か
280 224	VM-214	Ⅳ	磨器(磨座)		78	75	9.5	61.3	頁岩	
280 225	VM-218	Ⅲ	磨器		95	87	18	260.8	安山岩	
280 226	VI-218	Ⅲ	磨石		92	75	65	471.0	ダイヤモンド	
280 227	VM-218	Ⅲ	磨石		93	64	43	132.2	礫灰岩	
280 228	VM-218	Ⅲ	磨石		66	41	18	53.7	礫灰岩	
280 229	VM-211	Ⅱ	柱状磨器		365	55	52	1479.4	礫灰岩	
281 230	VM-213	Ⅳ	台石		184	134	87	2867.0	安山岩	
281 231	VT-209	Ⅳ	台石		244	224	96	9460.0	安山岩	

遺構外出土石製品観察表

図 番号	出土地点	層位	器種	分類基準	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石質	備考
281 232	VM-219	Ⅳ	石棒		(117)	(90)	57	842	礫灰岩	有痕
281 233	VS-212	Ⅰ	石棒		(119)	(69)	55	696	礫灰岩	
281 234	VM-208	Ⅲ	石棒		(68)	(43)	47	216	礫灰岩	
281 235	試掘T16	排土	石製品	有孔石製品	54	52	25	57	緑色礫灰岩	
281 236	VI-218	Ⅲ	石製品		43	43	23	10	礫石	
281 237	VM-218	Ⅲ	石製品		(70)	16	7	15	頁岩	
281 238	VM-215	Ⅲ	石製品	塊状耳飾	55	(22)	8	10	礫石	
281 239	VM-218	Ⅰ	石製品	塊状耳飾	44	(37)	5	9	礫石	

報告書抄録

ふりがな	ひがしみちのかみかつこさんいせき							
書名	東道ノ上(3)遺跡Ⅲ							
副書名	一般国道45号上北天間林道路建設事業に伴う遺跡発掘調査報告							
シリーズ名	青森県埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第589集							
編著者名	野村信生、濱松優介、小田川哲彦、秦光次郎、齋藤正							
編集機関	青森県埋蔵文化財調査センター							
所在地	〒038-0042 青森県青森市新城字天田内152-15 TEL 017-788-5701 FAX 017-788-5702							
発行機関	青森県教育委員会							
発行年月日	2018年3月23日							
ふりがな	ふりがな	コード		世界測地系(JGD2000)		調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号	北緯	東経			
東道ノ上 (3)遺跡	青森県上 北郡東北 町大字大 浦字東道 ノ上	02408	408040	40° 42' 52.1"	141° 13' 47.7"	H26. 4. 30 ～11. 21 H27. 4. 9 ～7. 30	6,260	記録保 存調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
東道ノ上 (3)遺跡	集落跡	縄文	竪穴住居跡 48軒 土坑 217基 埋設土器 13基 焼土遺構 13基 捨て場 1箇所 溝状土坑 11基	細石刃核、縄文土器 (早期～後期)、石器、 土偶、土製品、石製 品				
要約	東道ノ上(3)遺跡は、東北町の南に位置し、砂土路川右岸の標高20～40mの河岸段丘上に立地している。調査区は、砂土路川とその支流にあたる小さな沢によって浸食された舌状台地上にあり、縄文時代前期後葉～中期前葉を主体とした集落跡が確認された。竪穴住居跡やフラスコ状土坑などが多数確認され、多量の遺物が出土したことや前回調査においても縄文時代前期中葉～中期前葉にかけての遺構・遺物が多数確認されていることから、上北地域における該期の拠点的な集落であったことが想定できる。							

青森県埋蔵文化財調査報告書 第589集

東道ノ上(3)遺跡Ⅲ

—一般国道45号上北天間林道路建設事業に伴う遺跡発掘調査報告—

(第1分冊)

発行年月日 2018年3月23日

発 行 青森県教育委員会

編 集 青森県埋蔵文化財調査センター

〒038-0042 青森県青森市新城字天田内152-15

TEL 017-788-5701 FAX 017-788-5702

印 刷 青森コロニー印刷

〒030-0943 青森市幸畑字松元62-3

TEL 017-738-2021 FAX 017-738-6753
